

私が創る自然浴

取付説明書 — スカイエール —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- シーリング材は現場で手配してください。
- 施工工事を確実にを行うため、下記の「工事区分表」で担当する施工範囲と施工工程を確認してください。
- 担当工事が終了後、次工程の工事担当者に取付説明書を渡して引継ぎを行ってください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

工事区分表

施工工程	施工範囲	施工担当者
壁柱ユニット工事	SA壁柱の施工 1.壁本体の加工 2.配管工事 3.桁スリーブの取付け 4.桁端部縦材の取付け 5.独立用補強材の取付け 6.ベースプレートの取付け 7.基礎への固定 8.壁本体の建て込み ポストの取付け 1.ポストの取付け 9.桁の取付け 10.ウッド調幕板の取付け 11.腰壁の取付け 12.梁の取付け 13.笠木の取付け 14.基礎部コンクリートの打設 15.窓枠の取付け 16.現場張りボードの取付け	販売店 販
電気工事	照明の取付け 1.ダウンライトの取付け	電気工事店 電

取付説明書区分表

施工 手順	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	柱の建て込み、 桁、幕板、腰壁	梁用屋根部品 の組付け	梁の取付け	壁用屋根部品 の取付け、屋 根の仮組み	壁の基礎コン クリート打設、 壁の組付け	収納庫、オプ ション部品の 取付け	表面仕上げ	照明の取付け
使用する 取付 説明書	E158	E159	E158	E160	E158	E154 E161 E182 E186 E188 E190 E192 E193 E194 E196 E197	E181 E180	Z161
私が創る自然浴ー窓付けスリットパネルー<E154> 私が創る自然浴ースカイエールー<E158> 私が創る自然浴ースカイエール梁用屋根部品ー<E159> 私が創る自然浴ースカイエール壁用屋根部品ー<E160> 私が創る自然浴ースクリーンパネルー<E161> 私が創る自然浴ースカイエール塗り仕上げー<E181> 私が創る自然浴ースカイエールタイル仕上げー<E180> 私が創る自然浴ースカイエール収納庫ー<E182>					私が創る自然浴ーフェンス取付部品ー<E186> 私が創る自然浴ー棚板ー<E188> 私が創る自然浴ー小窓ー<E192> 私が創る自然浴ー横棧スクリーナー<E193> 私が創る自然浴ー縦棧スクリーナー<E194> 私が創る自然浴ーロートアルミ門扉ー<E196> 私が創る自然浴ーロートアルミFIXパネルー<E197> 照明DH-1型<Z161>			

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次工程の担当者に渡してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事, 配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- 照明用配線にはVVF ϕ 1.6または ϕ 2.0の3芯単線（アース線を含む）を別途準備してください。
- 照明器具には「EEスイッチ」、「明るさセンサー」または「入切スイッチ」を別途設けてください。
- PF管は現場で別途手配してください。

<左官工事について>

⚠ 注意

- 壁柱・桁・SAボードは雨に濡らさないようにしてください。SAボードを水で濡らすと変形やクラックの原因になります。

■ 梱包明細表

① W04壁本体セット

名 称	略 図	員 数				
		04-17	04-23	04-26	04-29	04-32
壁本体		1	1	1	1	1
アンカー棒		2	2	2	2	2
①-① ϕ 4×30サラピアスネジ		—	—	—	52	52

② W08壁本体セット

名 称	略 図	員 数								
		08-17	08-23	08-26	08-29	08-32	窓付 08-23	窓付 08-26	窓付 08-29	窓付 08-32
壁本体		1	1	1	1	1	1	1	1	1
アンカー棒		2	2	2	2	2	2	2	2	2
②-① φ4×30サラピアスネジ		—	69	69	69	95	95	95	95	121

③ 窓枠セット

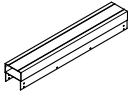
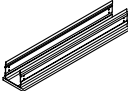
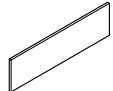
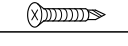
名 称	略 図	員 数
窓縦枠		2
窓横枠		2
③-① ϕ 4×13ナベピアスネジ		21

■梱包明細表 つづき

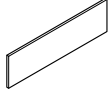
4 壁パネルセット

名 称	略 図	員 数			
		04-18	08-18	窓付08-18	08-06
壁パネル04-18		1	—	—	—
壁パネル08-18		—	1	—	—
壁パネル窓付1		—	—	1	—
壁パネル窓付2		—	—	2	—
壁パネル08-06		—	—	—	2

5 桁セットH250

名 称	略 図	員 数										
		W02	W04	W06	W08	W10	W12	W14	W16	W27	W36	フェンス用
桁上部		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁下部		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁側面パネル		2	2	2	2	2	2	2	2	—	—	2
桁スリーブ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5-① φ5×70ナベピースネジ		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5-② φ5×16ナベピースネジ		16	16	16	20	20	20	20	24	28	34	20
5-③ φ4×30サラピースネジ		9	17	17	26	26	34	34	43	78	95	26

6 桁パネルセット

名 称	略 図	員 数	
		W27用	W36用
桁パネルW055		4	—
桁パネルW10		—	4
桁パネルW16		2	2

7 桁セットH530

名 称	略 図	員 数								
		W02	W04	W06	W08	W10	W12	W14	W16	フェンス用
桁上部		1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁下部		1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁端部縦材		2	2	2	2	2	2	2	2	2
桁中間縦材		—	—	—	1	1	1	2	2	1
桁側面パネル		2	2	2	2	2	2	2	2	2
7-① φ5×35ナベピースネジ		16	16	16	16	16	16	16	16	16
7-② φ5×20ナベタッピンネジ1種		4	4	4	4	4	4	4	4	4
7-③ φ4×10サラタッピンネジ1種		16	16	16	20	20	20	20	24	20
7-④ φ4×30サラピースネジ		9	17	17	26	26	34	34	43	26

8 桁タイル追加部材

オプション

名 称	略 図	員 数							
		W02	W04	W06	W08	W10	W12	W14	W16
桁タイル追加部材		1	1	1	1	1	1	1	1
8-① φ5×35ナベピースネジ		4	4	6	6	8	8	8	10

9 アーチ桁セット

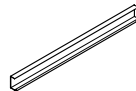
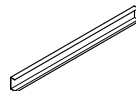
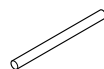
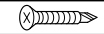
9 つづき

名 称	略 図	員 数		
		W12	W14	W16
アーチ桁上部		1	1	1
アーチ桁下部		1	1	1
アーチ桁端部縦材		2	2	2
アーチ桁中間縦材		1	2	2

名 称	略 図	員 数		
		W12	W14	W16
アーチ桁側面パネル		2	2	2
9-① φ5×35ナベピースネジ		16	16	16
9-② φ5×20ナベタッピンネジ1種		2	2	2
9-③ φ4×10サラタッピンネジ1種		47	47	65
9-④ φ4×30サラピースネジ		51	51	68

■梱包明細表 つづき

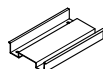
10 腰壁セット

名 称	略 図	員 数		
		08-06	10.5-06	08-09
縦枠H06用		2	2	—
縦枠H09用		—	—	2
横枠W08用		4	—	6
横枠W10.5用		—	4	—
パネル固定棒		2	2	2
10-① φ5×35ナベピアスネジ		16	16	20
10-② φ4×10トラスタッピンネジ1種		8	8	12
10-③ φ4×30サラピアスネジ		30	38	40

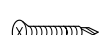
11 腰壁パネルセット

名 称	略 図	員 数
腰壁パネル		2

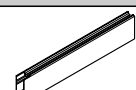
12 腰壁笠木セット

名 称	略 図	員 数
腰壁笠木		1
腰壁笠木受け材		2
12-① φ4×10ナベピアスネジ		8

13 ウッド調幕板セット

名 称	略 図	員 数
幕板材		2
幕板連結材		1
スリーブ材		4
13-① φ5×70ナベピアスネジ		17
13-② φ4×16サラピアスネジ D=6		5

14 梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
梁		2	3
梁カバー		2	3

15 梁取付部品セット

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
スリーブ材		2	3
梁固定金具		2	3
梁端部カバー		2	3
15-① φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		2	3
15-② φ4×30トラスタッピンネジ3種 D=8		2	3
15-③ φ5×16ナベピアスネジ ※1		9	13
15-④ φ5×16ナベピアスネジ ※2		9	13
15-⑤ φ5×70ナベピアスネジ		10	15
15-⑥ φ6×70六角タッピンネジ1種		4	6
15-⑦ M6平座金		4	6

※1 色なしまたは色付きネジ

※2 頭色付きネジ

16 梁取付部品セット異形敷地用

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
スリーブ材		2	3
梁角度調整材		2	3
梁固定金具		2	3
梁端部カバー		2	3
梁固定金具異形敷地用		2	3

16 つづき

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
梁角度調整材カバー		4	6
16-① φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		6	9
16-② φ4×30トラスタッピンネジ3種 D=8		2	3
16-③ φ5×16ナベピアスネジ ※1		9	13
16-④ φ5×16ナベピアスネジ ※2		9	13
16-⑤ φ5×16ナベピアスネジ ※3		9	13
16-⑥ φ5×35ナベピアスネジ		9	13
16-⑦ φ5×50ナベピアスネジ		9	13
16-⑧ φ6×70六角タッピンネジ1種		4	6
16-⑨ M6平座金		4	6

※1 色なしネジ

※2 色なしまたは色付きネジ

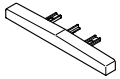
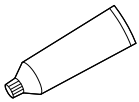
※3 頭色付きネジ

17 笠木セット

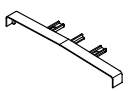
名 称	略 図	員 数													
		W04	W06	W08	W10	W12	W14	W16	W18	W20	W22	W24	W28	W32	W36
笠木		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
笠木受け材		2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5
17-① φ4×10ナベピアスネジ		4	4	4	4	6	6	6	6	8	8	8	10	10	10

■梱包明細表 つづき

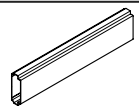
18 笠木端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップセット		2
シーリング材		1

19 笠木連結キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木連結キャップセット		1

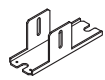
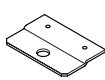
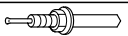
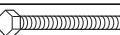
20 独立用補強材セット

名 称	略 図	員 数
独立用補強材		2

20-① φ5×16ナベピアスネジ		20
-------------------	---	----

21 ベースプレートセット

オプション

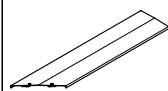
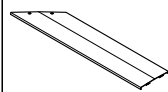
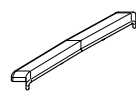
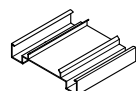
名 称	略 図	員 数	
		A	B
ベースプレートA		2	—
ベースプレートB		—	2
A固定金具		2	—
B固定金具		—	2
レベル調整金具		4	4
21-① M10ホールインアンカー L=60		4	4
21-② M4×6ナベ小ネジ		4	4
21-③ M6×20六角ボルト		8	8
21-④ M6平座金		8	8
21-⑤ M6バネ座金		8	8
21-⑥ M8×90六角ボルト		2	—
21-⑦ M8×120六角ボルト		—	2
21-⑧ M8ナット3種		2	2
21-⑨ M8平座金		2	2
21-⑩ M8バネ座金		2	2
21-⑪ M10×60六角ボルト 全ネジ		4	4

18 つづき

名 称	略 図	員 数
取付説明書—スカイエール—<E158>	—	1
取付説明書—塗材仕上げ—<E180>	—	1
取付説明書—タイル仕上げ—<E181>	—	1
取扱説明書	—	1

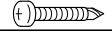
22 コーナー笠木セット

オプション

名 称	略 図	員 数
コーナー笠木L		1
コーナー笠木R		1
コーナー笠木キャップ		1
笠木受け材		4
22-① M4×8ナベ小ネジ		4
22-② φ4×10ナベピアスネジ		8

23 梁掛け部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
スリーブ材		1
スリーブ材 小		1
23-① φ5×50ナベピアスネジ		9
23-② φ5×16ナベピアスネジ		7

24 幕板切詰め部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
スリーブ材 小		2

25 桁取付治具

オプション

名 称	略 図	員 数
桁取付治具		1

INDEX

1 基本寸法と各部名称	10
1. 基本寸法と各部名称	10
2 壁の位置出し	13
1. 基礎工事	13
3 SA壁柱の施工	16
1. 壁本体の加工	16
2. 配管工事	17
3. 桁スリーブの取付け	18
4. 桁端部縦材の取付け	19
5. 独立用補強材の取付け	23
6. ベースプレートの取付け オプション	24
7. 基礎への固定 オプション	25
8. 壁本体の建て込み	26
9. 桁の取付け	27
10. ウッド調幕板の取付け	32
11. 腰壁の取付け	35
12. 梁の取付け	38
13. 笠木の取付け	54
14. 基礎部コンクリートの打設	57
15. 窓枠の取付け	58
16. 現場張りボードの取付け	60
4 ポストの取付け	62
1. ポストの取付け	62
5 照明の取付け	64
1. ダウンライトの取付け	64

1 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法と各部名称 ※ () 中はタイル用笠木の寸法です。

1-1 SA壁柱

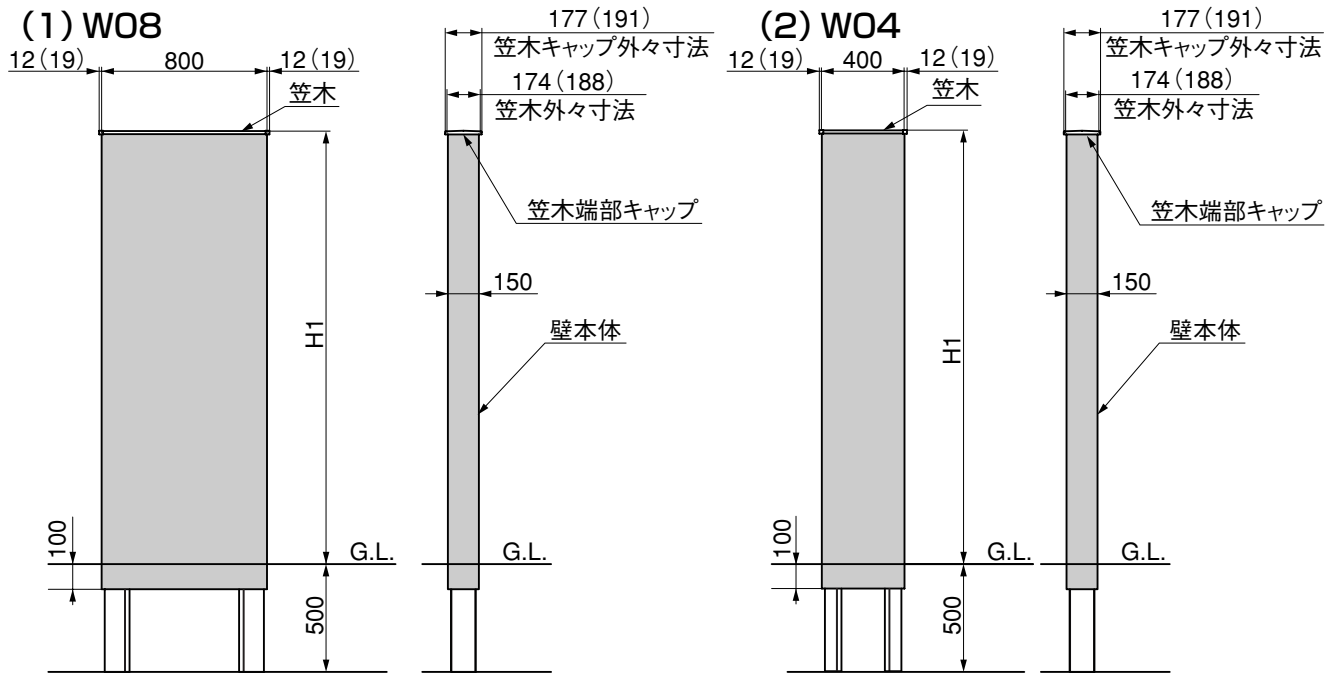


表1-1 SA壁柱高さ寸法

	H1
H17	1710
H23	2310
H26	2610
H29	2910
H32	3210

表1-2 SA壁柱高さ寸法

	H1
H17	1710
H23	2310
H26	2610
H29	2910
H32	3210

1-2 SA桁仕様

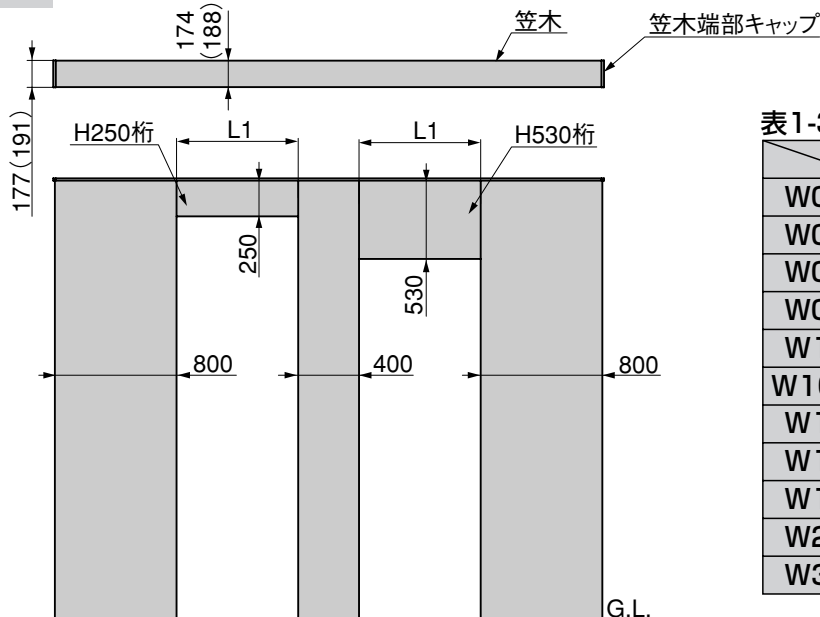


表1-3 桁長さ寸法

	L1
W02	200
W04	400
W06	600
W08	800
W10	1000
W10.5	1050
W12	1200
W14	1400
W16	1600
W27	2700
W36	3600

1-3 アーチ桁仕様

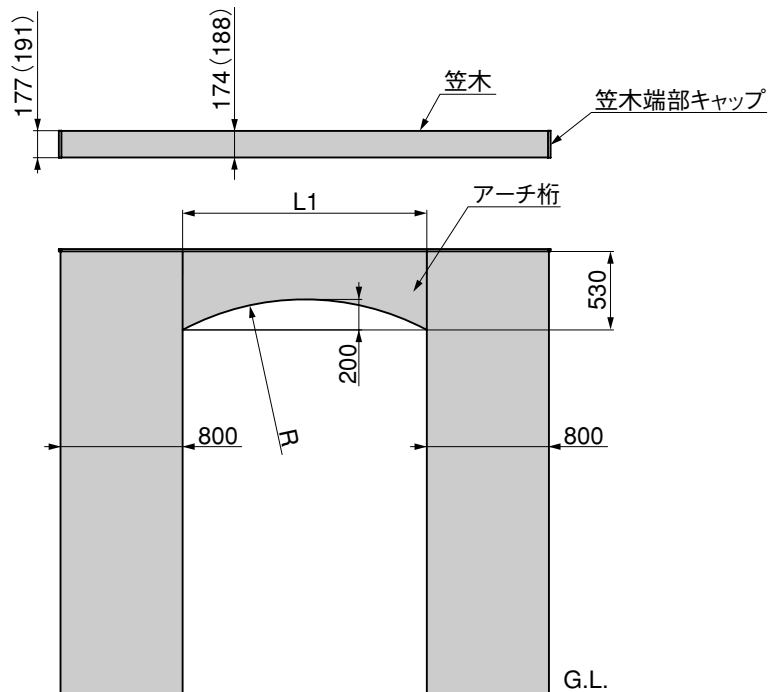


表1-4 桁長さ寸法

	L1	R
W12	1200	1000
W14	1400	1325
W16	1600	1700

1-4 腰壁仕様

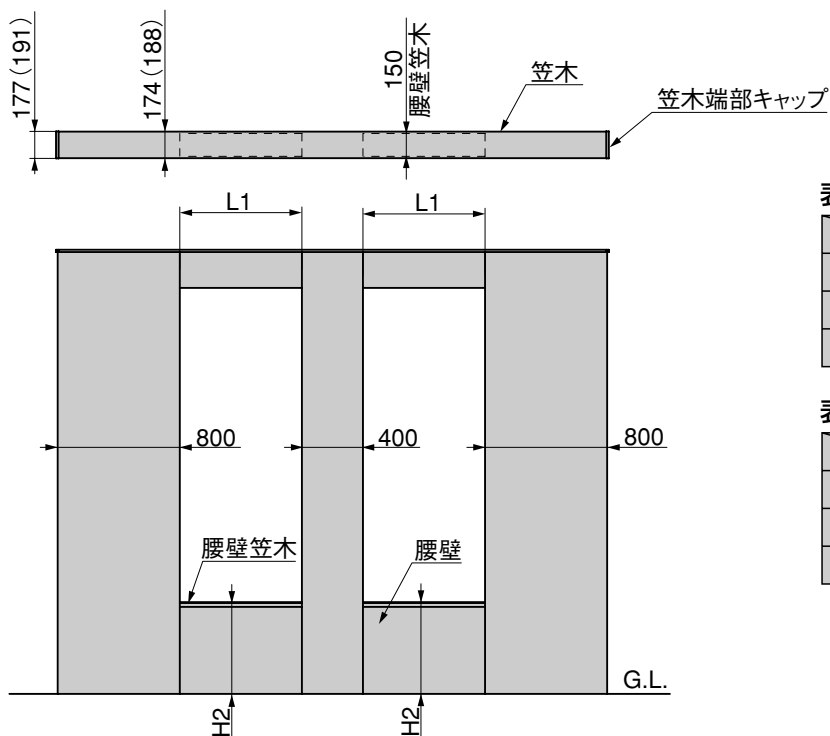


表1-5 桁長さ寸法

	L1
08-06	800
08-09	800
10.5-06	1050

表1-6 腰壁高さ寸法

	H2
08-06	600
08-09	900
10.5-06	600

1. つづき

1

基本寸法と
各部名称

1-5 幕板仕様

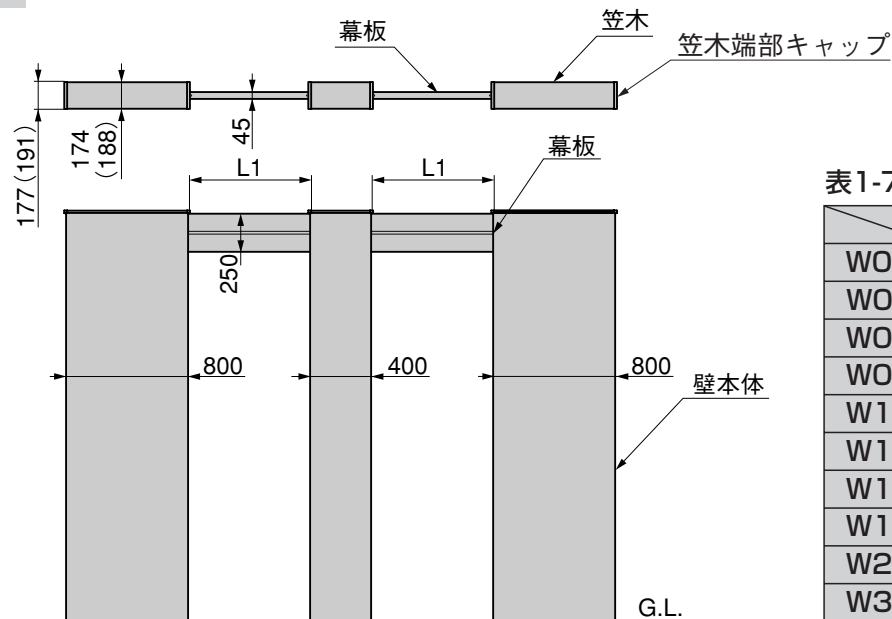


表1-7 幕板長さ寸法

	L1
W02	200
W04	400
W06	600
W08	800
W10	1000
W12	1200
W14	1400
W16	1600
W27	2700
W36	3600

1-6 梁仕様

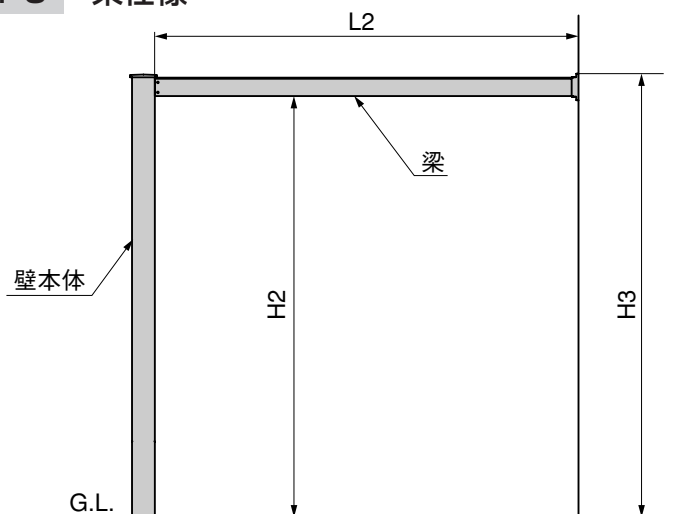


表1-8 梁寸法

	L2
3尺	985
6尺	1885
9尺	2785
12尺	3685

表1-9 梁高さ寸法

	H2	H3
H23	2075~2170	2222.5~2317.5
H26	2375~2470	2522.5~2617.5
H29	2675~2770	2822.5~2917.5
H32	2975~3070	3122.5~3217.5

1-7 異形敷地仕様

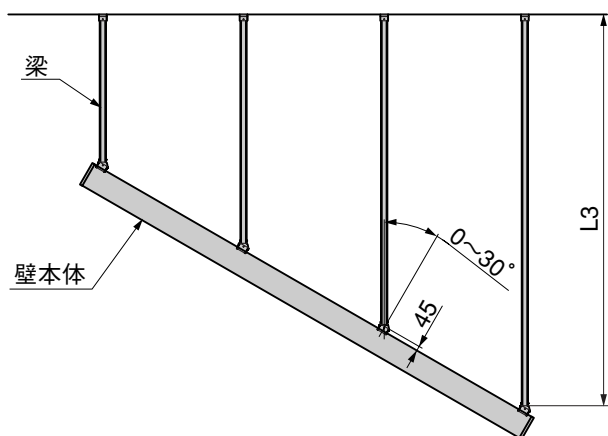


表1-10 異形梁寸法

	L3
3尺	~970
6尺	~1870
9尺	~2770
12尺	~3670

2 壁の位置出し

1. 基礎工事 販 工事

1-1 梁を取付ける場合 ※ () 内はベースプレート仕様の場合です。

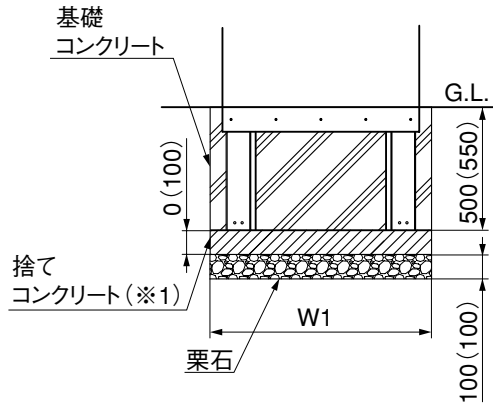


図1-1 正面基礎寸法

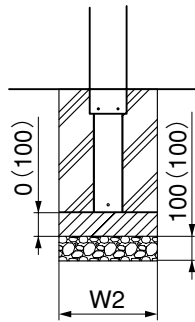


図1-2
側面G.L.仕上げ
基礎寸法

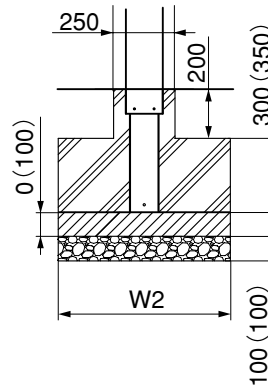


図1-3
側面ガーデニング
仕様基礎寸法

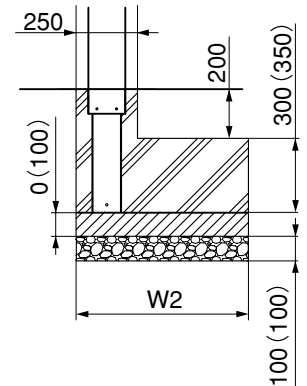


図1-4
側面ガーデニング仕様
隣地境界線基礎寸法

表1-1

	W1		W2	
	W04	W08	ガーデニング仕様	G.L.仕上仕様
H17	500	900	400	
H23				
H26				
H29				
H32				

❶ 基礎孔を掘り、栗石をひいてください。

ポイント

- 桁、幕板、スクリーン等を取付けても、同じ寸法です。
- 基礎の芯々寸法は「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。
- ガーデニング仕様で隣地境界線になる場合は、基礎の芯をずらして施工してください。(図1-4参照)
- ベースプレートを使用する場合は、栗石100mmの上に捨てコンクリート(※1) 100mmを施工してください。

1. つづき

1-2 梁を取付けない場合 ※ () 内はベースプレート仕様の場合です。

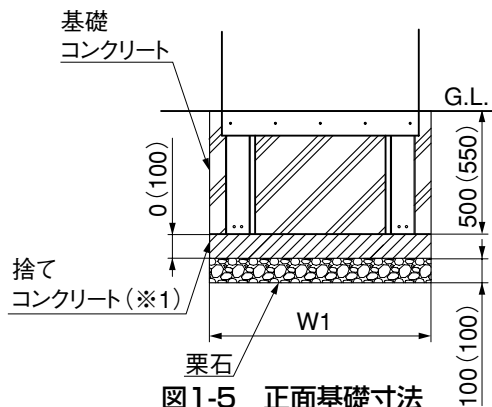


図1-5 正面基礎寸法

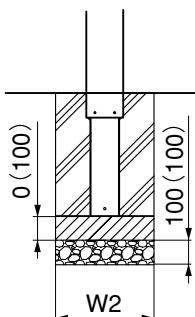


図1-6 側面G.L.仕上げ基礎寸法

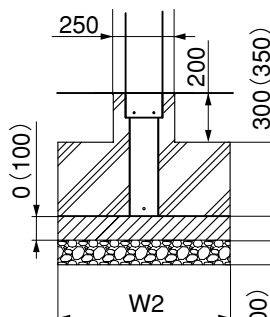


図1-7 側面ガーデニング仕様基礎寸法

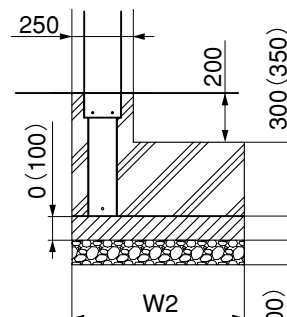


図1-8 側面ガーデニング仕様隣地境界線基礎寸法

(1) 壁柱独立施工および桁、W27より短い幕板、H250桁を用いた施工

表1-2 壁柱独立施工

	W1		W2	
	W04	W08	ガーデニング仕様	G.L.仕上仕様
H17	500	900	400	400
H23				
H26				
H29				
H32			700	

表1-3 桁、幕板を用いた施工

	W1		W2	
	W04	W08	ガーデニング仕様	G.L.仕上仕様
H17	500	900	400	400
H23			600	
H26			700	
H29			900	
H32	600			

(2) スクリーンパネルおよび、H530桁、W27以上のH250桁、幕板を用いた施工

表1-4 W04 ガーデニング仕様

	W1		W2	
	端部	中間	端部	中間
H17	500		400	700
H23	600	600	600	800
H26		800	700	
H29			900	900
H32				700

表1-5 W04 G.L.仕上仕様

	W1		W2	
	端部	中間	端部	中間
H17	500	500	400	400
H23				
H26				
H29				
H32		600	600	

表1-6 W08 ガーデニング仕様

	W1		W2	
	端部	中間	端部	中間
H17	900		400	500
H23			600	800
H26			700	
H29			900	
H32			1000	

表1-7 W08 G.L.仕上仕様

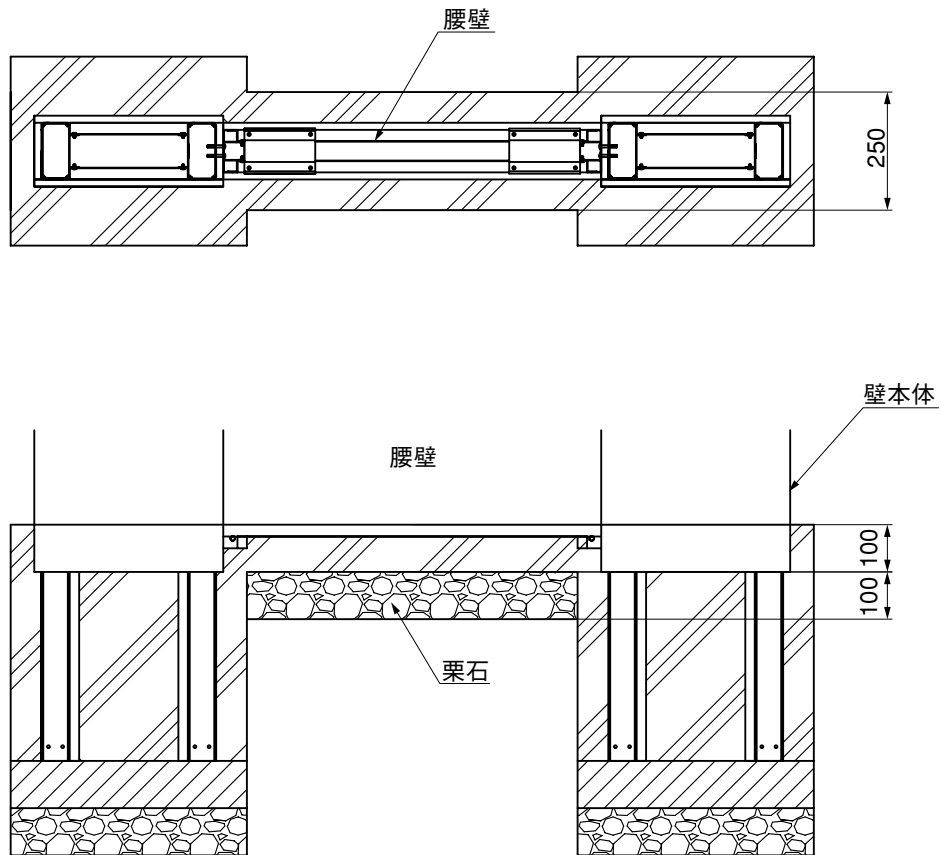
	W1		W2	
	端部	中間	端部	中間
H17	900		400	400
H23				
H26				
H29				
H32			400	

①基礎孔を掘り、栗石をひいてください。

ポイント

- 桁、幕板、スクリーン等の取付方により、寸法が異なります。
- 基礎の芯々寸法は「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。
- ガーデニング仕様で隣地境界線になる場合は、基礎の芯をずらして施工してください。(図1-8参照)
- ベースプレートを使用する場合は、栗石100mmの上に捨てコンクリート(※1) 100mmを施工してください。

1-3 腰壁を取付ける場合



- ❶ 基礎孔を掘り、栗石をひいてください。

3 SA壁柱の施工

1. 壁本体の加工

※エクシオールタイプの作業です。

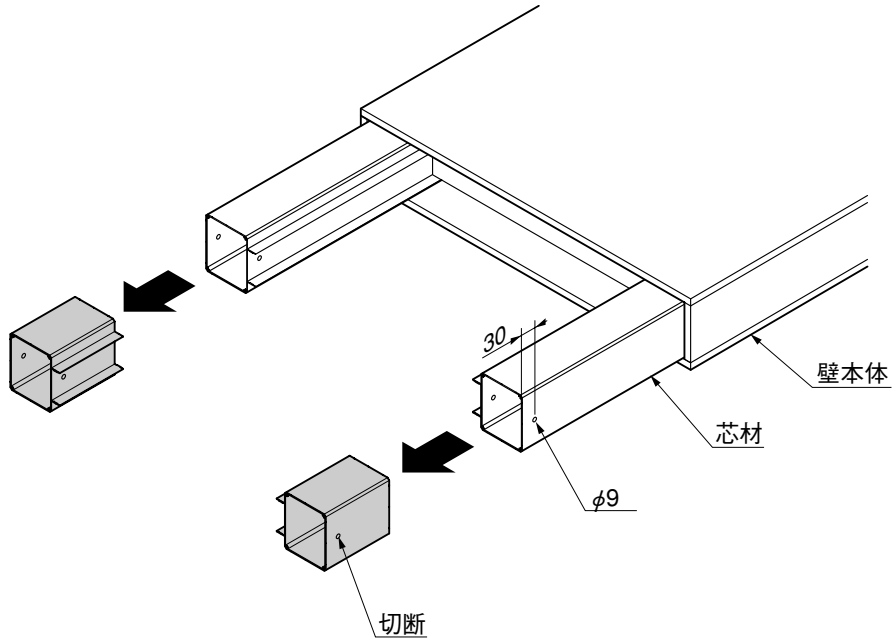
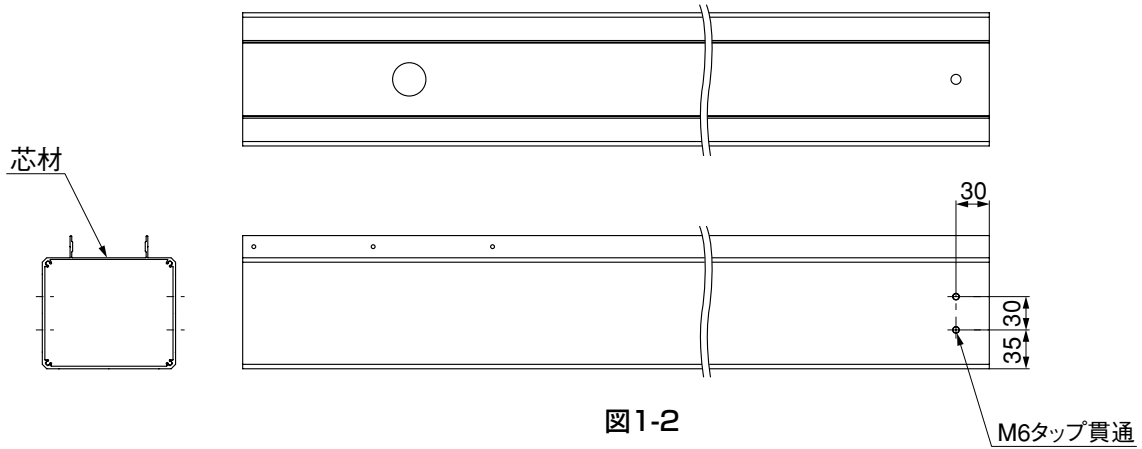


图 1-1



- ❶ 家側および壁本体へのエクシオール取付け高さを確認してください。
- ❷ 必要に応じて芯材を切断してください。
- ❸ 芯材にφ9のアンカー用の孔をあけてください。(図1-1参照)
- ❹ ベースプレートを取付ける場合は図1-2を参照して孔加工してください。

2. 配管工事 販 工事 ※基礎部から配線を周して桁にダウンライトを取付ける場合の作業です。

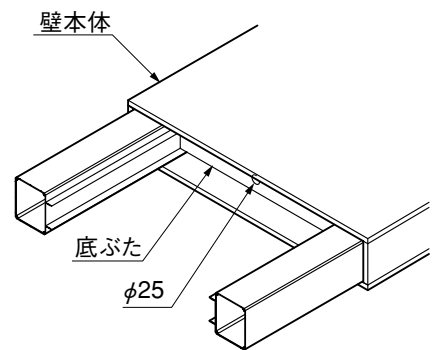
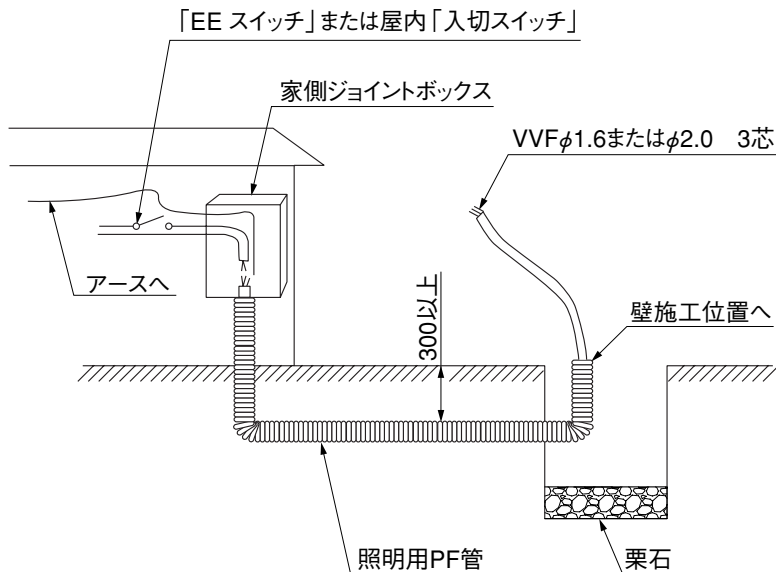


図2-1

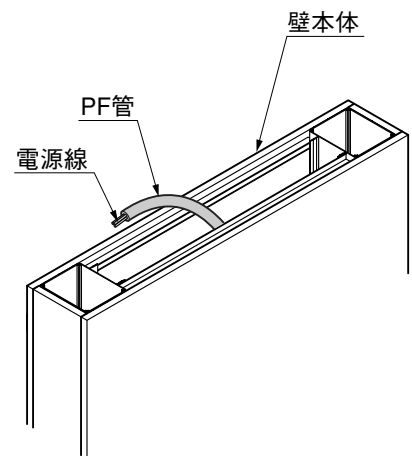
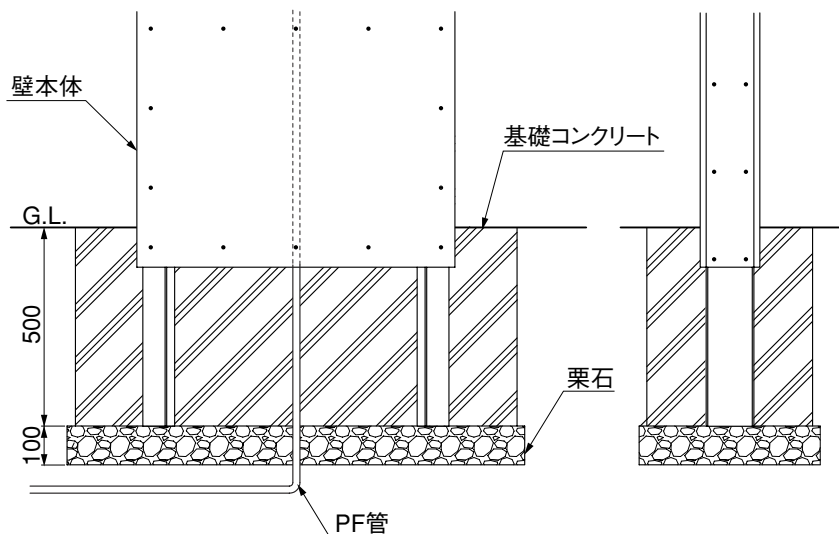


図2-2

- ①底ぶたにφ25の孔をあけてください。(図2-1参照)
- ②照明用の配線配管をしてください。

ポイント

- 躯体側から配線配管をする場合は躯体側に配線を出してください。
- PF管は、現場で手配してください。
- 電源線は壁本体上端まで引き出してください。(図2-2参照)

3. 桁スリーブの取付け 販 工事 ※H250桁を取付ける場合の作業です。

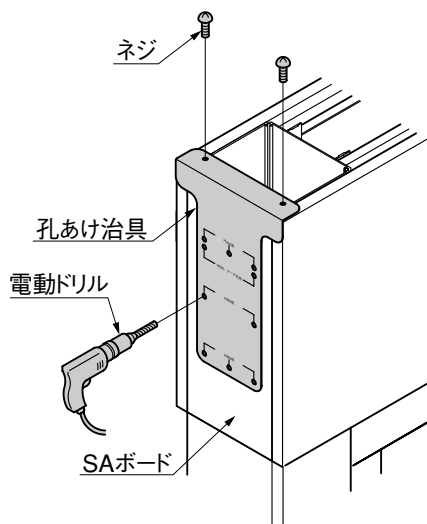


図3-1

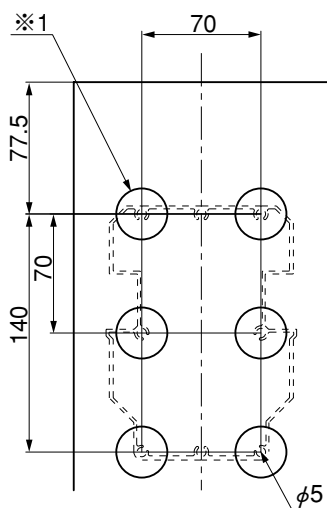
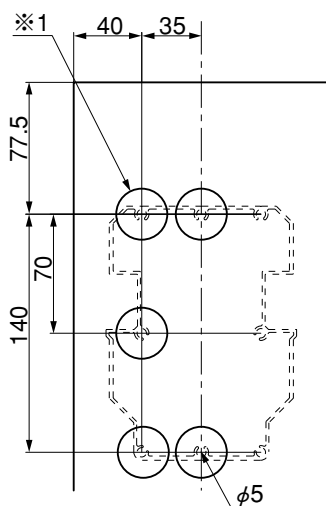
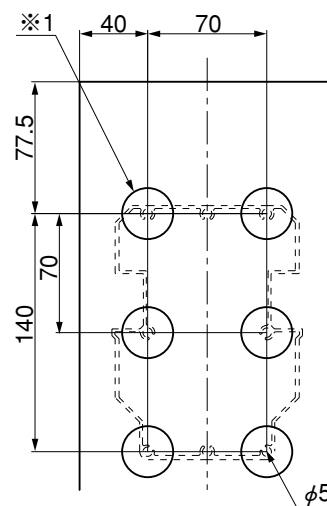


図3-2 桁直線取付けの場合

図3-3 桁コーナ取付けの場合
(08-23, 08-29, H29, H32)図3-4 桁コーナ取付けの場合
(H17, 04-23, 04-26)

ポイント

- 桁コーナ取付けの場合は、壁本体の家側表記がある面に桁を取付けてください。

- ① 孔あけ治具を壁本体上側にネジ等で仮止めてください。(図3-1参照)
- ② SAボードに※1に示す箇所にはφ5の孔をあけてください。(図3-2、図3-3、図3-4参照)

ポイント

- φ5の孔はSAボードのみにあけてください。

- ③ 孔あけ治具を取外してください。

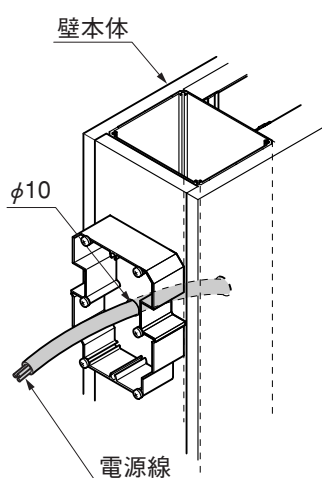
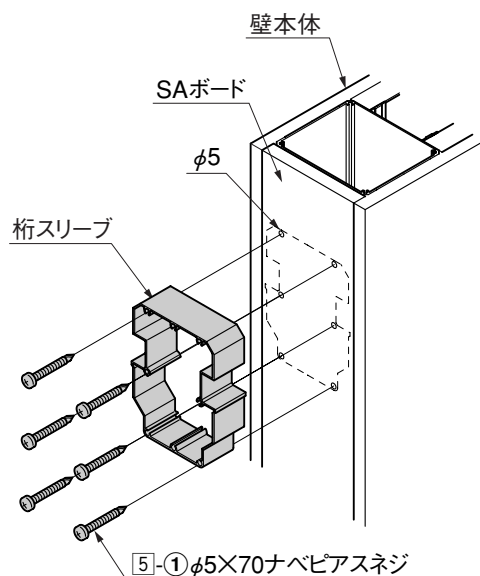


図3-5

- ④ 壁本体に桁スリーブを[5]-①で取付けてください。

ポイント

- ネジは決められた位置に正確に固定してください。
- ダウンライト取付けの場合は、壁本体にφ10の孔をあけて電源線を出してください。(図3-5参照)

4. 桁端部縦材の取付け 販 工事 ※H530桁、アーチ桁を取付ける場合の作業です。

4-1 H530桁の場合

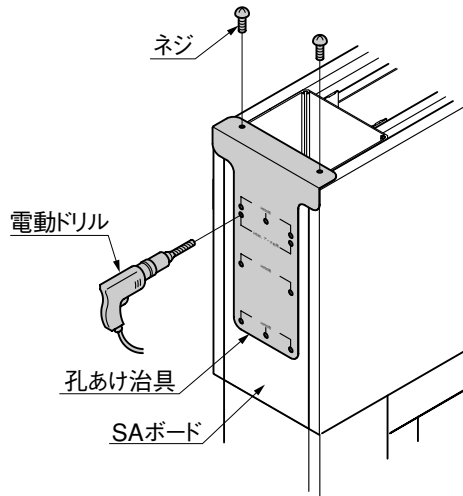


図4-1

ポイント

- 桁コーナー取付けの場合は、壁本体の家側表記がある面に桁を取付けてください。

- ① 孔あけ治具を壁本体上側にネジ等で仮止めてください。(図4-1参照)
- ② SAボードに※1で示す箇所に $\phi 5$ の孔を2ヶ所あけてください。(図4-2、図4-2参照)

ポイント

- $\phi 5$ の孔はSAボードのみにあけてください。

- ③ 孔あけ治具を取外してください。

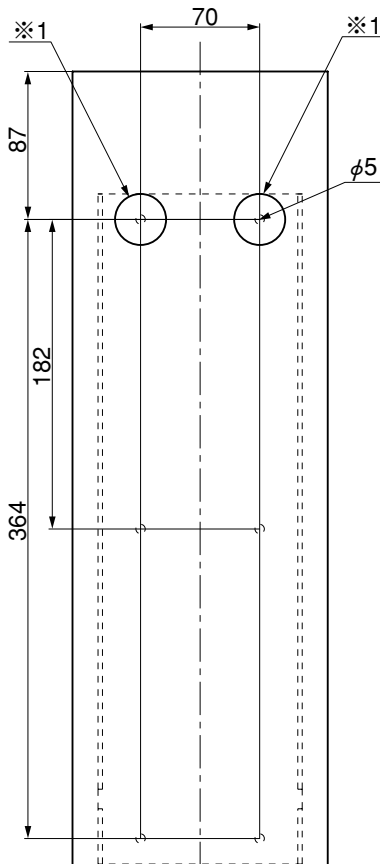


図4-2 桁直線取付けの場合

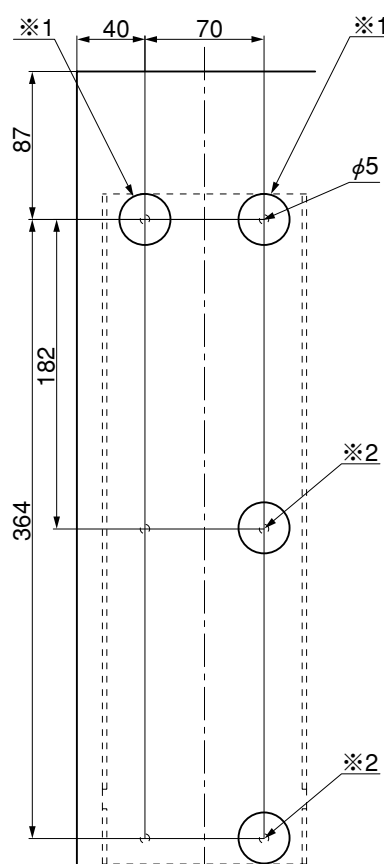


図4-3 桁コーナー取付けの場合

ポイント

- 桁コーナー取付けの場合、※2で示す箇所は $\phi 4$ の孔をあけてください。

4. つづき

4-1 つづき

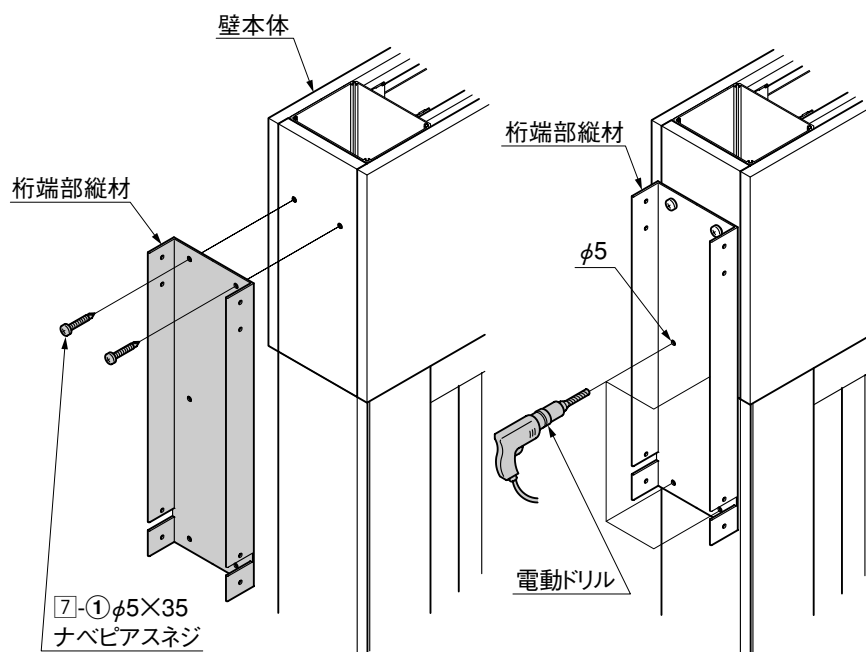


図4-4

図4-5

- ④ SAボードにあけた孔に桁端部縦材を7-1で取付けてください。(図4-4参照)
- ⑤ SAボードに桁端部縦材ごしに $\phi 5$ の孔を4ヶ所あけてください。(図4-5参照)

ポイント

- $\phi 5$ の孔はSAボードのみにあけてください。

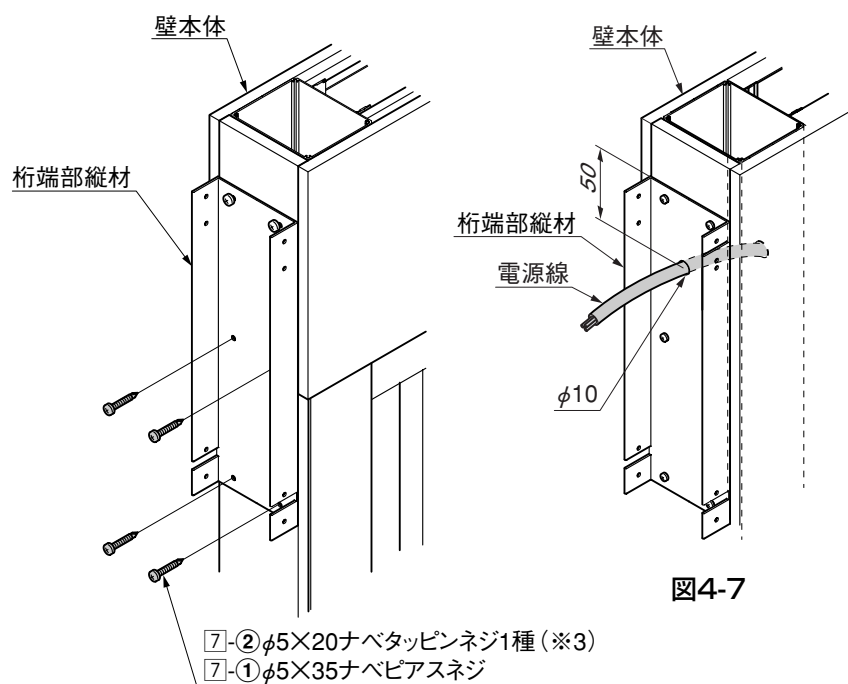


図4-6

図4-7

- ⑥ SAボードにあけた孔に7-1を取付けてください。(図4-6参照)

ポイント

- ネジは決められた位置に正確に固定してください。
- 桁コーナー取付けの場合は $\phi 4$ の孔をあけた箇所には7-2(※3)を取付けてください。(図4-6参照)
- ダウンライト取付けの場合は、壁本体、桁端部縦材に $\phi 10$ の孔をあけて電源線を出してください。(図4-7参照)

4-2 アーチ桁の場合

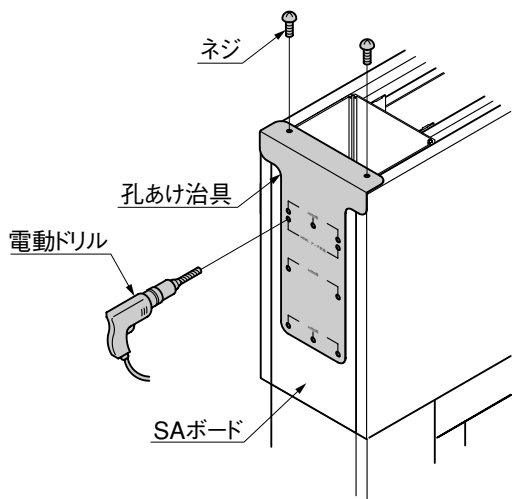


図4-8

ポイント

- 桁コーナー取付けの場合は、壁本体の家側表記がある面に桁を取付けてください。

- ① 孔あけ治具を壁本体上側にネジ等で仮止めてください。(図4-8参照)
- ② SAボードに※1に示す箇所に $\phi 5$ の孔を2ヶ所あけてください。(図4-9、図4-10参照)

ポイント

- $\phi 5$ の孔はSAボードのみにあけてください。

- ③ 孔あけ治具を取外してください。

ポイント

- 桁コーナー取付けの場合、※2で示す箇所は $\phi 4$ の孔をあけてください。

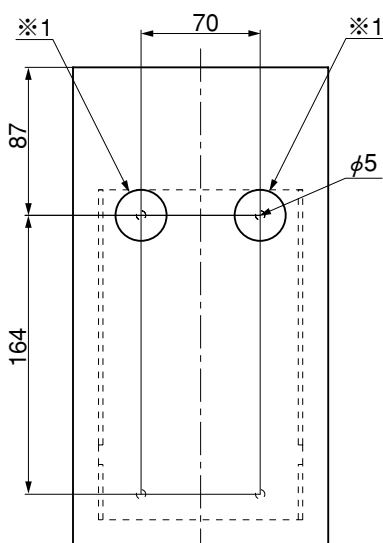


図4-9 桁直線取付けの場合

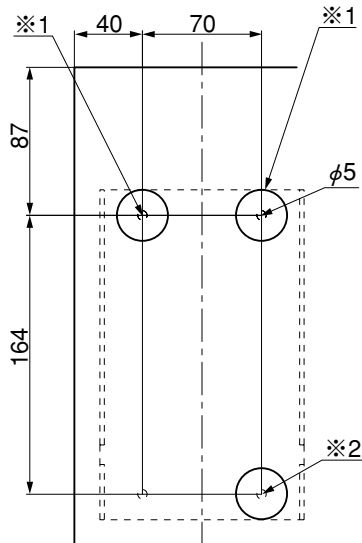


図4-10 桁コーナー取付けの場合

4. つづき

4-2 つづき

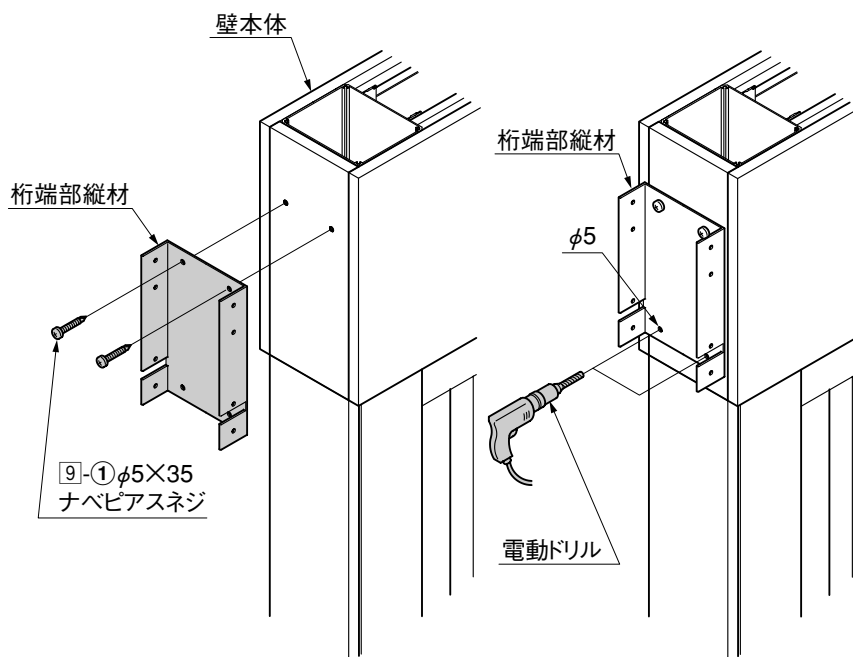


図4-11

図4-12

④ SAボードにあけた孔に桁端部縦材を[9]-①で取付けてください。
(図4-11参照)

⑤ SAボードに桁端部縦材ごしに $\phi 5$ の孔を2ヶ所あけてください。
(図4-12参照)

ポイント

- $\phi 5$ の孔はSAボードのみにあけてください。

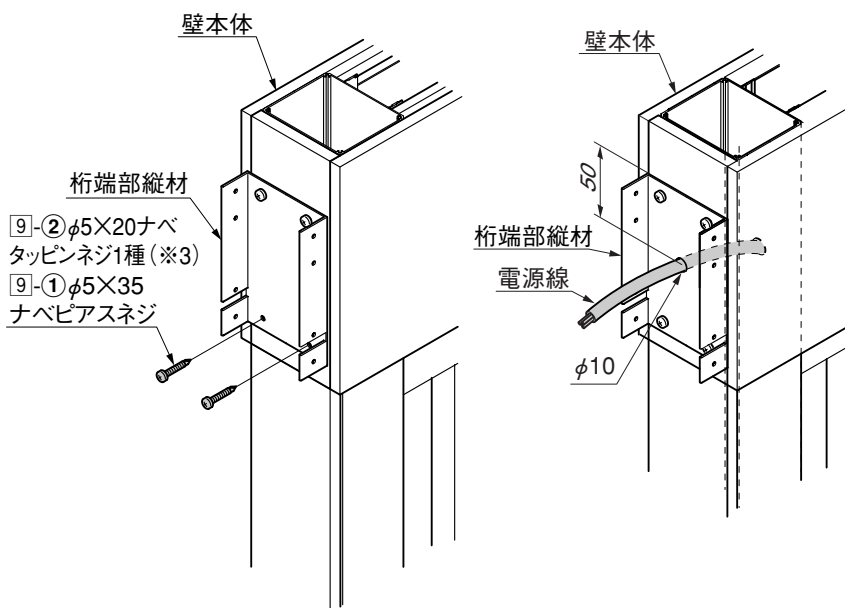


図4-13

図4-14

⑥ SAボードにあけた孔に[9]-①を取付けてください。(図4-13参照)

ポイント

- ネジは決められた位置に正確に固定してください。
- 桁コーナー取付けの場合は $\phi 4$ の孔をあけた箇所には[9]-②(※3)を取付けてください。
(図4-13参照)
- ダウンライト取付けの場合は、壁本体、桁端部縦材に $\phi 10$ の孔をあけて電源線を出してください。(図4-14参照)

5. 独立用補強材の取付け 販 工事 ※H32壁柱を独立施工する場合の作業です。

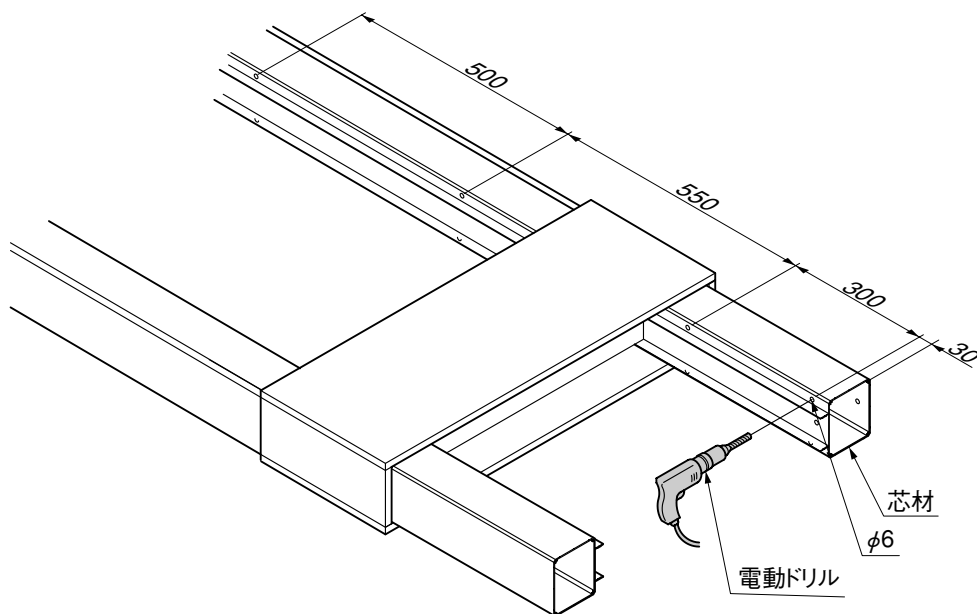


図5-1

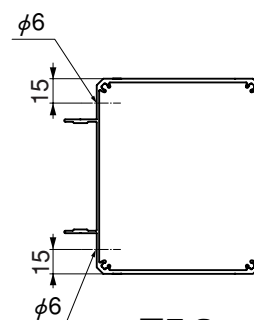


図5-2

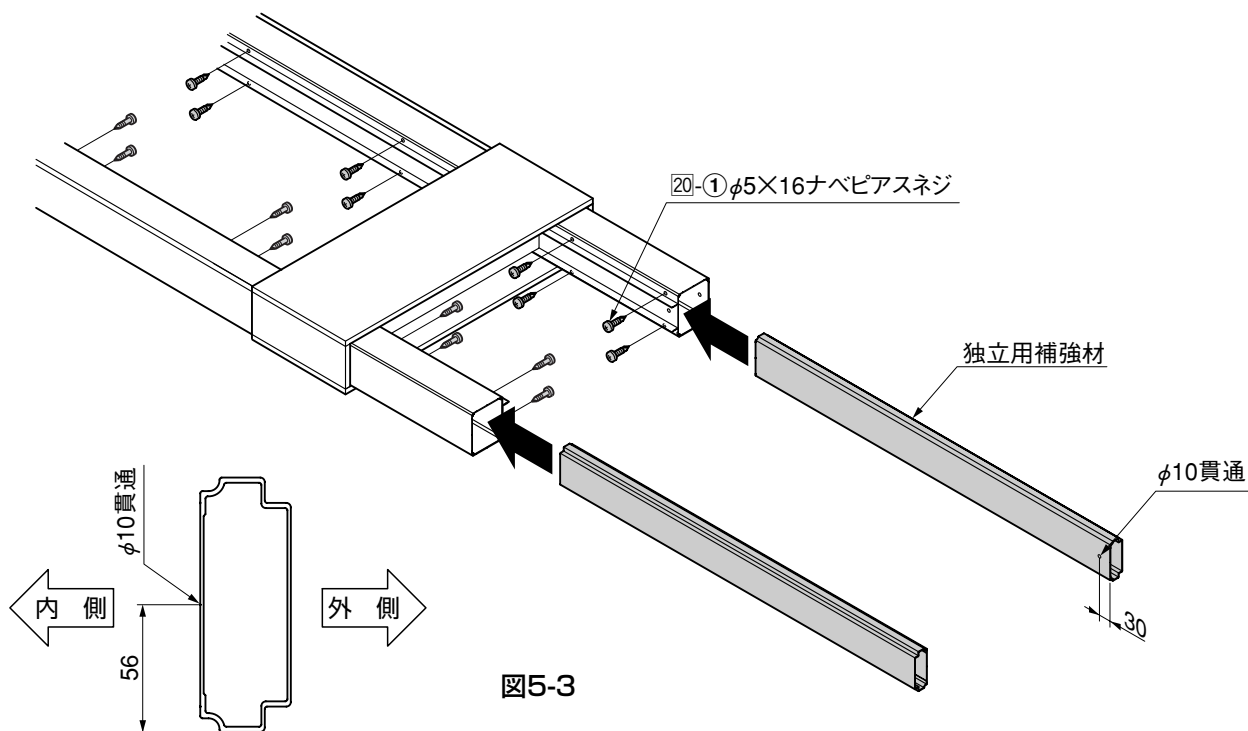


図5-3

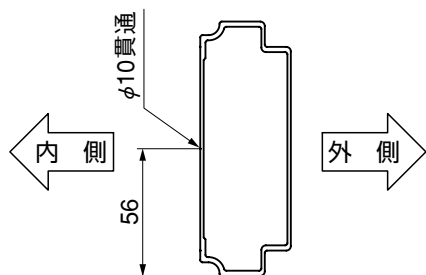
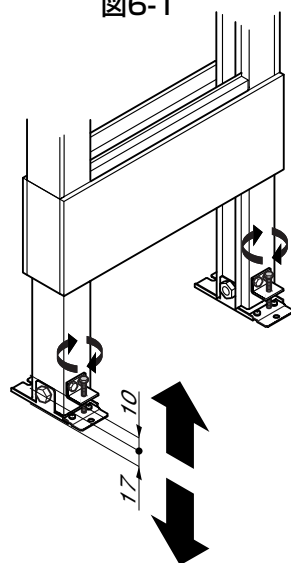
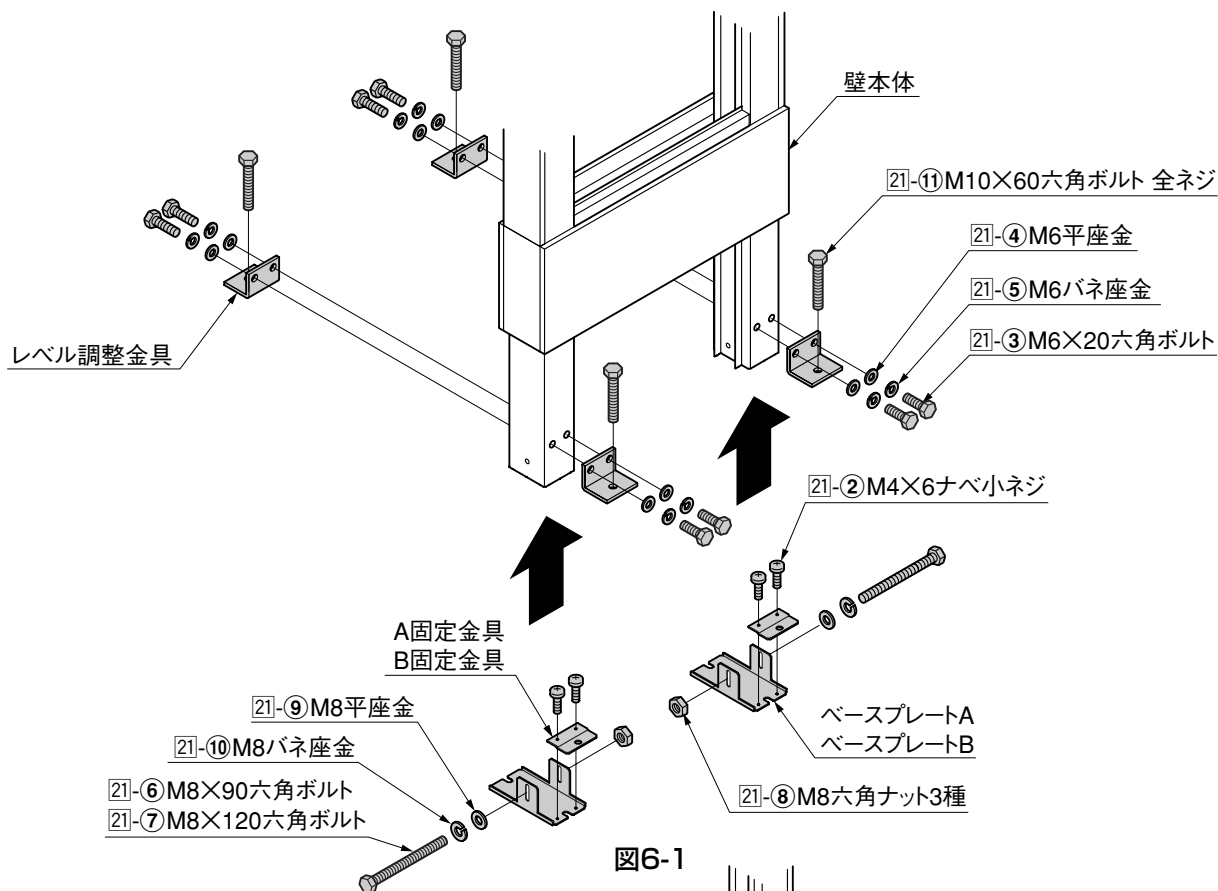


図5-4

- ① 壁柱の芯材にφ6の孔をあけてください。(図5-1、図5-2参照)
- ③ 独立用補強材にφ10貫通孔をあけてください。(図5-3、図5-4参照)
- ② 独立用補強材を芯材内に挿入し、20-①で固定してください。(図5-3参照)

6 .ベースプレートの取付け **オプション** 販 工事 ※図はベースプレートBの場合です。

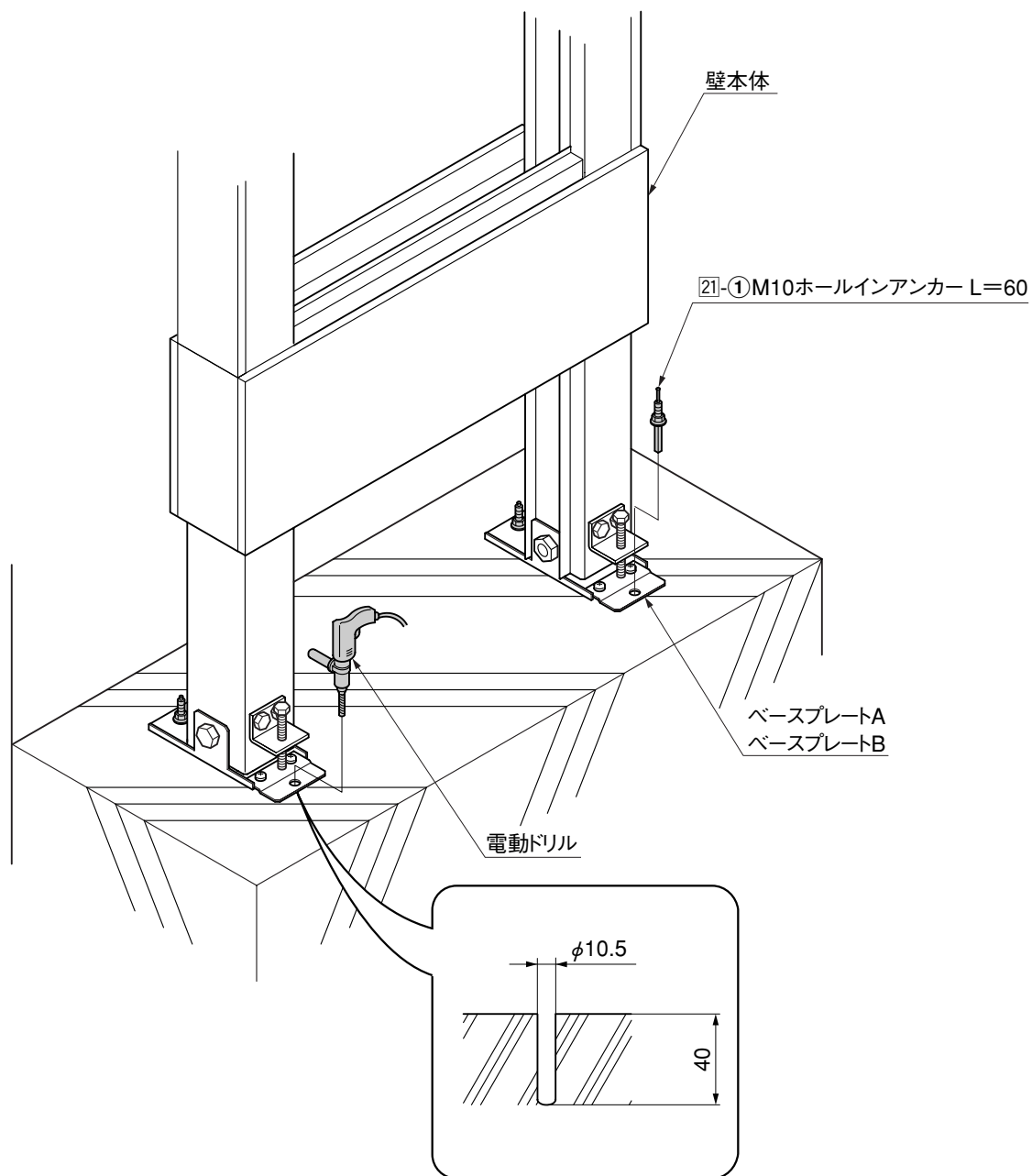


- ① 壁本体に21-4、21-5、21-3でレベル調整金具を取付けてください。
- ② レベル調整金具に21-11を取付けてください。
- ③ ベースプレートAまたは、ベースプレートBに21-2でA固定金具または、B固定金具を取付けてください。

ポイント

- 隣地境界線への施工の場合には、③の作業は行わないでください。
- ④ 壁本体に21-8、21-9、21-10、21-6でベースプレートAまたは、21-8、21-9、21-10、21-7でベースプレートBを取付けてください。
- ⑤ 図6-2を参照してレベル調整を行ってください。

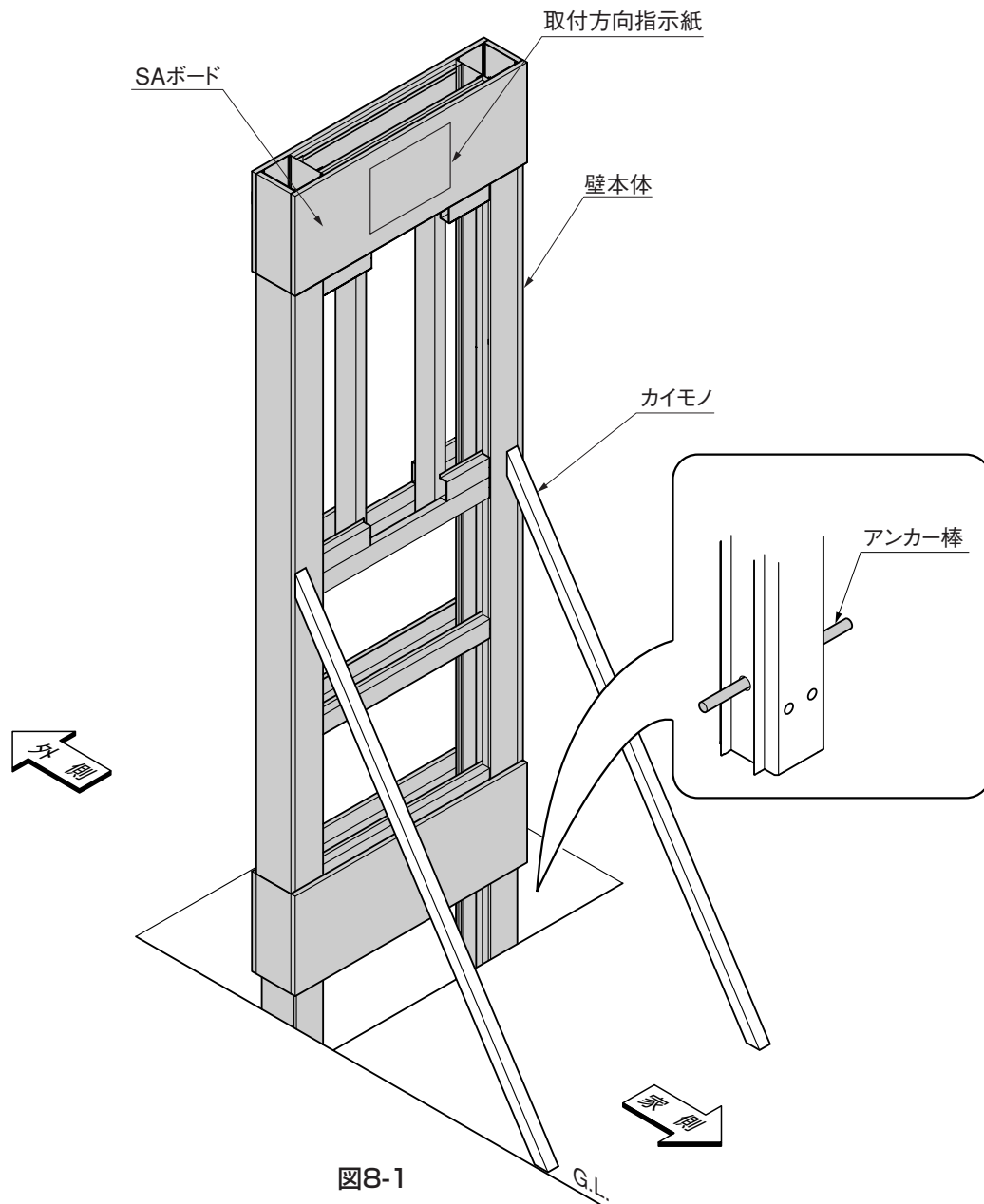
7.基礎への固定 **オプション** 販 工事 ※ベースプレートを取付けた場合の作業です。



- ① 壁本体の位置が決まったらコンクリートに直径10.5mm、深さ40mmの下孔をコンクリートドリルであけてください。
- ② コンクリートに21-①でベースプレートAまたはベースプレートBを固定してください。

8. 壁本体の建て込み

販 工事



ポイント

- 壁本体には家側と外側の区別があります。取付方向指示紙が家側に貼ってあります。
- 桁をコーナー納まりで取付ける場合は、「家側」表示面に桁を取付けてください。

- ① 壁本体にアンカー棒を差込んでください。
- ② 図8-1のように、壁本体を基礎孔に立ててください。
- ③ 壁本体が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

ポイント

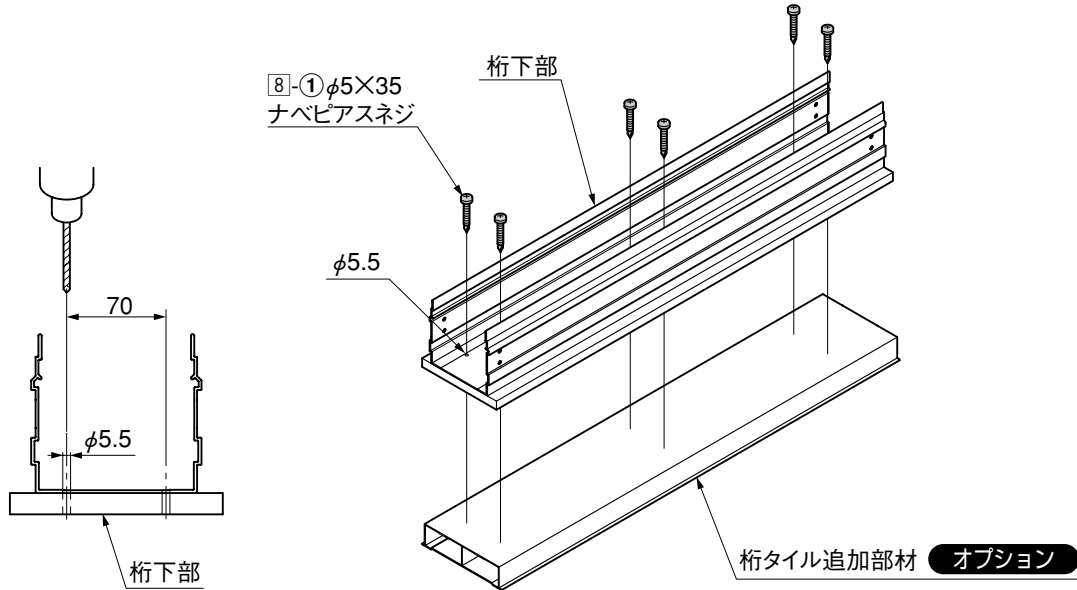
- 壁柱表面仕上げ作業まで、SAボードの表面を濡らさないようにしてください。

補足

- 壁本体を仮固定するカイモノ等は、現場調達してください。

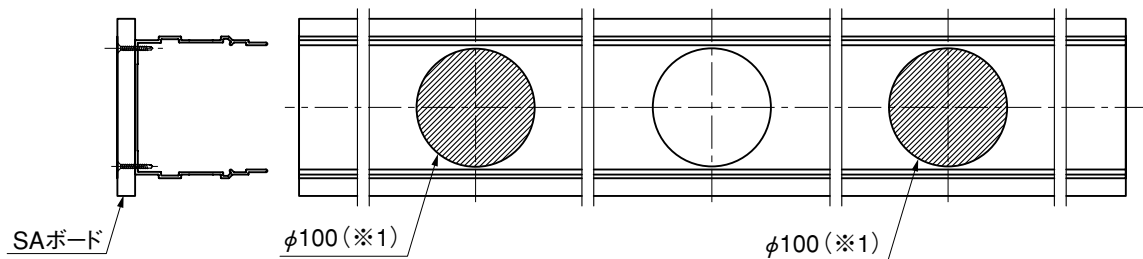
9. 桁の取付け 販 工事 ※桁を取付ける場合の作業です。

9-1 桁タイル追加部材の取付け オプション ※表面仕上げを全面タイル仕上げにする場合の作業です。



- ① 桁下部に $\phi 5.5$ の孔加工をしてください。(図9-1参照)
- ② 桁下部と桁タイル追加部材を ⑧-① で取付けてください。(図9-2参照)

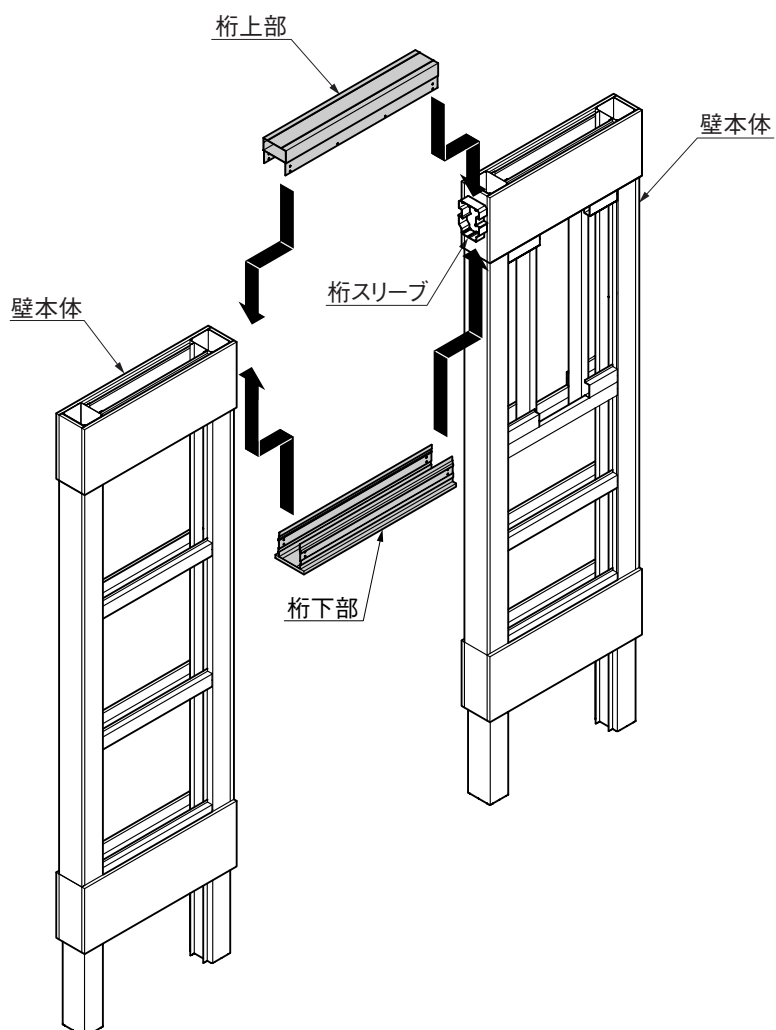
9-2 照明取付孔の追加工 ※W27、36の桁(照明用)にさらに照明取付孔を追加する場合の作業です。



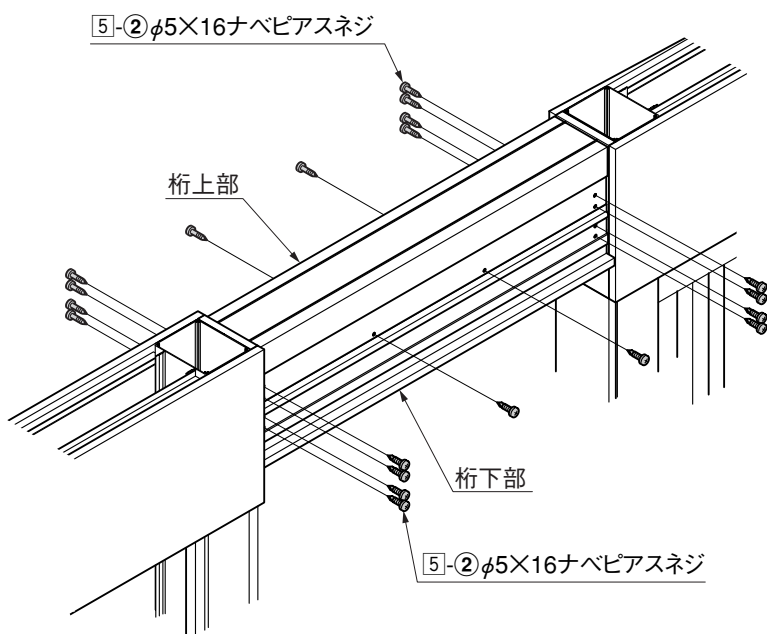
- ① 型材の孔加工 (※1) にあわせて、SAボードに $\phi 100$ の孔をあけてください。

9. つづき

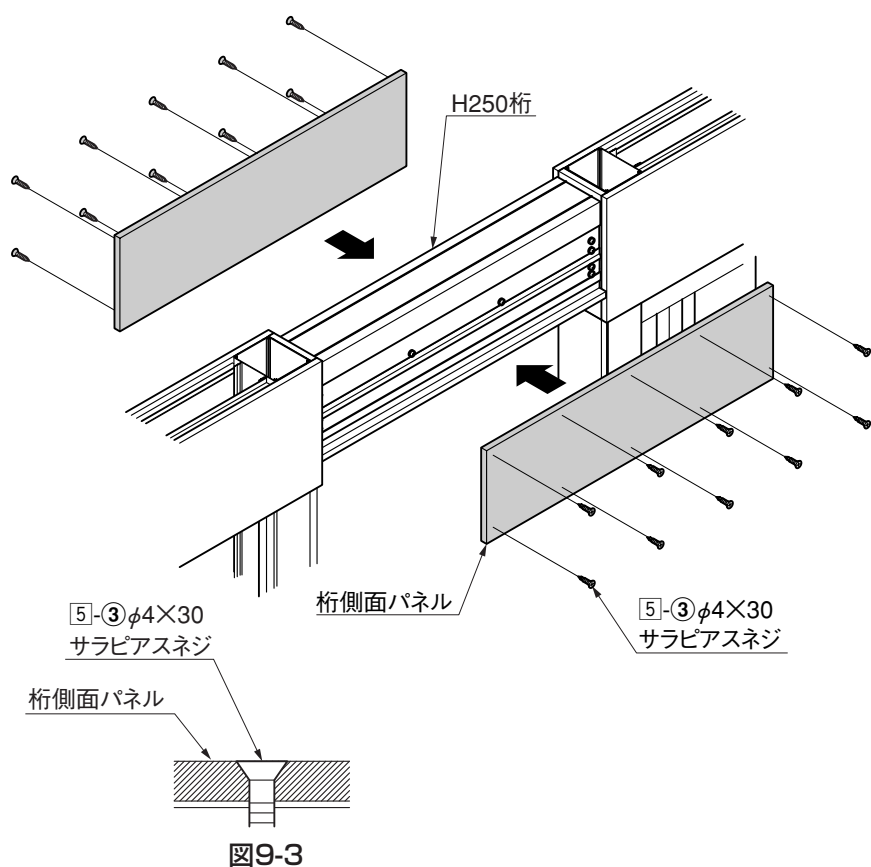
9-3 H250桁の取付け



- ① 桁スリーブの下側から桁下部をはめ込んでください。
- ② 桁上部を桁スリーブの上側からはめ込んでください。



- ③ 桁上部と桁下部を5-②で桁スリーブに固定してください。

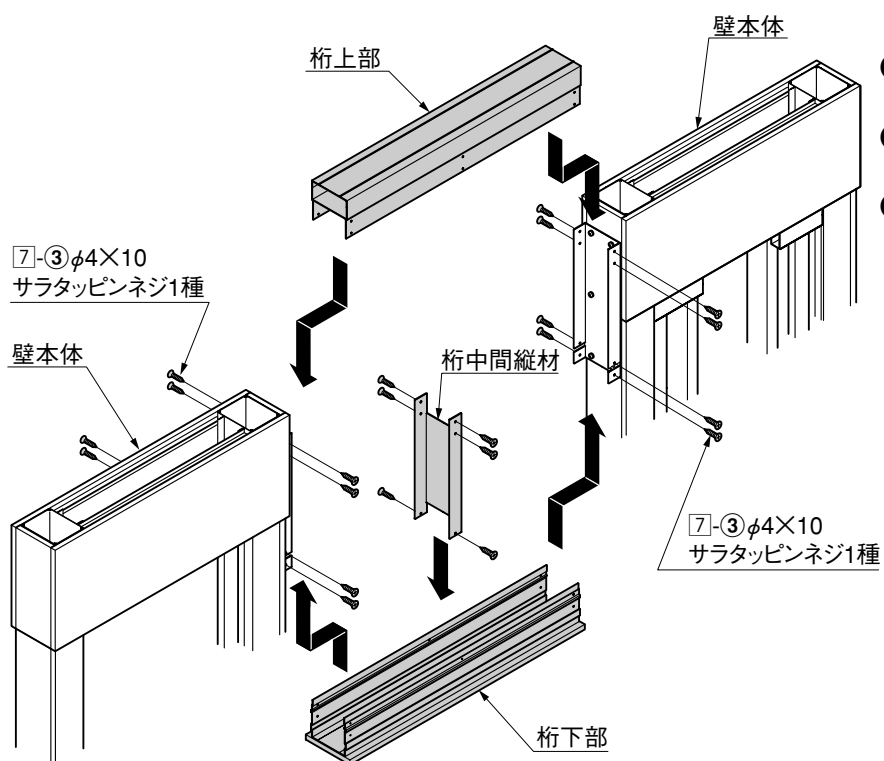


④ 桁側面パネルをH250桁に5-3で取付けてください。

ポイント

- 桁側面パネルには表裏があります。
- 5-3は皿頭が桁側面パネルに埋るように打込んでください。(図9-3参照)

9-4 H530桁の場合



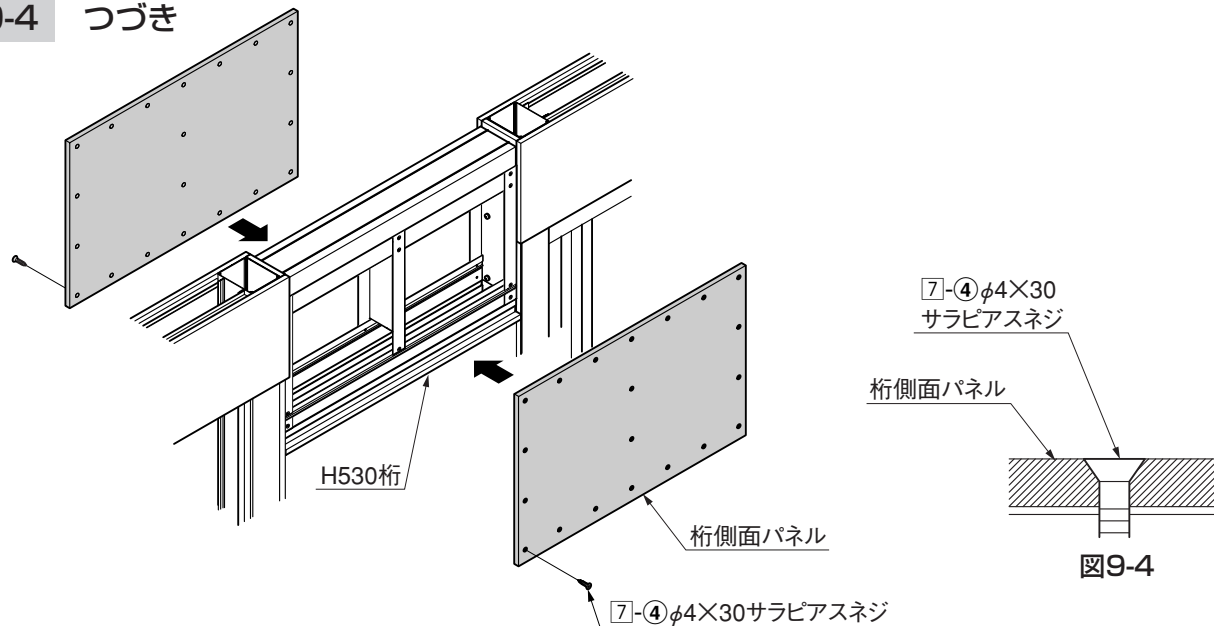
① 桁下部に桁中間縦材を7-3で取付けてください。

② 桁端部縦材に桁下部、桁上部を7-3で取付けてください。

③ 桁中間縦材と桁上部を7-3で固定してください。

9. つづき

9-4 つづき

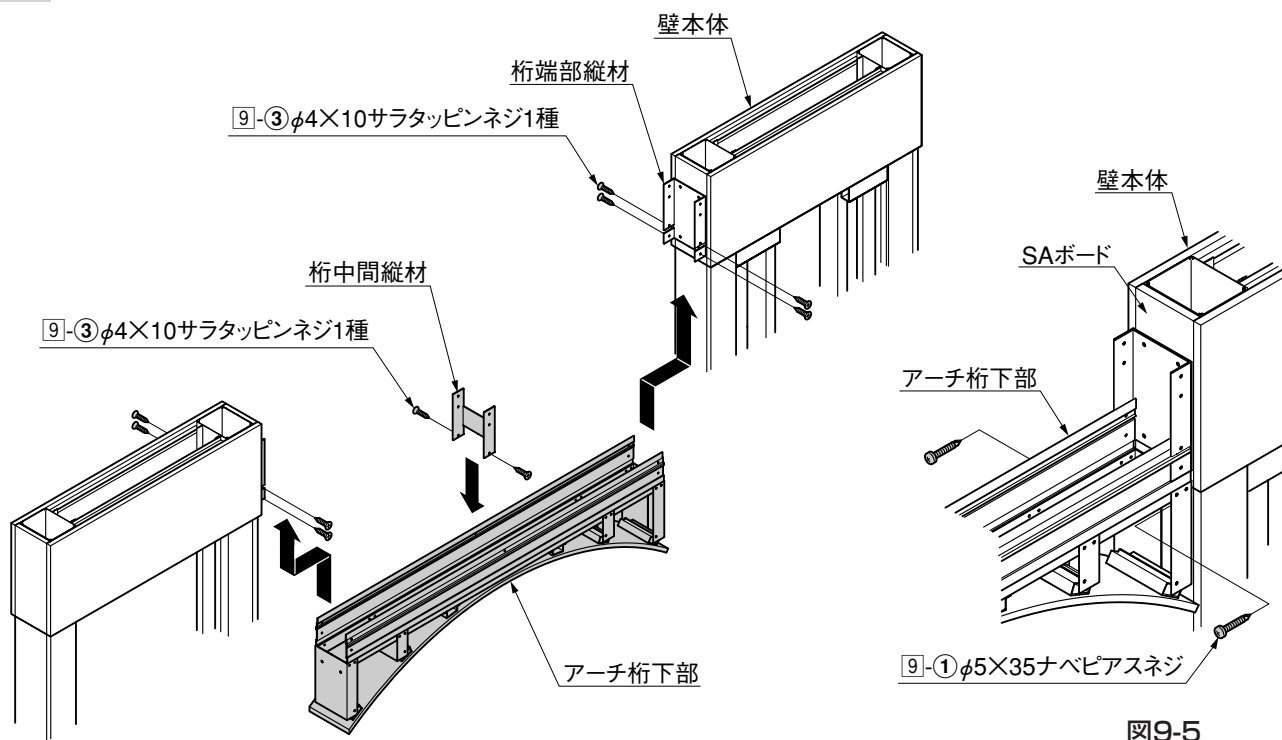


④ 桁側面パネルをH530桁に7-4で取付けてください。

ポイント

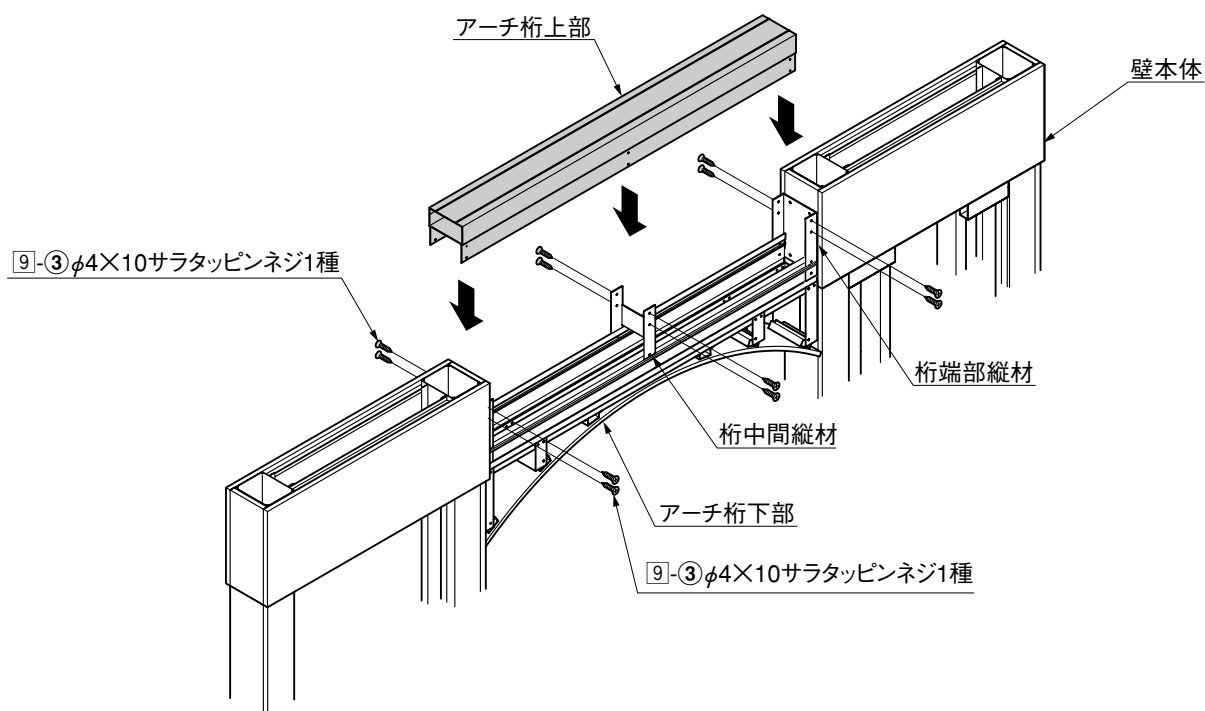
- 桁側面用パネルには表裏があります。
- 7-4は皿頭が桁側面用パネルに埋るように打込んでください。(図9-4参照)

9-5 アーチ桁の場合

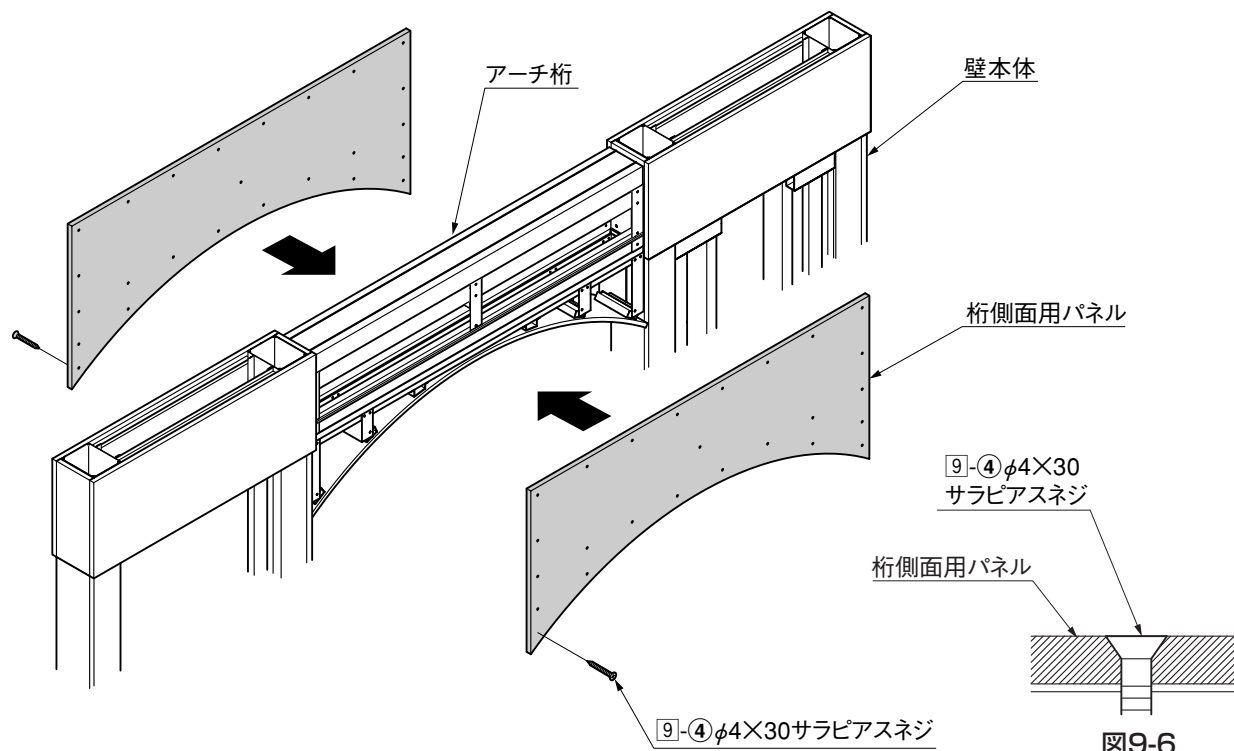


- ① アーチ桁下部に桁中間縦材を9-3で取付けてください。
- ② 桁端部縦材にアーチ桁下部を9-3で取付けてください。
- ③ SAボードをアーチ桁下部ごしにφ5の孔を2ヶ所あけてください。
- ④ 桁下部材を9-1で壁本体に取付けてください。(図9-5参照)

図9-5



⑤ アーチ桁上部を桁中間縦材、桁端部縦材に⑨-③で取付けてください。



⑥ 桁側面用パネルをアーチ桁に⑨-④で取付けてください。

ポイント

- 桁側面用パネルには表裏があります。
- ⑨-④は皿頭が桁側面用パネルに埋るように打込んでください。(図9-6参照)

10. ウッド調幕板の取付け 販 工事 ※ウッド調幕板を取付ける場合の作業です。

10-1 ウッド調幕板の取付け

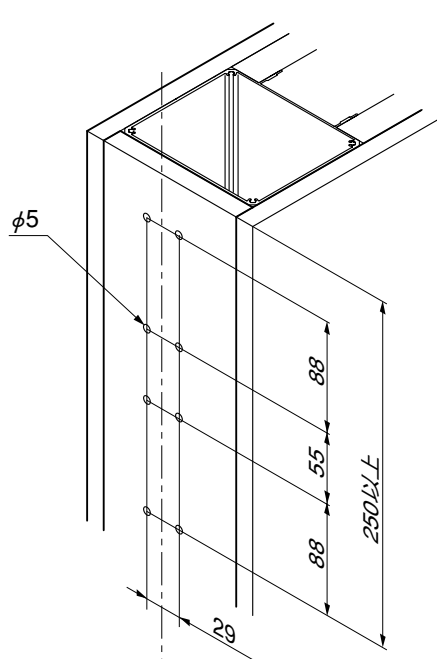


図10-1 桁直線取付けの場合

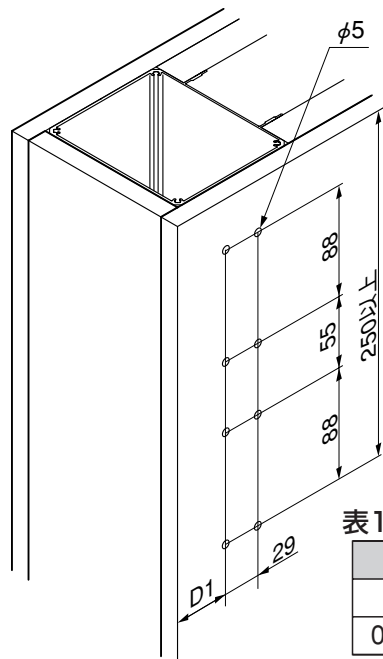


図10-2 桁コーナー取付けの場合

表10-1

サイズ	D1
H17、04-23、04-26	27～75
08-23、08-26、H29、H32	27～35

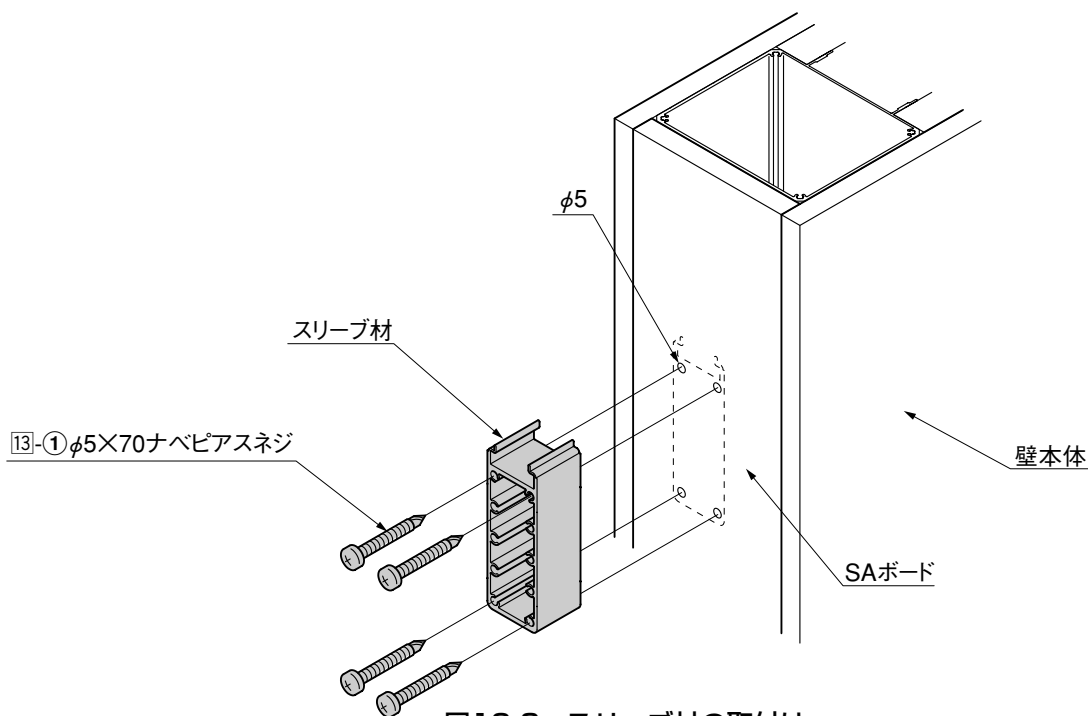


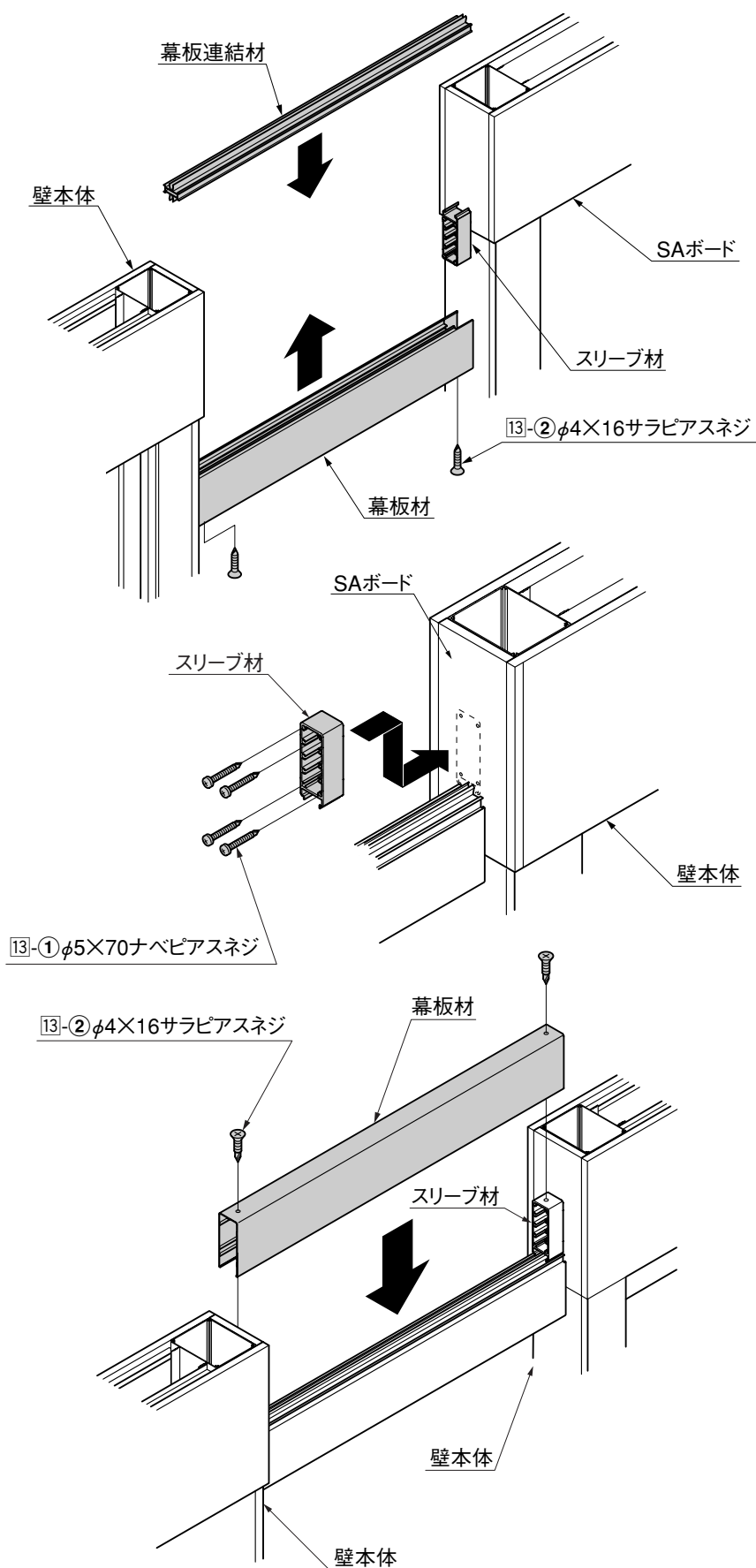
図10-3 スリーブ材の取付け

- ① SAボードにスリーブ材取付け位置を出して、φ5の孔をあけてください。(図10-1、図10-2参照)

ポイント

- φ5の孔はSAボードのみにあけてください。
- 桁コーナー取付けの場合は、端部から表10-1を参照してD1の寸法分はなしてください。

- ② スリーブ材を壁本体に13-①で取付けてください。(図10-3参照)



③ 幕板材をスリーブ材の下からはめ込み、[13]-②で取付けてください。

④ 幕板連結材を幕板材にはめ込み、取付けてください。

⑤ スリーブ材を壁本体に[13]-①で取付けてください。

⑥ 幕板材をスリーブ材の上からはめ込み、[13]-②で取付けてください。

10. つづき

10-2 幕板材を切り詰める場合の取付け オプション

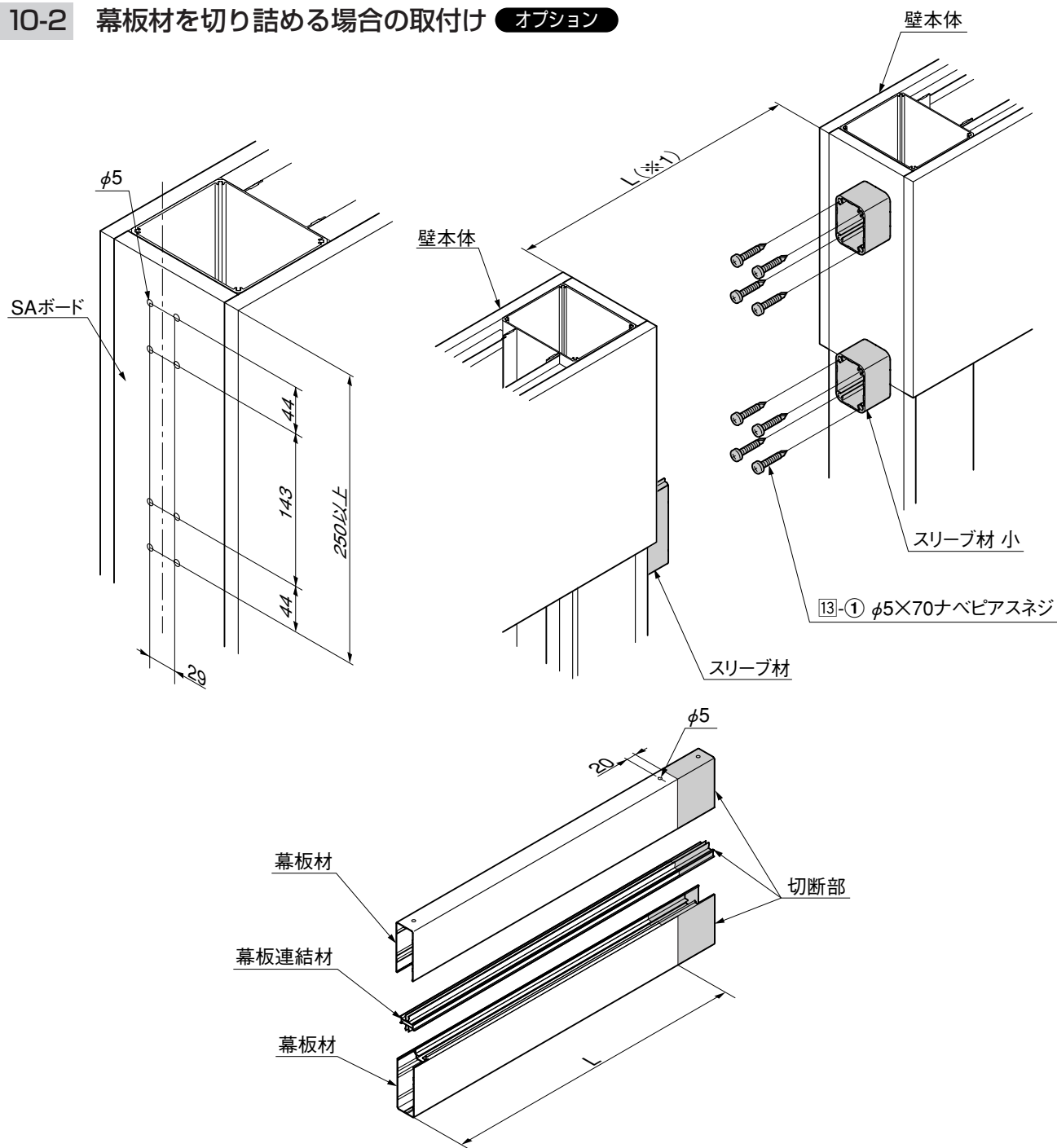


図10-4

- ① SAボードにスリーブ材 小の取付け位置を出して、 $\phi 5$ の孔をあけてください。

ポイント

- $\phi 5$ の孔はSAボードのみに、あけてください。
- ② スリーブ材 小を壁本体に13-①で取付けてください。
- ③ 壁本体間のL寸法(※1)を測定して、幕板材と幕板連結材を切断してください。
- ④ 幕板材に $\phi 5$ の孔をあけてください。(図10-4参照)
- ⑤ 幕板材と幕板連結材を取付けてください。

11. 腰壁の取付け 販 工事

※腰壁を取付ける場合の作業です。

11-1 腰壁の取付け

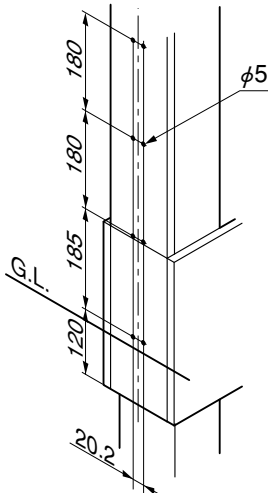


図11-1 H600の場合

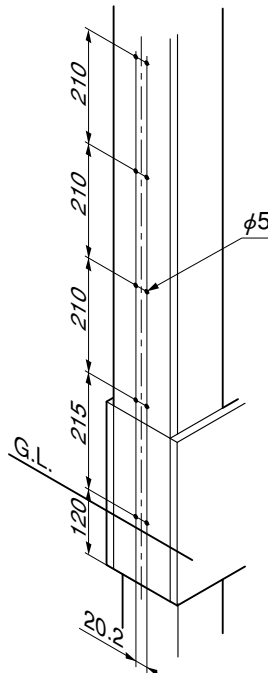


図11-2 H900の場合

- ① SAボードに縦枠取付け位置を出して、φ5の孔をあけてください。(図11-1、図11-2参照)

ポイント

- φ5の孔はSAボードのみにあけてください。

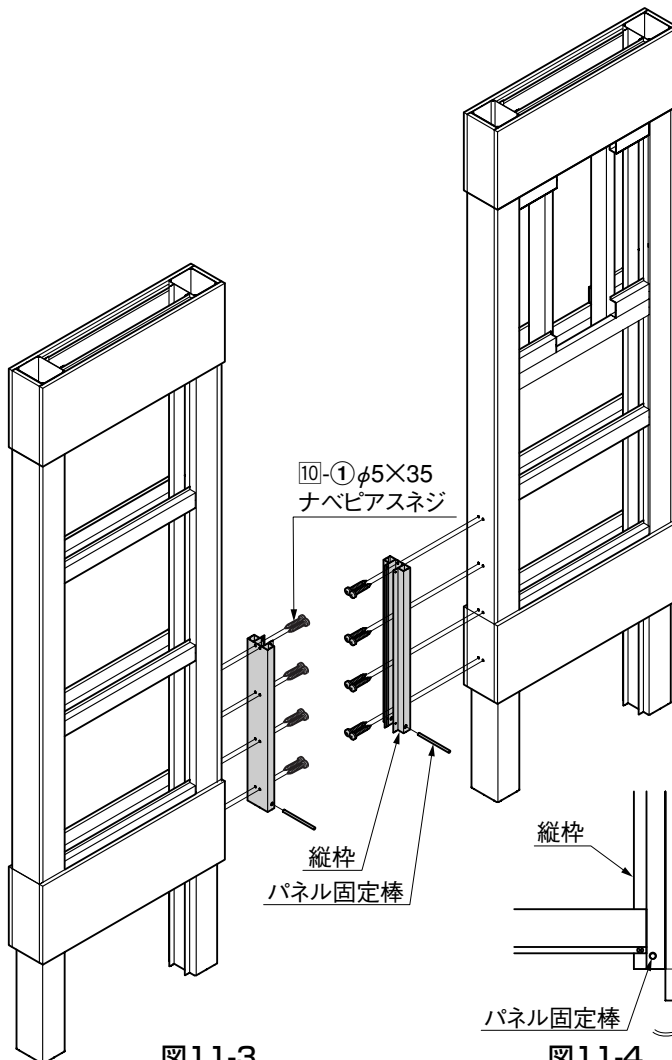


図11-3

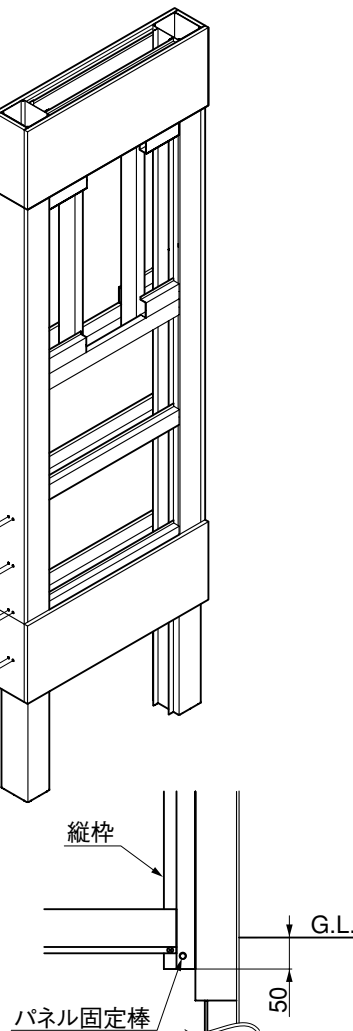


図11-4

- ② パネル固定棒を縦枠に差込みSAボードに⑩-①で取付けてください。(図11-3、図11-4参照)

11. つづき

11-1 つづき

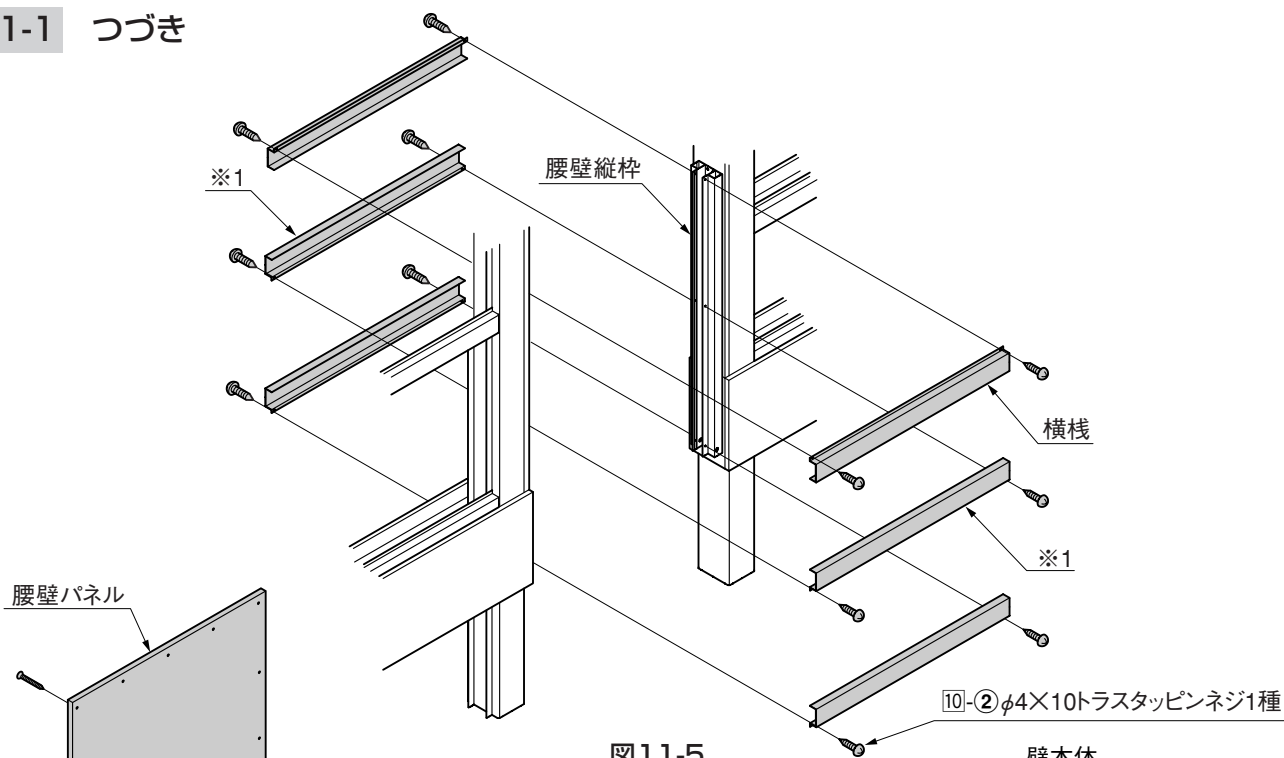


図11-5

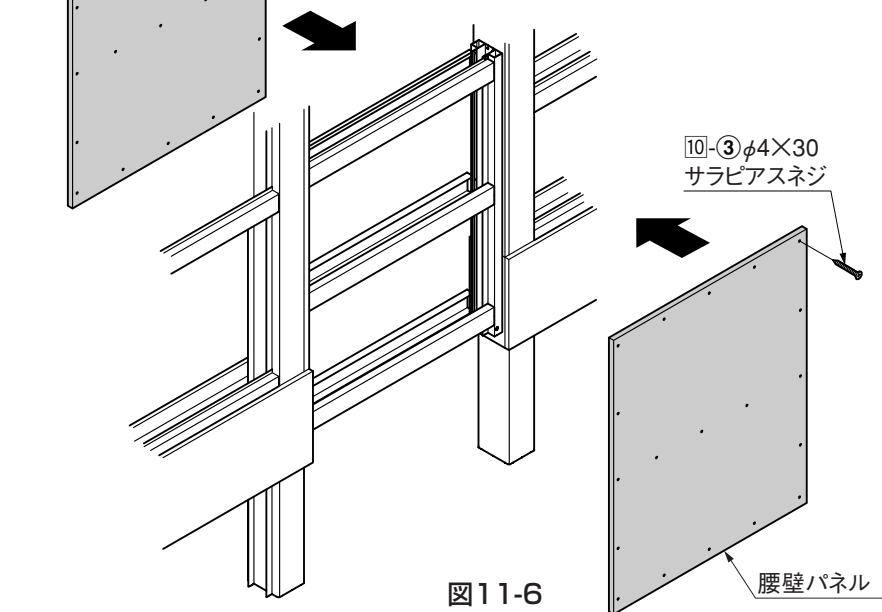


図11-6

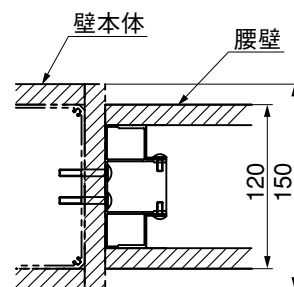


図11-7

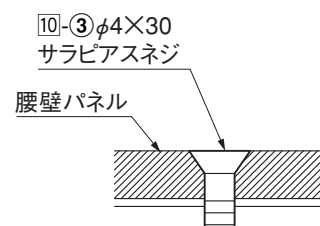


図11-8

③横枠を縦枠に10-2で取付けてください。(図11-5参照)

補足

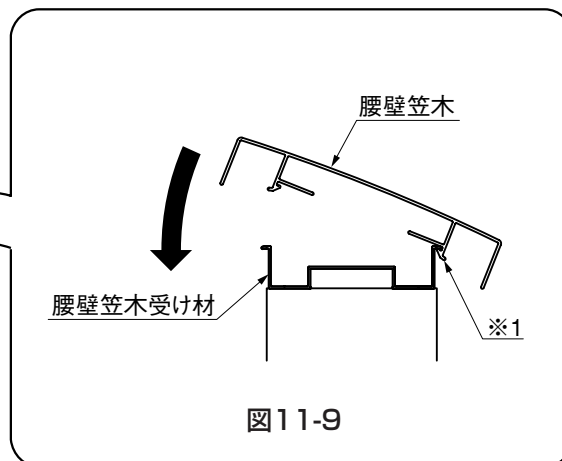
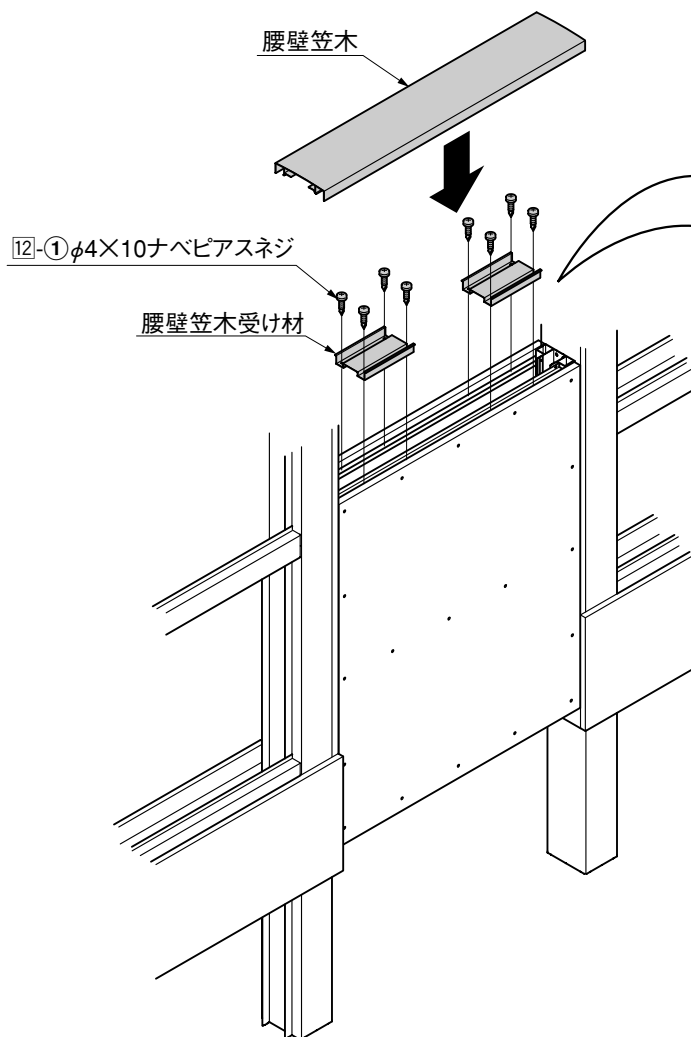
- ※1はH900の場合に取付けてください。

④腰壁パネルを10-3で取付けてください。(図11-6参照)

ポイント

- 腰壁パネルには表裏があります。
- 腰壁パネルの取付は壁本体より内側になります。(図11-7参照)
- 10-3は皿頭が腰壁パネルに埋るように打込んでください。(図11-8参照)

11-2 腰壁笠木の取付け



- ① 腰壁笠木受け材を横棧の両端に12-①で取付けてください。
- ② 腰壁笠木を腰壁笠木受け材にはめ込んでください。

ポイント

- 腰壁笠木の爪(※1)を腰壁笠木受け材に引っ掛けるように取付けてください。(図11-9参照)

12. 梁の取付け 販 工事

※梁を取付ける場合の作業です。
 ※屋根を梁受け仕様で取付ける場合は、
 スカイール梁用屋根部品取付説明書 (E159) を参照してください。

12-1 H250桁のスリーブ材取付け位置の確認

※家側にスリーブ材を取付ける際に確認してください。
 ※ () 内は04-17、08-17、04-23、04-26の場合の寸法です。

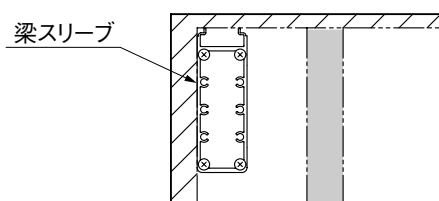
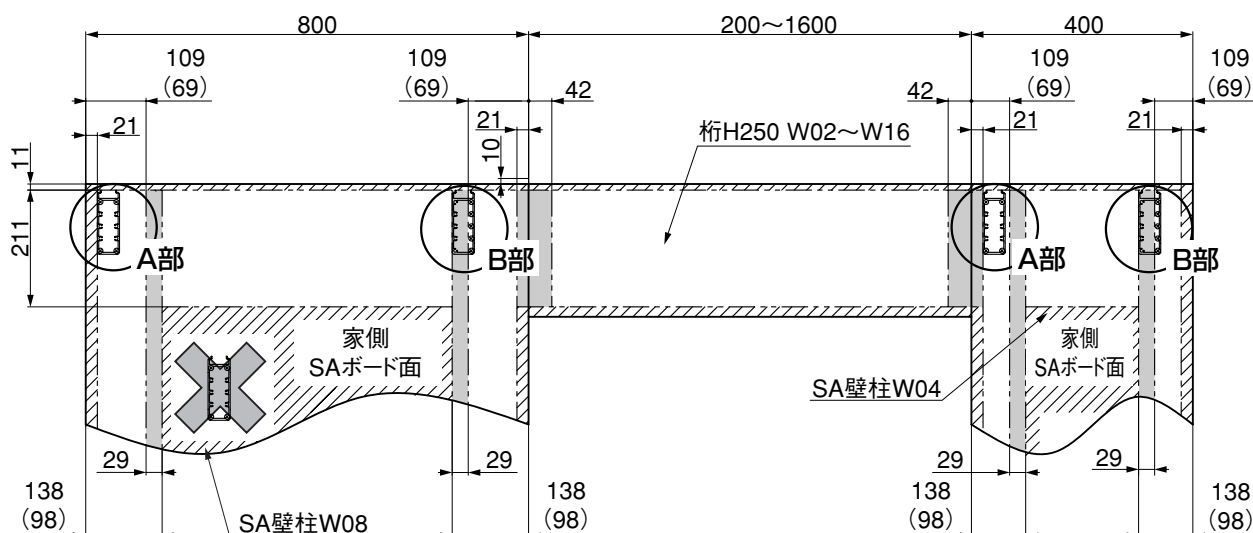


図12-1 A部詳細図

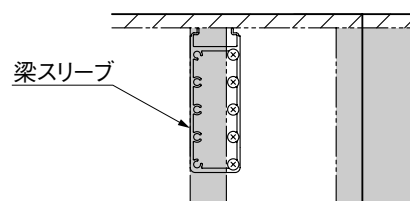


図12-2 B部詳細図

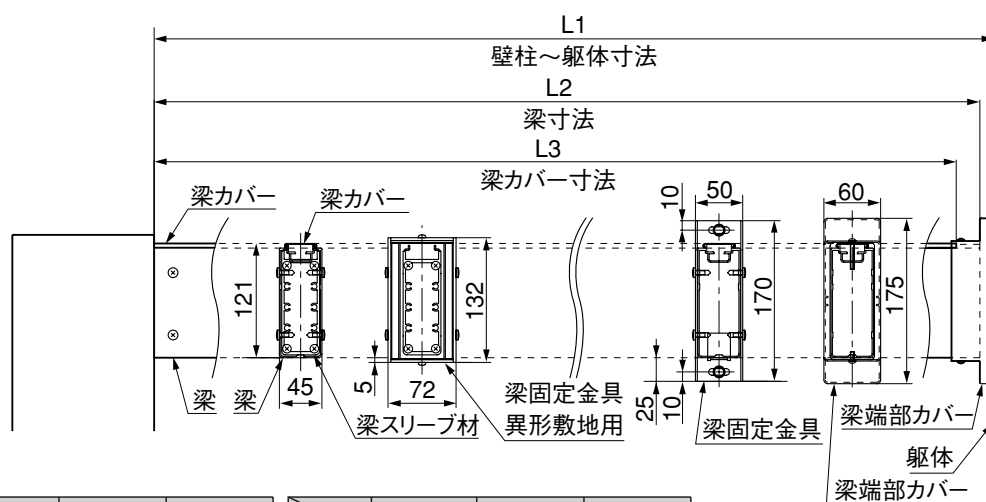


表12-1

	L1	L2	L3		L1	L2	L3
3尺	985	970	945	9尺	2795	2770	2745
6尺	1885	1870	1845	12尺	3685	3670	3645

ポイント

- 内はスリーブ材の取付けはできません。
- 内はA部詳細図のようにネジ4本で固定してください。
- 内はネジが干渉する場合がありますので、B部詳細図のように片側にネジ5本で固定してください。

12-2 H530桁のスリーブ材取付け位置の確認

※家側にスリーブ材を取付ける際に確認してください。
※()内は04-17、08-17、04-23、04-26の場合の寸法です。

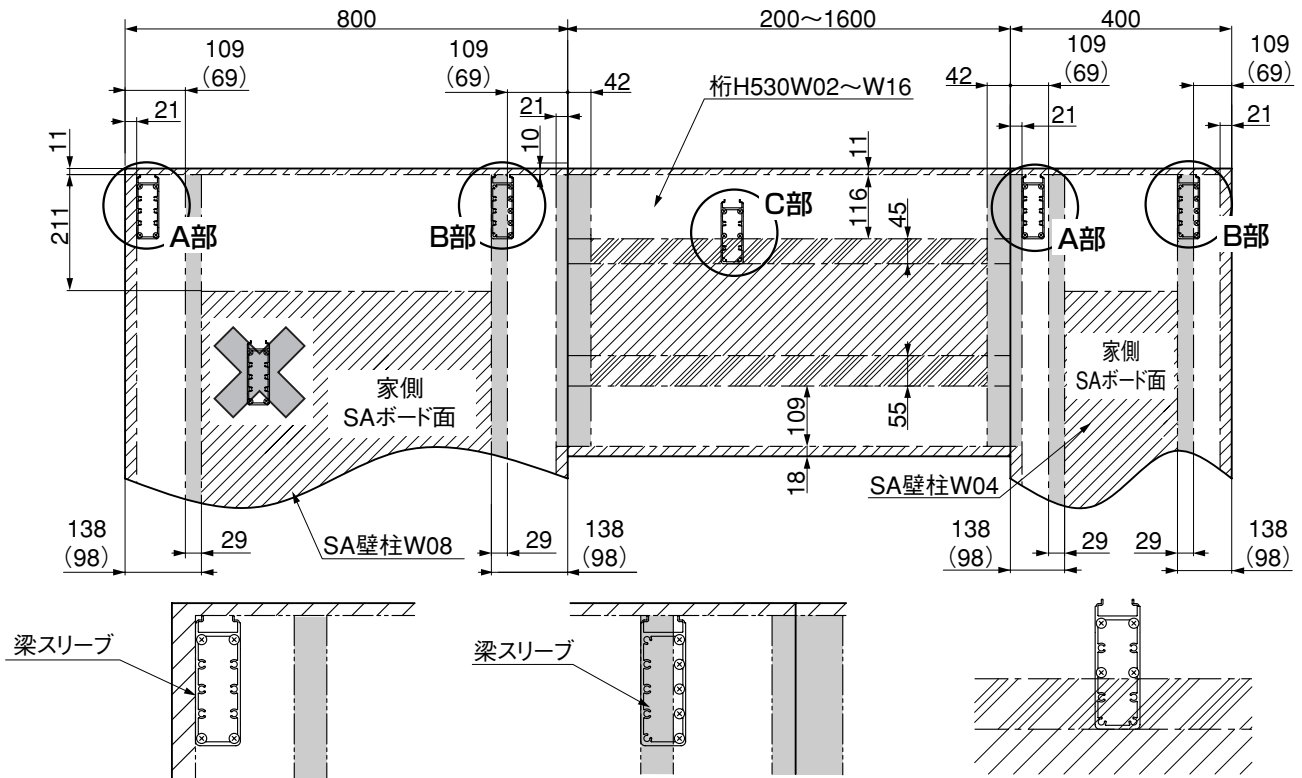


図12-3 A部詳細図

図12-4 B部詳細図

図12-5 C部詳細図

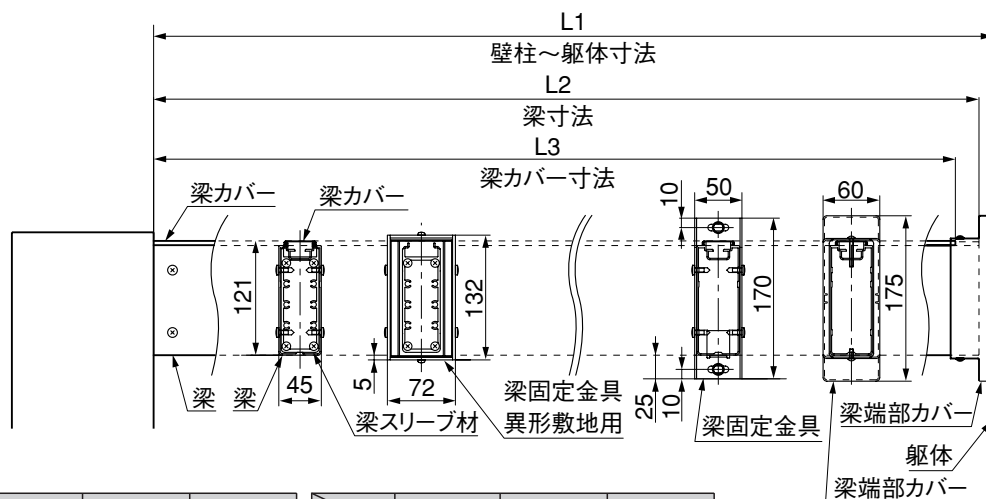


表12-2

	L1	L2	L3		L1	L2	L3
3R	985	970	945	9R	2795	2770	2745
6R	1885	1870	1845	12R	3685	3670	3645

ポイント

- 内はスリーブ材の取付けはできません。
- 内はA部詳細図のようにネジ4本で固定してください。
- 内はネジが干渉する場合がありますので、B部詳細図のように片側にネジ5本で固定してください。
- 内はパネルの裏に芯材がありませんので、C部詳細図のようにネジ4本で固定してください。

12. つづき

12-3 アーチ桁のスリーブ材取付け位置の確認

※家側にスリーブ材を取付ける際に確認してください。
※()内は04-17、08-17、04-23、04-26の場合の寸法です。

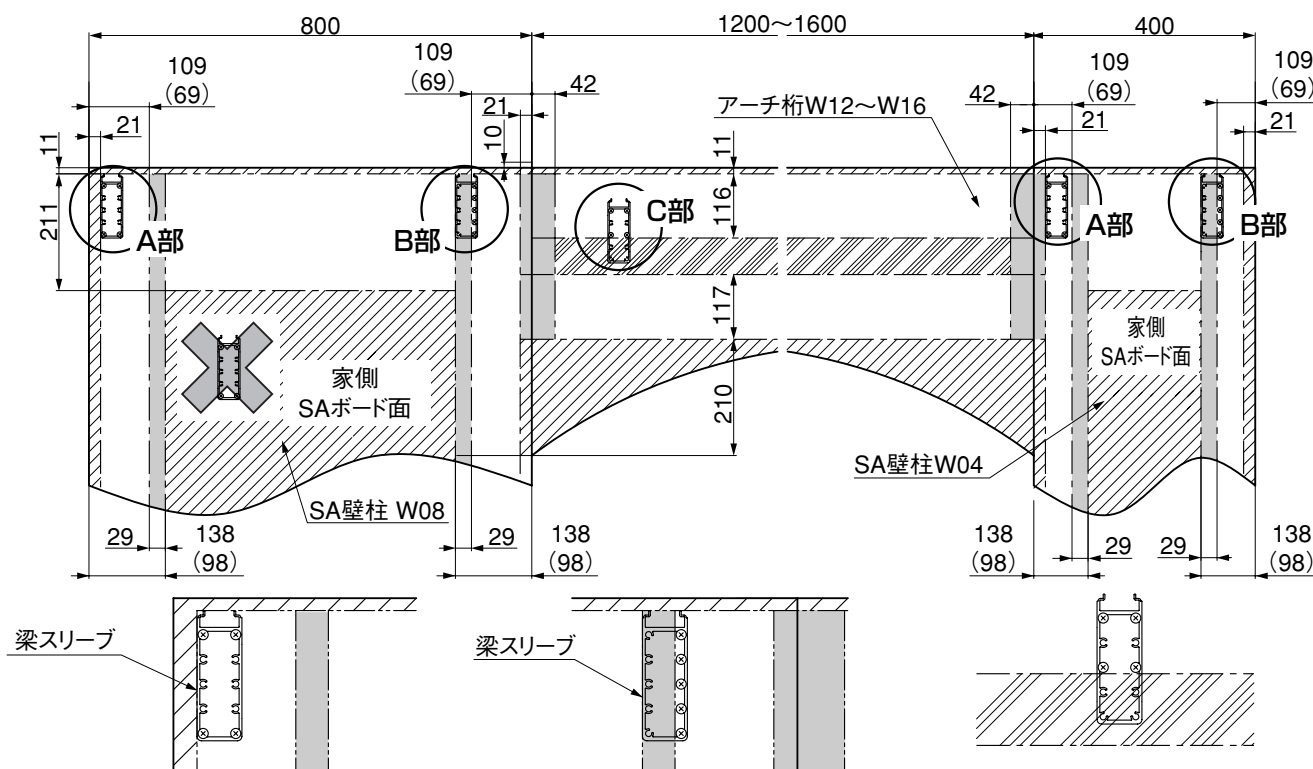


図12-6 A部詳細図

図12-7 B部詳細図

図12-8 C部詳細図

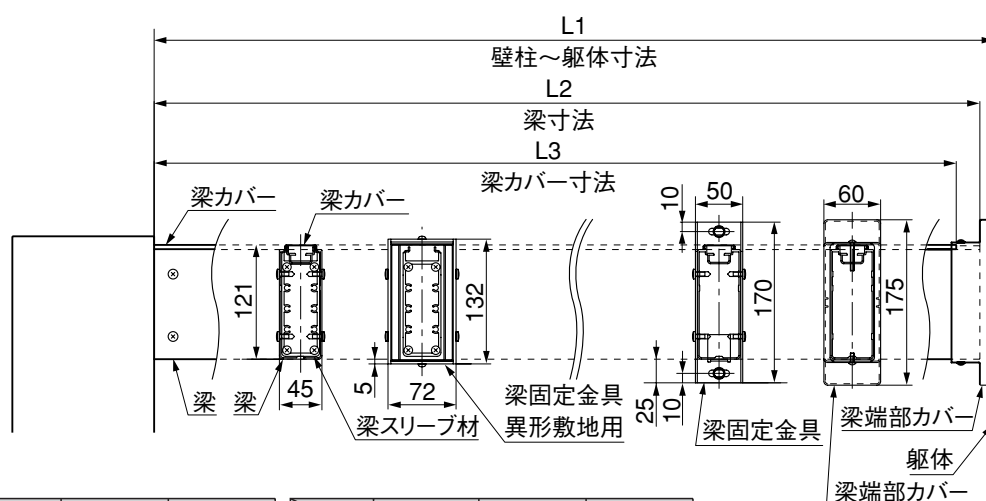


表12-3

	L1	L2	L3		L1	L2	L3
3尺	985	970	945	9尺	2795	2770	2745
6尺	1885	1870	1845	12尺	3685	3670	3645

ポイント

-  内はスリーブ材の取付けはできません。
-  内はA部詳細図のようにネジ4本で固定してください。
-  内はネジが干渉する場合がありますので、B部詳細図のように片側にネジ5本で固定してください。
-  内はパネルの裏に芯材がありませんので、C部詳細図のようにネジ4本で固定してください。

12-4 梁の取付け

(1) 梁取付け準備

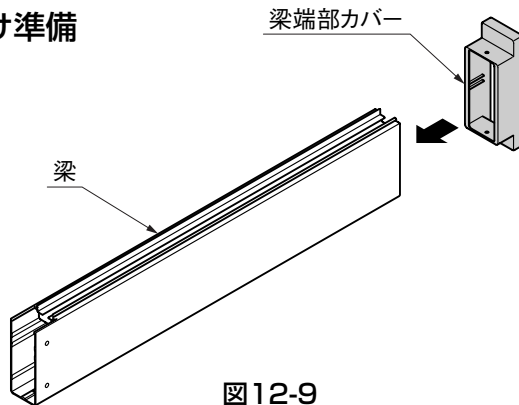


図12-9

ポイント

- 屋根を取付ける場合は、柱固定金具裏板を梁に取付けてください。
- 屋根の取付けは、「スカイエール 梁用屋根部品取付説明書(E159)」を参照して、行ってください。

① 梁端部カバーを梁に通してください。(図12-9参照)

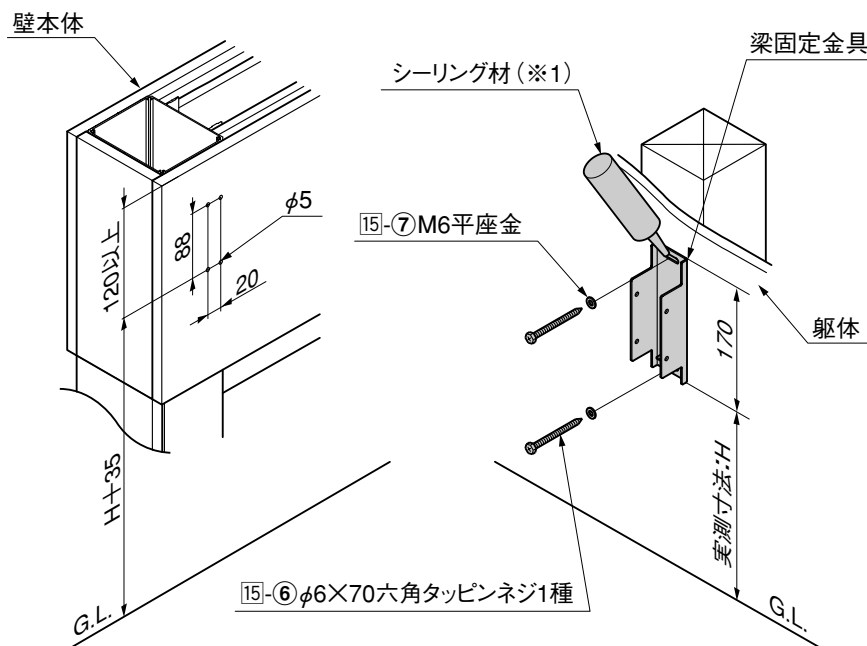


図12-10 梁固定金具の取付け

- ② 「1 基本寸法と各部名称 1. 基本寸法と各部名称」を参照して、梁固定金具を躯体に[15-⑥]、[15-⑦]で取付けてください。(図12-10参照)
- ③ 躯体にシーリングしてください。

注意

- 梁固定金具は、必ず躯体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- 躯体に必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※1)
- 実測寸法Hは梁下面より25を引いた寸法です。
- 実測寸法H+172.5=H3です。

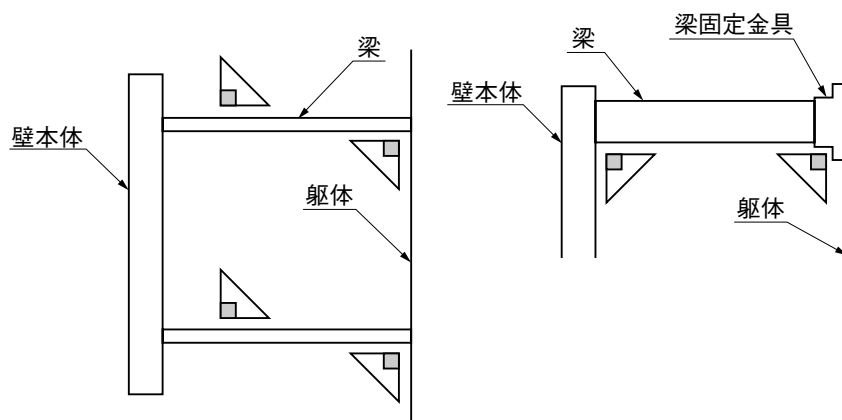


図12-11

④ 躯体側のG.L.から梁固定金具の下端までを実測してください。(図12-10参照)

⑤ SAボードにスリーブ材取付け位置を出してφ5の孔をあけてください。

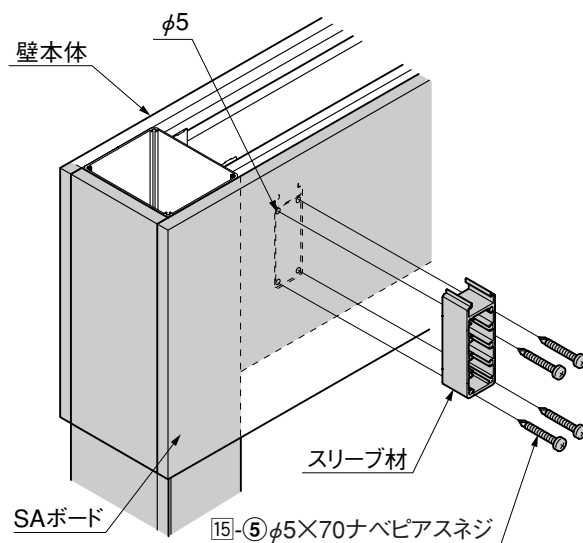
ポイント

- φ5の孔はSAボードのみにあけてください。
- 梁を取付けるための梁固定金具とスリーブ材は、躯体・壁本体に対し垂直になるように取付けてください。(図12-11参照)

12. つづき

12-4 つづき

(1) つづき



⑥ スリーブ材を壁本体に15-⑤で取付けてください。

⚠ 注意

- 15-⑤取付けの際に壁本体のアルミ部分に確実に固定してください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

🔑 ポイント

- ネジが干渉して確実な固定ができない場所は取付位置をずらして4本以上必ず固定してください。

(2) 梁への配管工事 ※梁を通して躯体から配線を周して桁にダウンライトを取付ける場合の作業です。

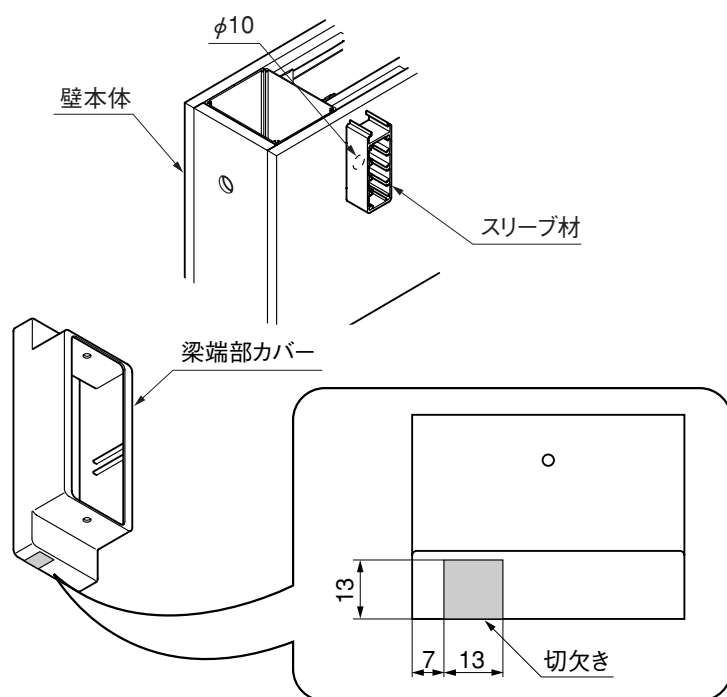
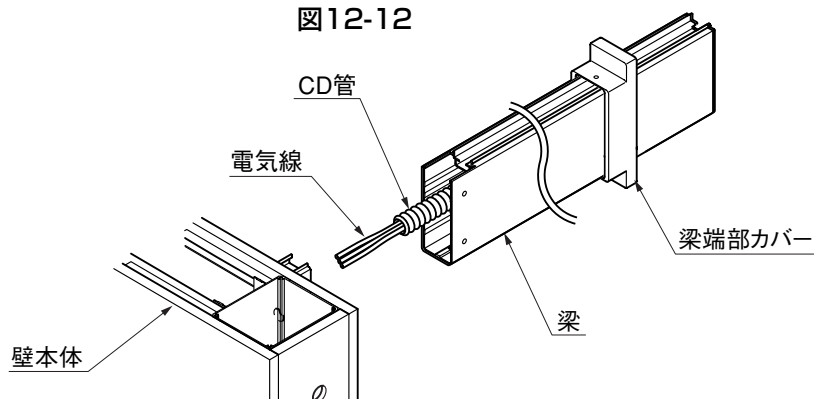


図12-12



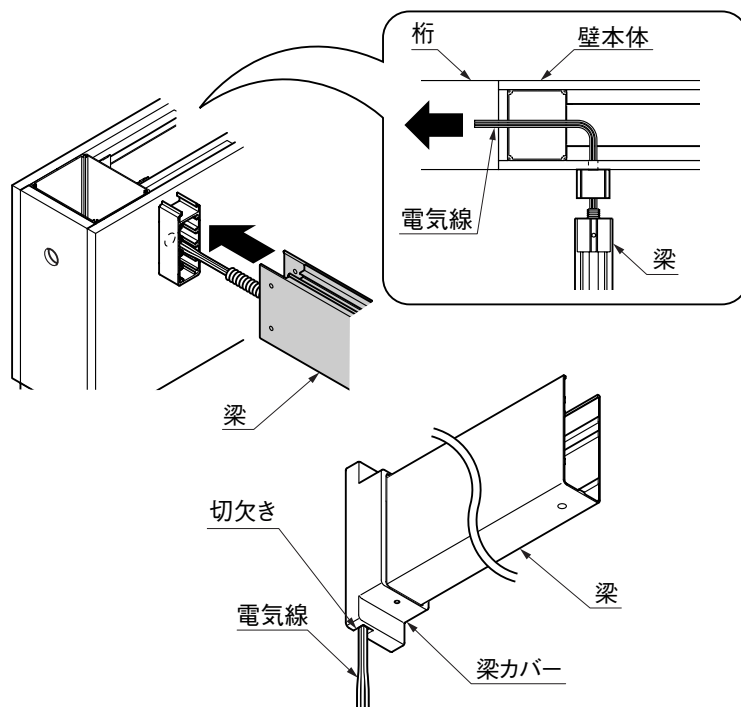
⚠ 注意

- テラス梁受仕様で施工する場合、梁用屋根部品を取付ける梁には、配管しないでください。

① スリーブ材取付け後、内側にφ10の孔をあけてください。

② 図12-12を参照して梁端部カバーに切欠きを入れてください。

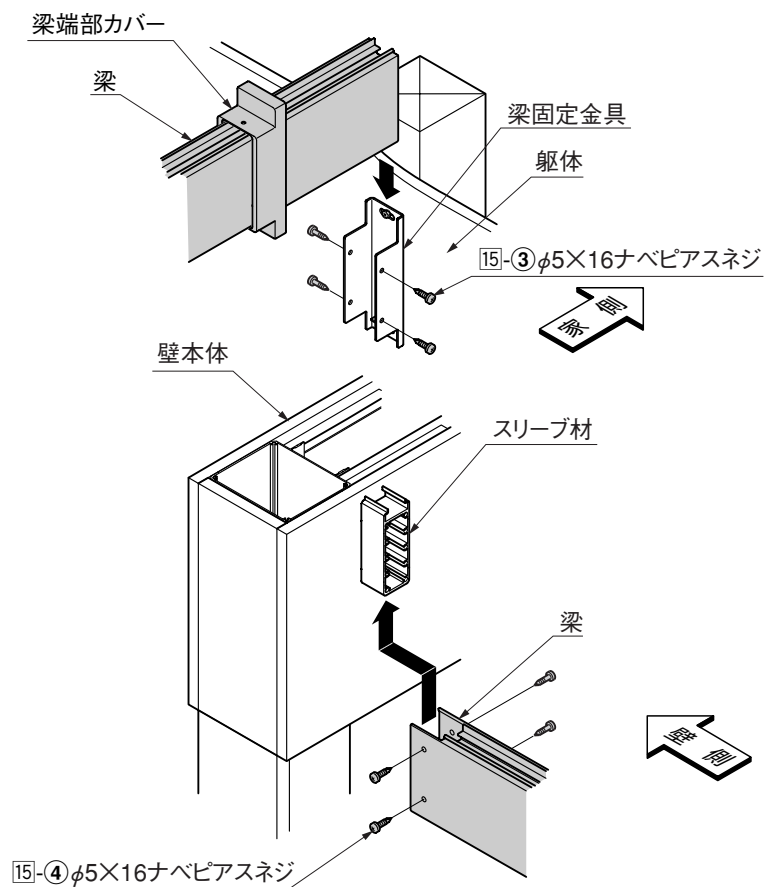
③ 梁に照明用配線配管をしてください。



④ 壁本体にあけた孔に配線を通して梁を取付けてください。

⑤ 躯体側の電気線は梁端部カバーに加工した切欠きから出してください。

(3) 梁の取付け



① 梁の家側を梁固定金具に引っ掛け、壁側をスリーブ材にはめ込み、梁を15-③、15-④で取付けてください。

12. つづき

12-4 つづき

(3) つづき

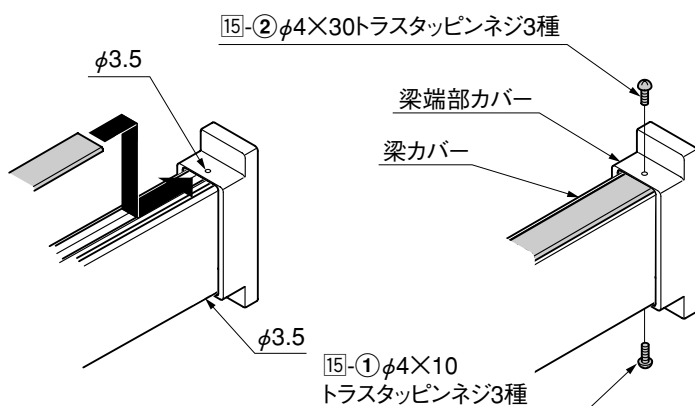
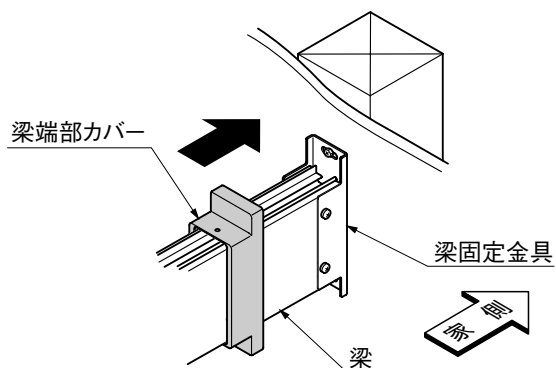


図12-13

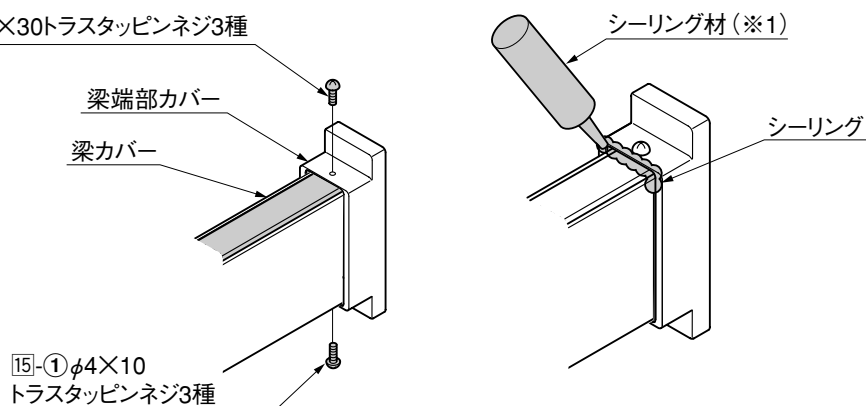


図12-14

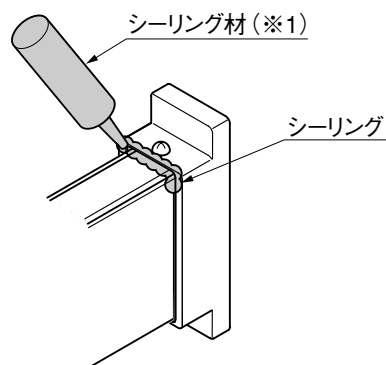


図12-15

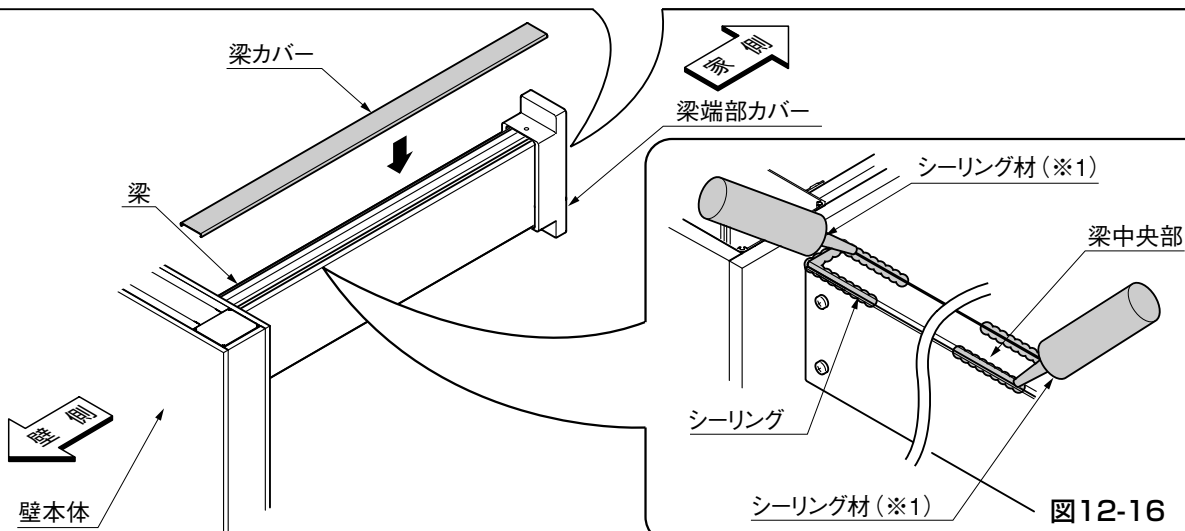


図12-16

- ② 梁端部カバーを梁固定金具にかぶせてください。
- ③ 梁端部カバーに梁端部カバー固定用のφ3.5の孔をあけてください。(図12-13参照)
- ④ 梁カバーを梁へはめ込み、梁端部カバーに15-②、15-①で固定してください。(図12-14参照)
- ⑤ 梁端部カバーと梁カバーにシーリングしてください。(図12-15、図12-16参照)

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※1)
- 梁カバーは、後のオプション取付け等を考慮して緩めのかん合となっていますので梁中央部でシーリングを行い梁カバーを固定してください。(図12-16参照)

12-5 H250桁の梁固定金具異形敷地用取付け位置の確認

※家側に梁固定金具異形敷地用を取付ける前に確認してください。

※()内は04-17、08-17、04-23、04-26の場合の寸法です。

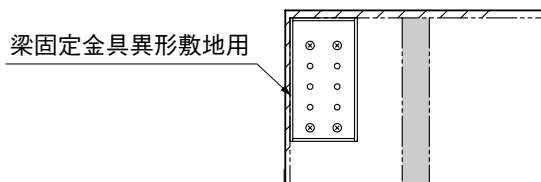
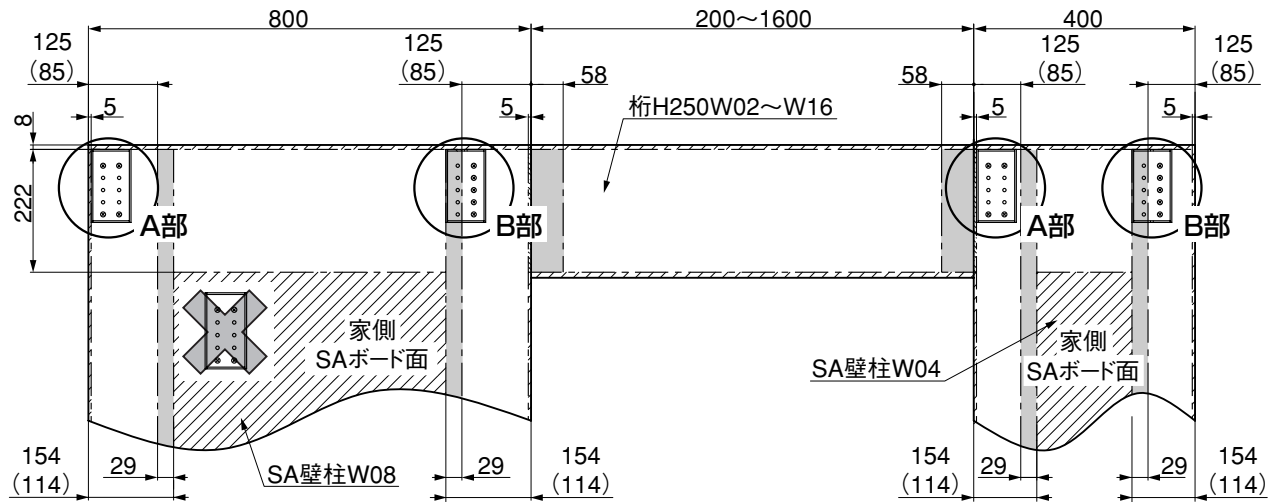


図12-17 A部詳細図

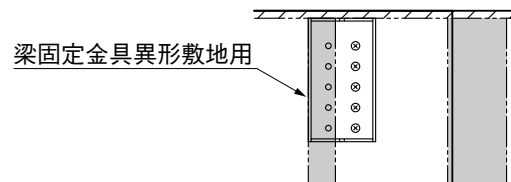


図12-18 B部詳細図

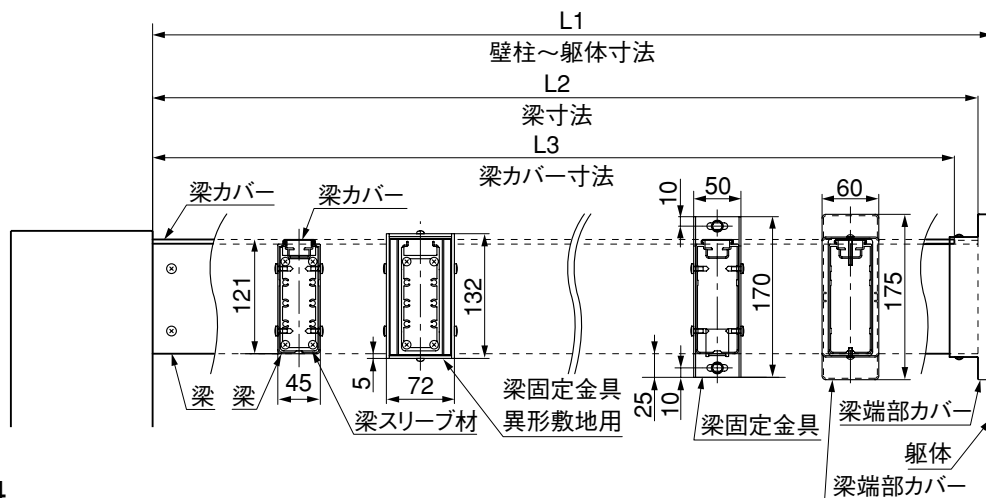


表12-4

	L1	L2	L3		L1	L2	L3
3尺	985	970	945	9尺	2795	2770	2745
6尺	1885	1870	1845	12尺	3685	3670	3645

ポイント

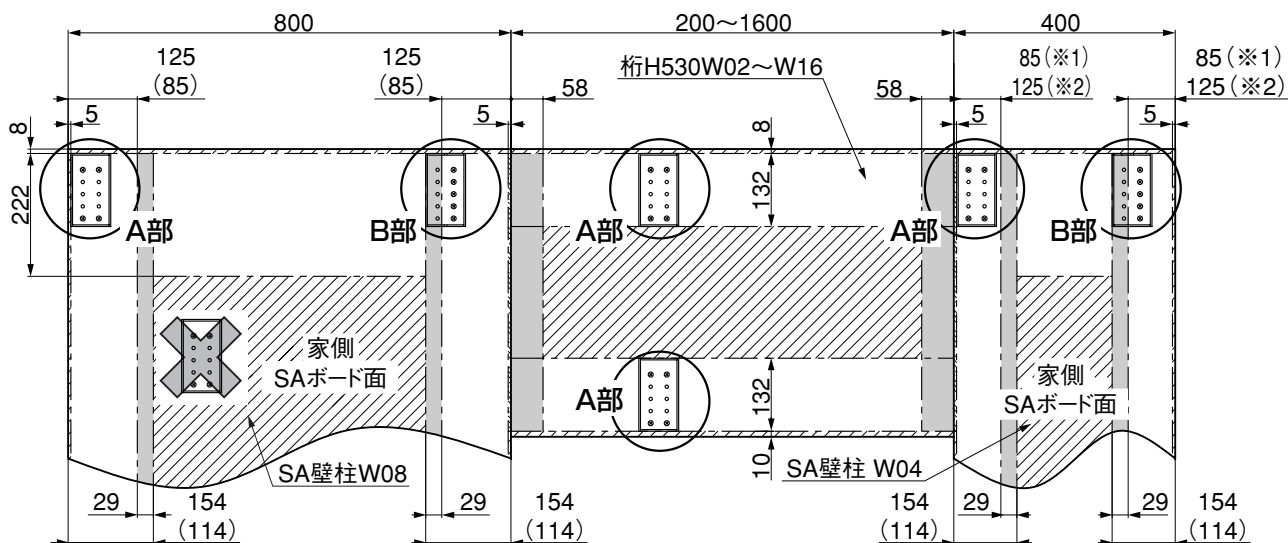
- 内はスリーブ材の取付けはできません。
- 内はA部詳細図のようにネジ4本で固定してください。
- 内はネジが干渉する場合がありますので、B部詳細図のように片側にネジ5本で固定してください。

12. つづき

12-6 H530桁の梁固定金具異形敷地用取付け位置の確認

※家側に梁固定金具異形敷地用を取付ける前に確認してください。

※ () 内は04-17、08-17、04-23、04-26の場合の寸法です。



梁固定金具異形敷地用

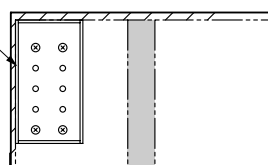


図12-19 A部詳細図

梁固定金具異形敷地用

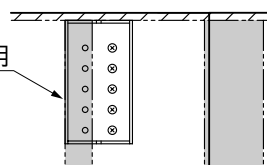


図12-20 B部詳細図

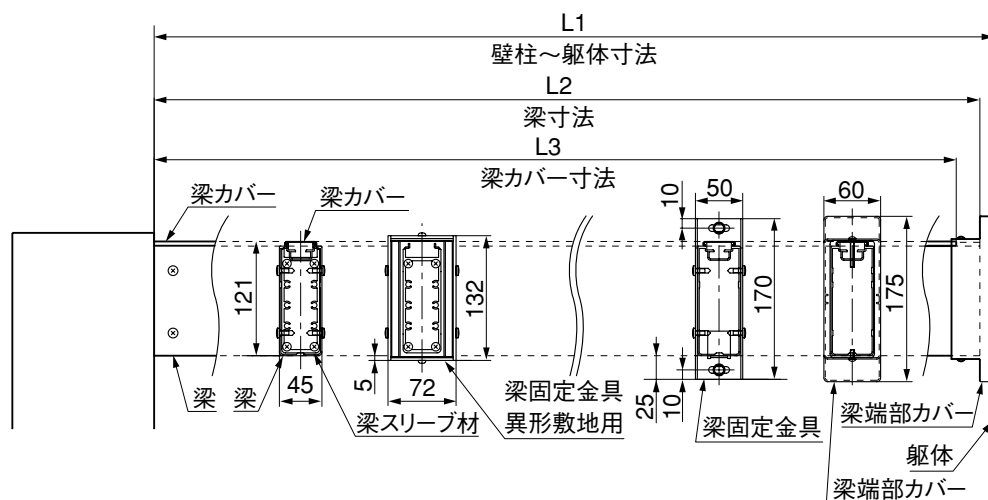


表12-5

	L1	L2	L3		L1	L2	L3
3R	985	970	945	9R	2795	2770	2745
6R	1885	1870	1845	12R	3685	3670	3645

ポイント

-  内はスリーブ材の取付けはできません。
-  内はA部詳細図のようにネジ4本で固定してください。
-  内はネジが干渉する場合がありますので、B部詳細図のように片側にネジ5本で固定してください。

12-7 アーチ桁の梁固定金具異形敷地用取付け位置の確認

※家側に梁固定金具異形敷地用を取付ける前に確認してください。

※()内は04-17、08-17、04-23、04-26の場合の寸法です。

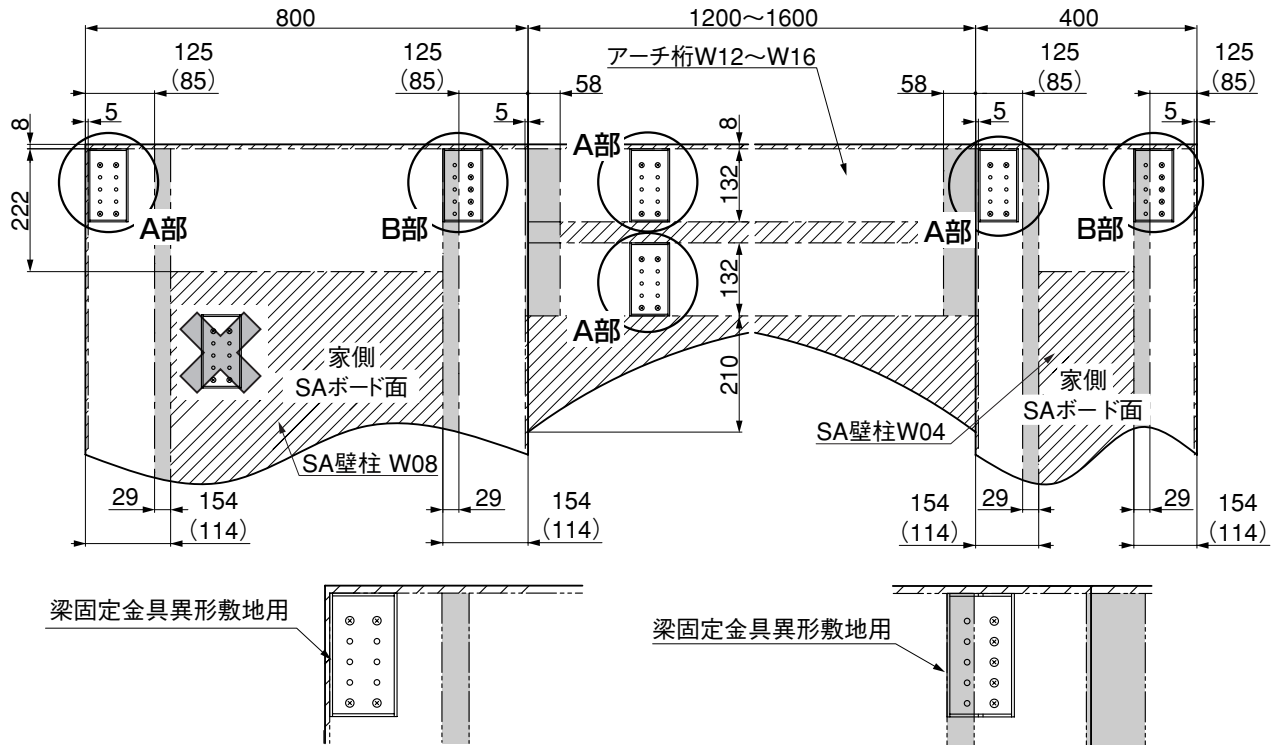


図12-21 A部詳細図

図12-22 B部詳細図

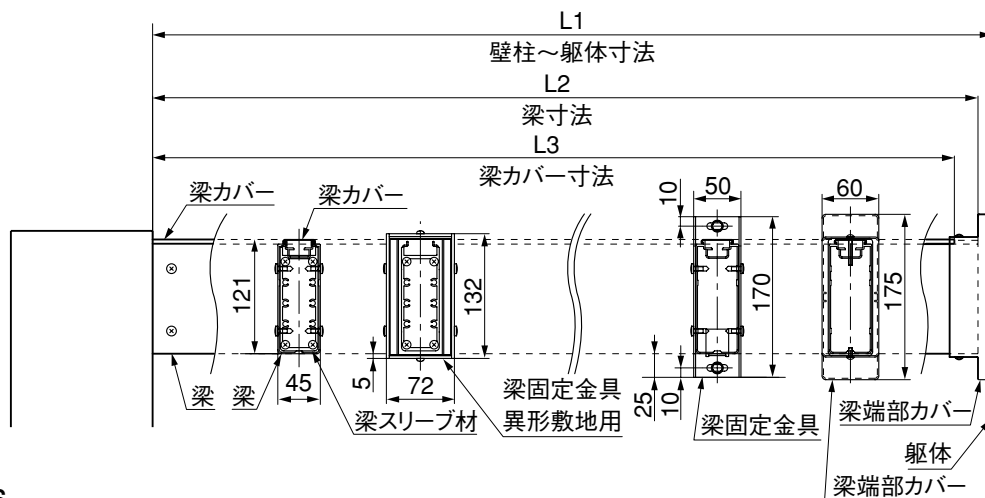


表12-6

	L1	L2	L3		L1	L2	L3
3R	985	970	945	9R	2795	2770	2745
6R	1885	1870	1845	12R	3685	3670	3645

ポイント

- 斜線内はスリーブ材の取付けはできません。
- 点線内はA部詳細図のようにネジ4本で固定してください。
- 点線内はネジが干渉する場合がありますので、B部詳細図のように片側にネジ5本で固定してください。

12. つづき

12-8 異形敷地用仕様の場合の取付け

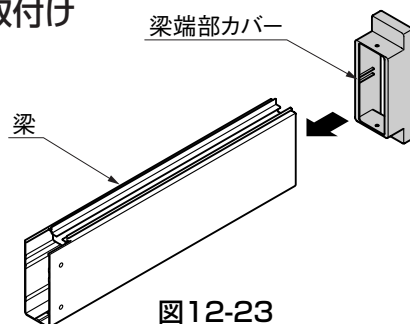


図12-23

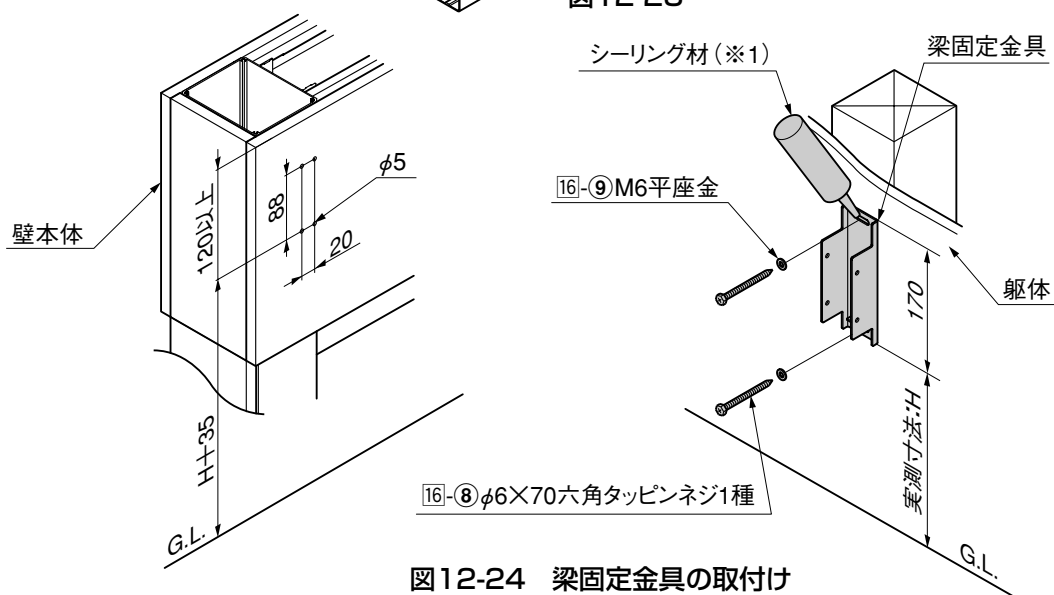


図12-24 梁固定金具の取付け

ポイント

- 屋根を取付ける場合は、柱固定金具裏板を梁に取付けてください。
- 屋根の取付けは、「スカイエール採用屋根部品取付説明書(E159)」を参照して、行ってください。

- ① 梁端部カバーを梁に通してください。(図12-23参照)
- ② 「1 基本寸法と各部名称 1. 基本寸法と各部名称」を参照して、梁固定金具を躯体に16-⑧、16-⑨で取付けてください。(図12-24参照)
- ③ 躯体にシーリングしてください。

注意

- 梁固定金具は、必ず躯体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

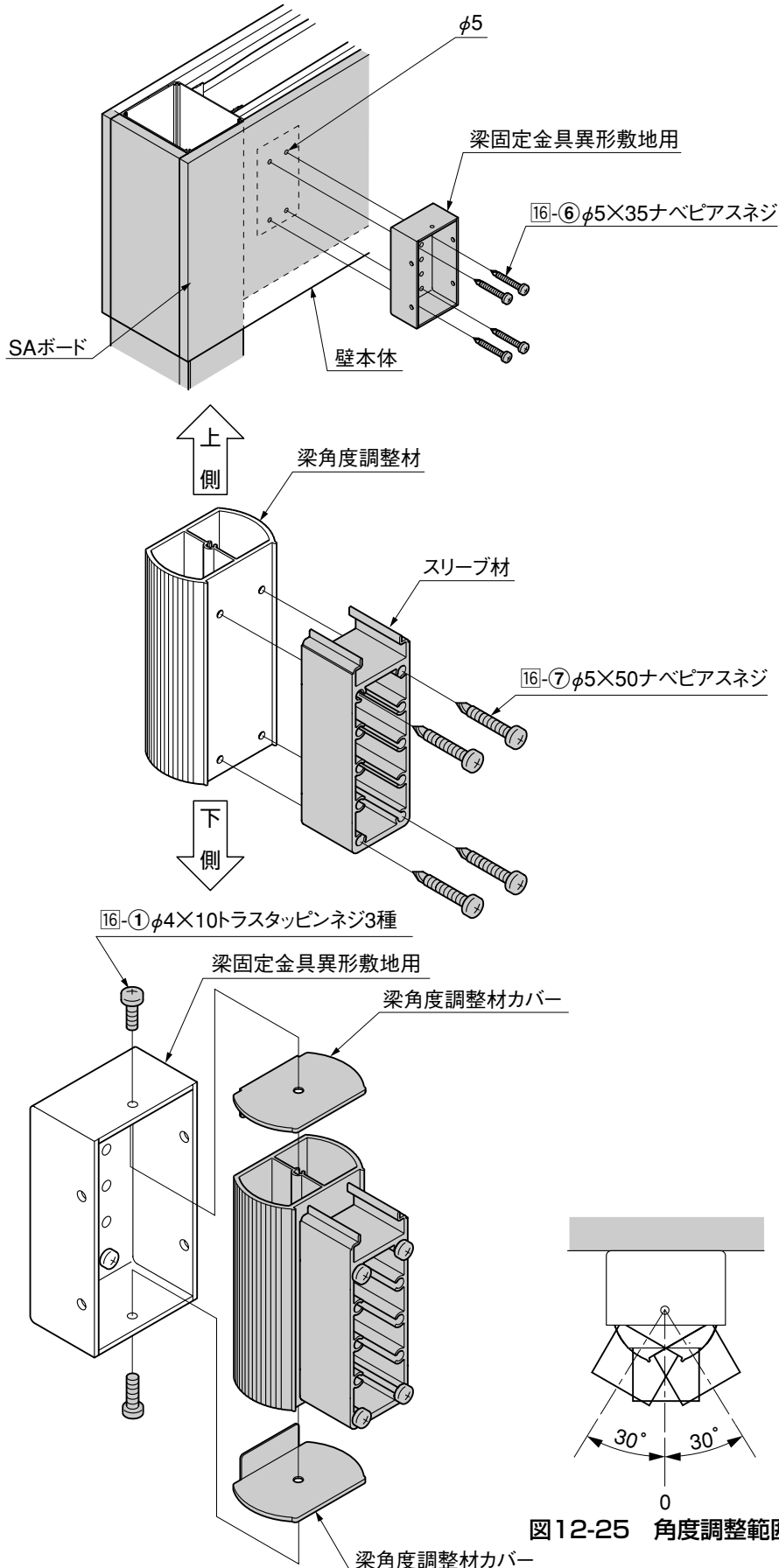
ポイント

- 躯体に必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※1)
- 実測寸法Hは梁下面より25を引いた寸法です。
- 実測寸法H+172.5=H3です。

- ④ 躯体側のG.L.から梁固定金具の下端までを実測してください。(図12-24参照)
- ⑤ 図12-24を参照して、SAボードに梁固定金具異形敷地用取付け位置を出して、φ5の孔をあけてください。

ポイント

- φ5の孔はSAボードのみに、あけてください。



⑥ 梁固定金具異形敷地用を壁本体に16-⑥で取付けてください。

⚠ 注意

- 16-⑥ 取付けの際に、壁本体のアルミ部分に確実に固定してください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

🔑 ポイント

- ネジが干渉して確実な固定ができない場所は取付位置をずらして4本以上必ず固定してください。

⑦ スリーブ材を梁角度調整材に16-⑦で取付けてください。

✎ 補足

- 梁角度調整材には上下があります。

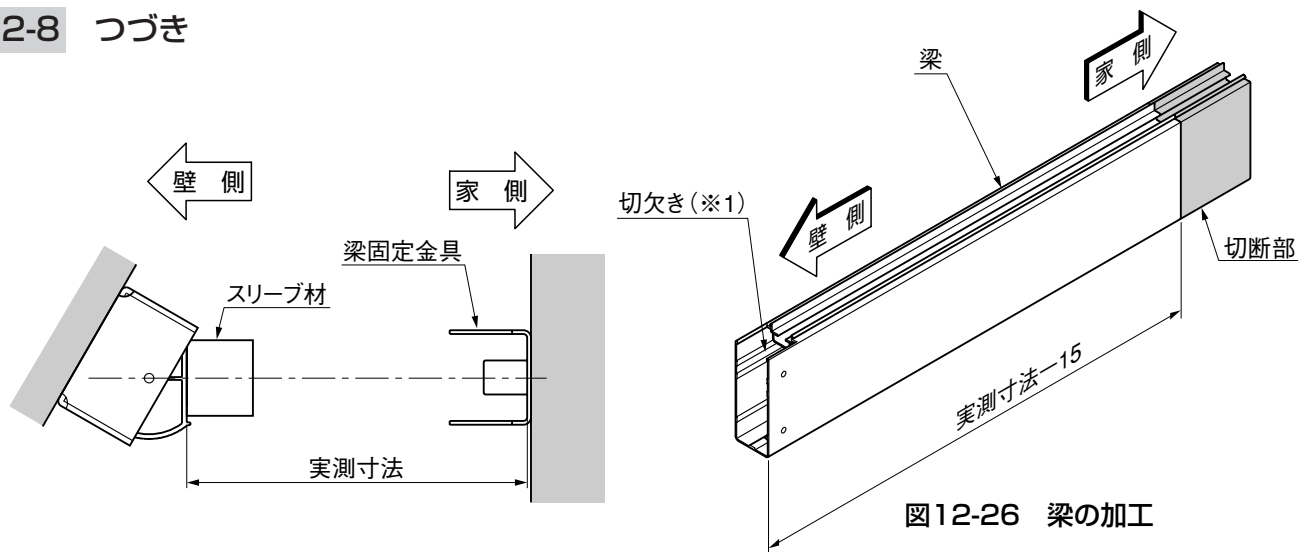
⑧ 梁角度調整材カバーを仮組して、梁固定金具異形敷地用に16-①で取付けてください。

🔑 ポイント

- 梁角度調整材は最大片側で30°の角度にすることができます。(図12-25参照)
- 梁角度調整材の縦溝は、1目盛り当たり5°です。

12. つづき

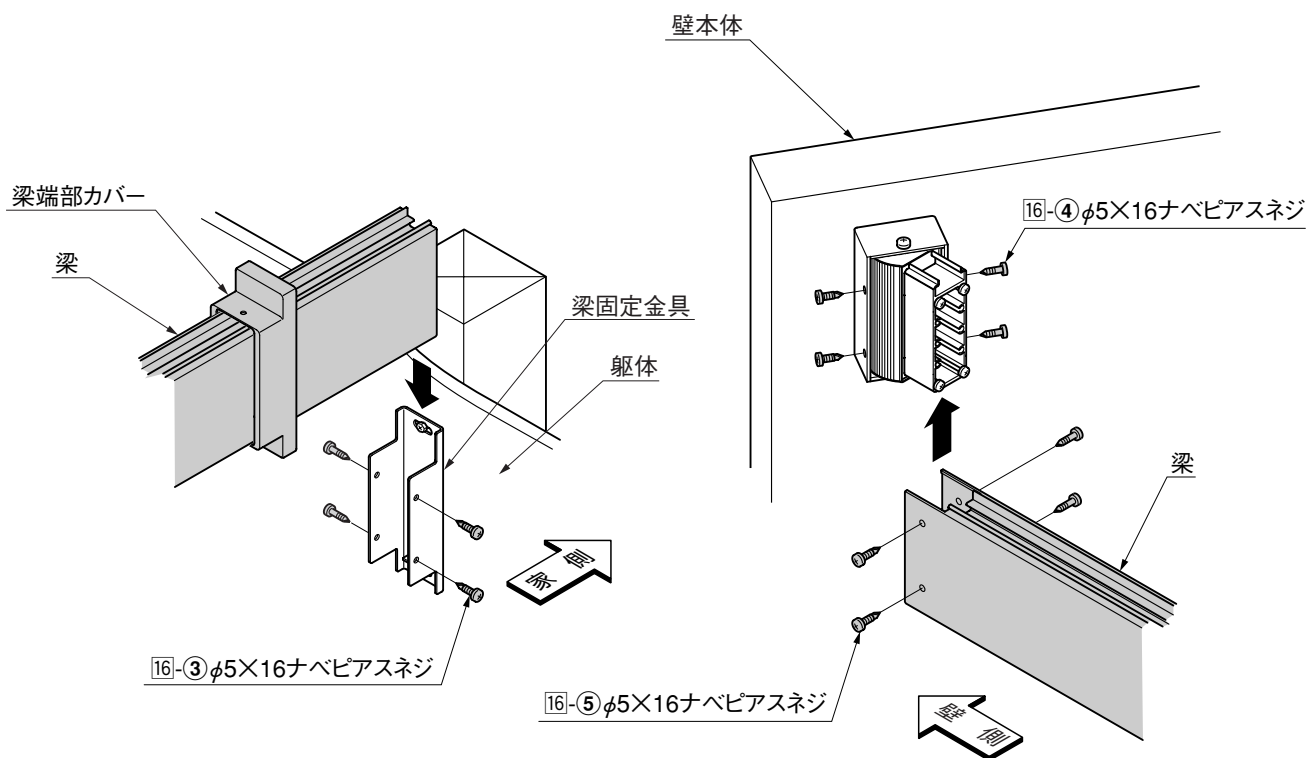
12-8 つづき



- ⑨梁固定金具からスリーブ材までを実測して、梁を実測寸法から -15mm で切断してください。

ポイント

- 梁は切欠き（※1）の無い家側から切断してください。（図12-26参照）
- 切断は、梁1本づつ実測して行ってください。



- ⑩梁の家側を梁固定金具に引っ掛けて、壁側を梁角度調整材にはめ込み、梁を16-③、16-④、16-⑤で取付けてください。

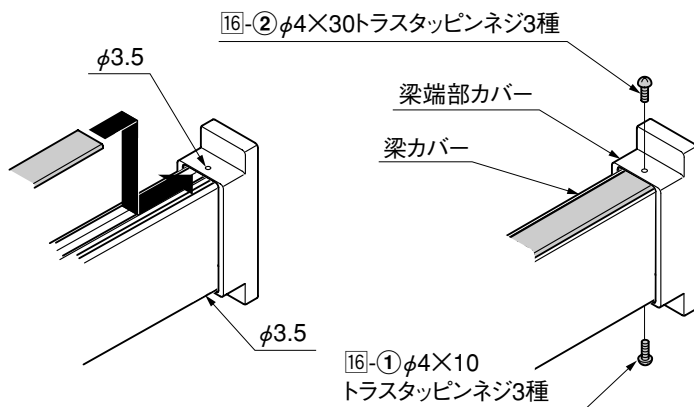
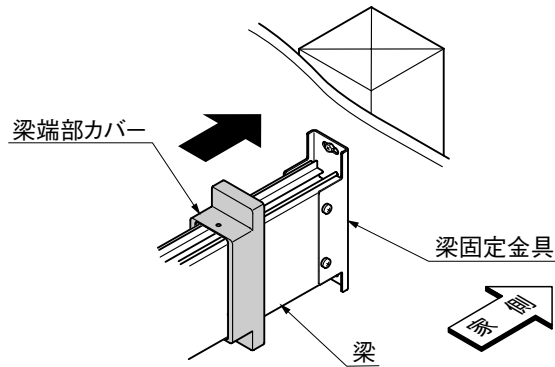


図12-27

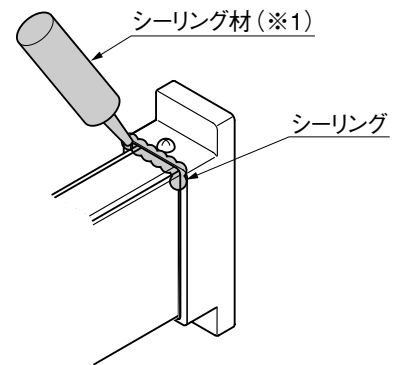


図12-28

図12-29

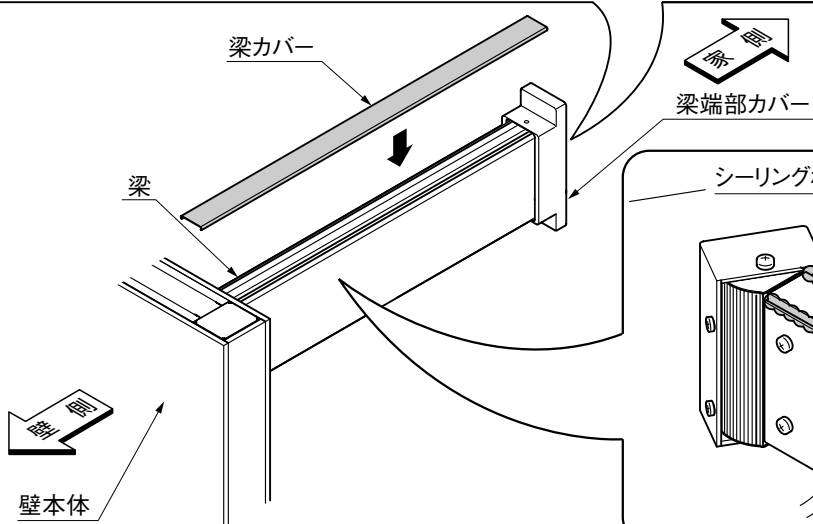


図12-30

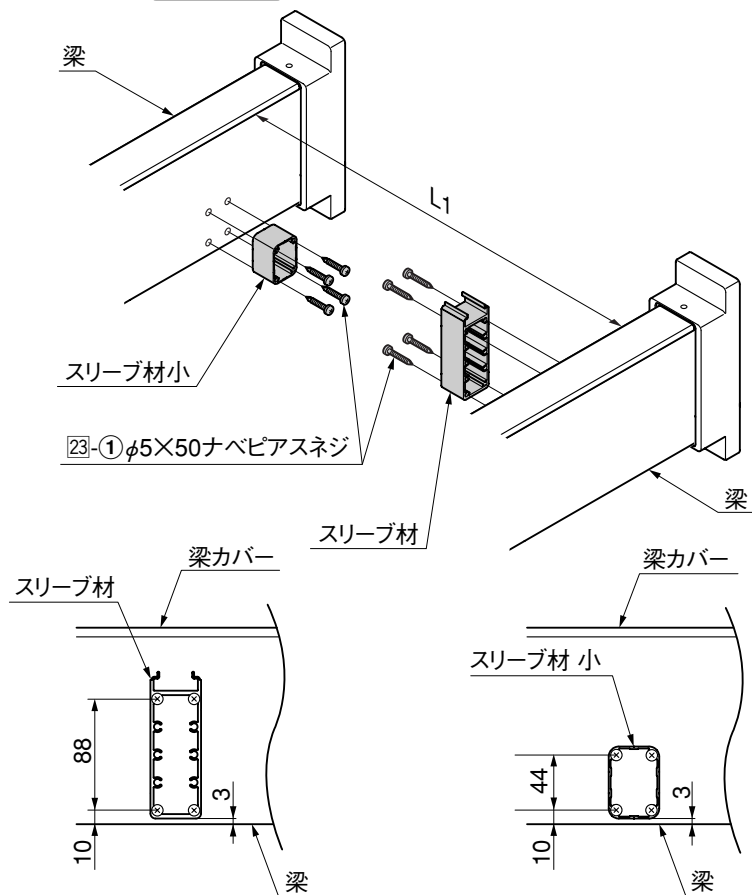
- ⑪ 梁端部カバーを梁固定金具にかぶせてください。
- ⑫ 梁端部カバーに梁端部カバー固定用のφ3.5の孔をあけてください。(図12-27参照)
- ⑬ 梁カバーを梁へはめ込み、梁端部カバーに16-②、16-①で固定してください。(図12-28参照)
- ⑭ 梁端部カバーと梁カバーにシーリングしてください。(図12-29、図12-30参照)

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※1)
- 梁カバーは、後のオプション取付け等を考慮して緩めのかん合となっていますので梁中央部でシーリングを行い梁カバーを固定してください。(図12-30参照)

12. つづき

12-9 梁掛け部品の取付け **オプション**



- ❶ スリーブ材とスリーブ材 小を23-①で梁に取付けてください。

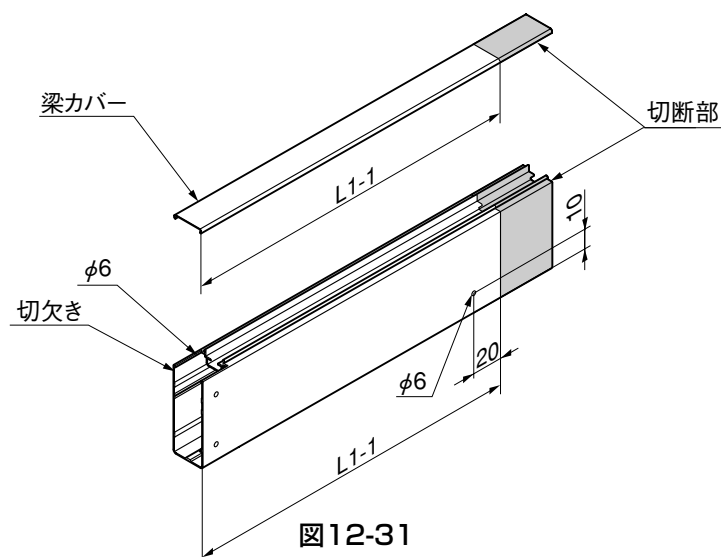


図12-31

- ❷ 梁と梁カバーを梁の内寸法L1－1mmで切断してください。

ポイント

- 梁の切断は切欠きの無い側より行ってください。
- ❸ 切断した梁に図12-31を参照してφ6の孔をあけてください。

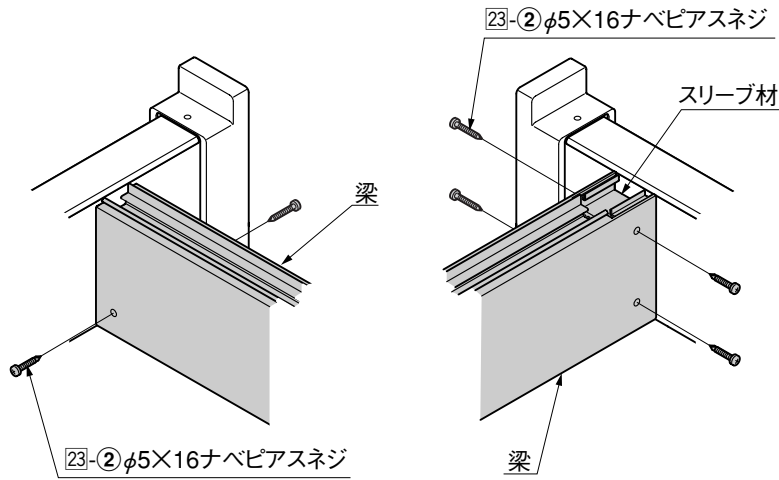


図12-32 スリーブ材 小側

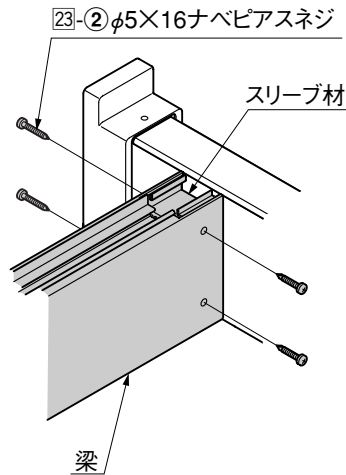
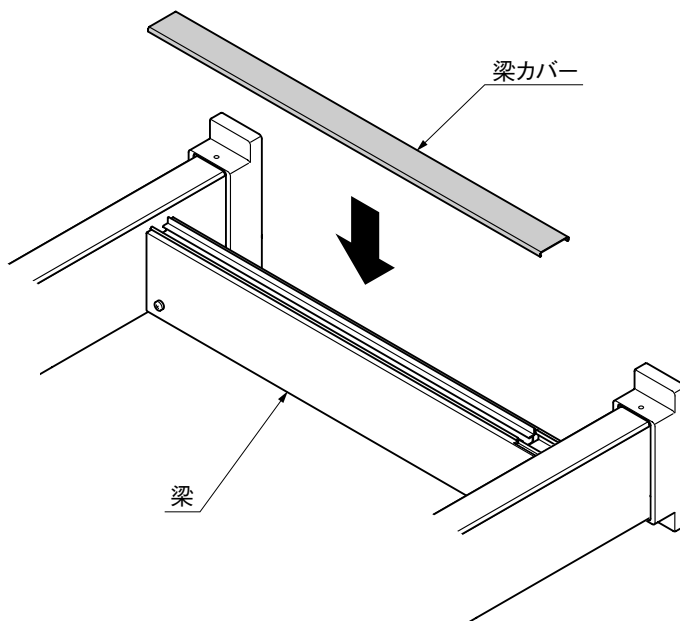


図12-33 スリーブ材側

- ④ 梁をスリーブ材、スリーブ材 小に23-2で取付けてください。



- ⑤ 梁に梁カバーを取付けてください。

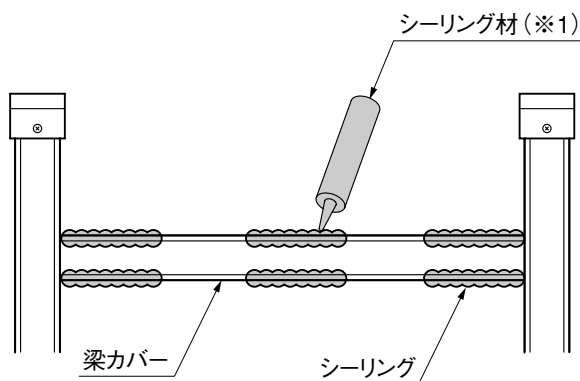


図12-34

- ⑥ 図12-34を参照してシーリングしてください。

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※1)
- 梁カバーは、後のオプション取付け等を考慮して緩めのかん合となっていますので梁中央部でシーリングを行い梁カバーを固定してください。

13. 笠木の取付け

13-1 コーナー笠木の取付け **オプション**

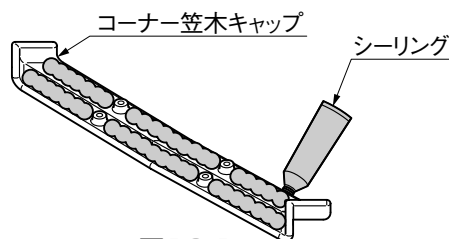


図13-1

- ① コーナー笠木キャップシーリングをしてください。(図13-1参照)

ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

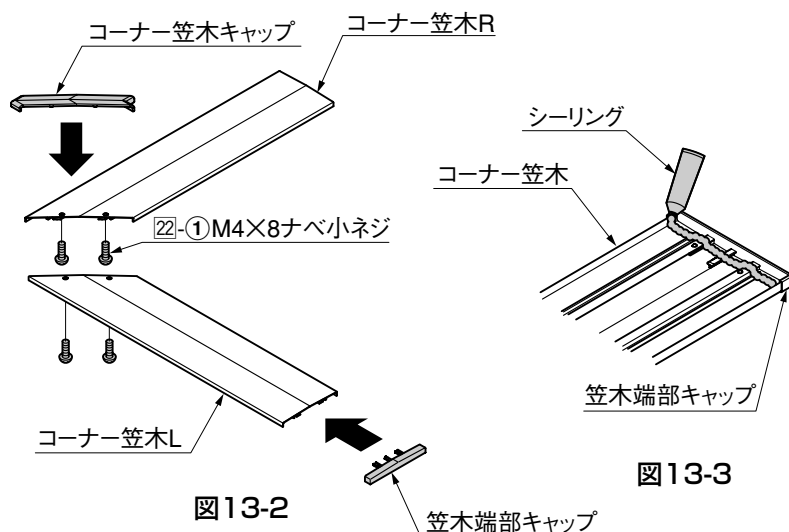


図13-2

図13-3

- ② コーナー笠木キャップをコーナー笠木に22-①で固定してください。(図13-2参照)
- ③ 笠木端部キャップを笠木にはめ込んでください。(図13-2参照)
- ④ 笠木を裏返し、指定の箇所にシーリングをしてください。(図13-3参照)

ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

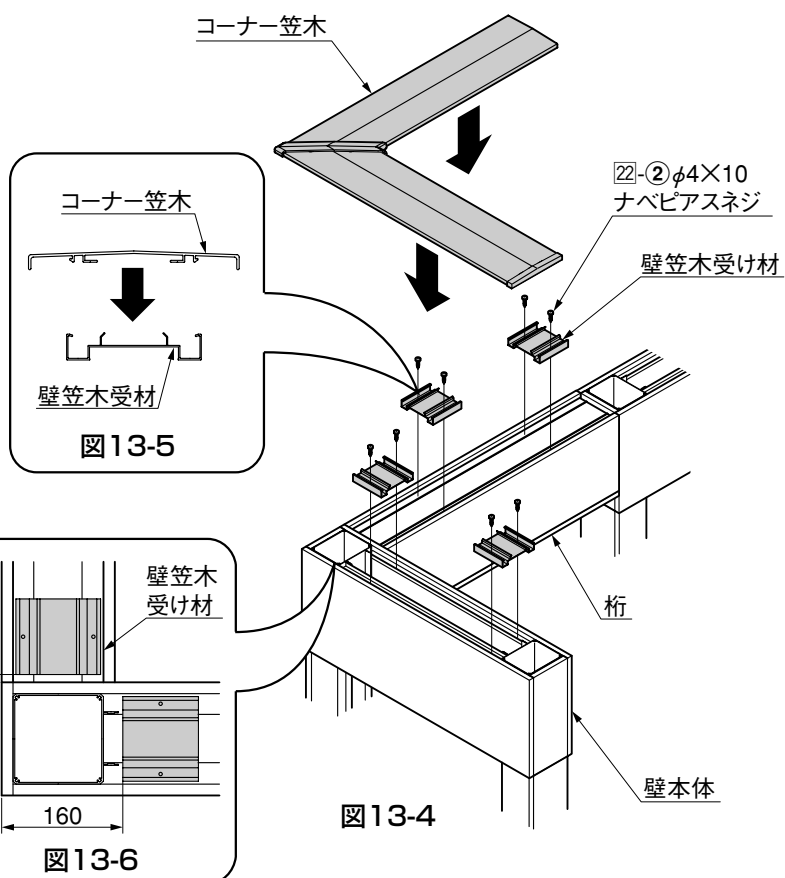


図13-4

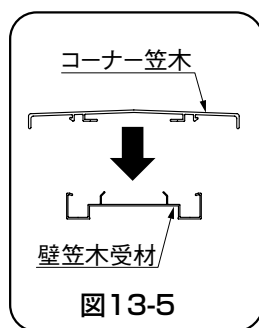


図13-5

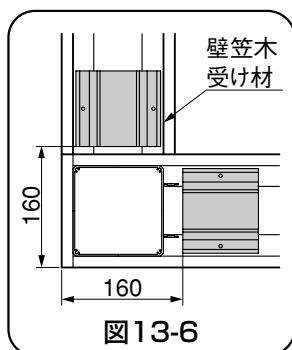


図13-6

- ⑤ 壁笠木受け材を壁本体に22-②で取付けてください。(図13-4参照)

ポイント

- コーナー部に取付ける壁笠木受け材は、SAボード端より160mmの位置で取付けてください。(図13-6参照)

- ⑥ コーナー笠木を壁笠木受け材にはめ込んでください。(図13-5参照)

13-2 単体の場合

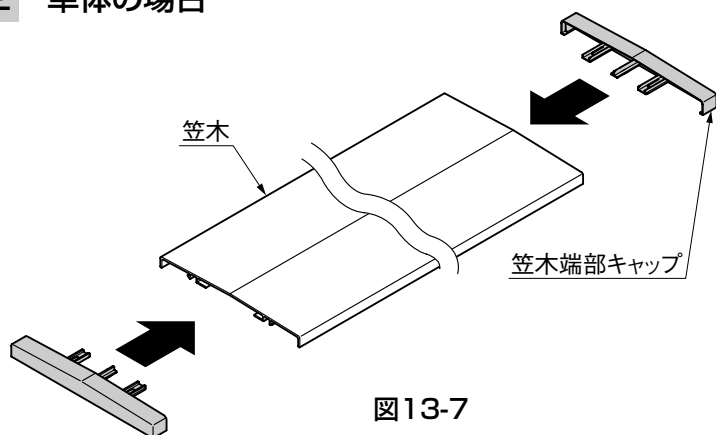


図13-7

- ❶ 笠木端部キャップを笠木にはめ込んでください。（図13-7参照）
- ❷ 笠木を裏返し、指定の箇所にシーリングをしてください。（図13-8参照）

ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

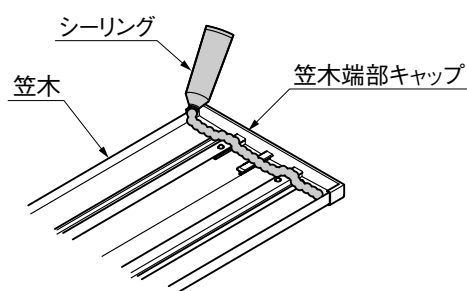


図13-8

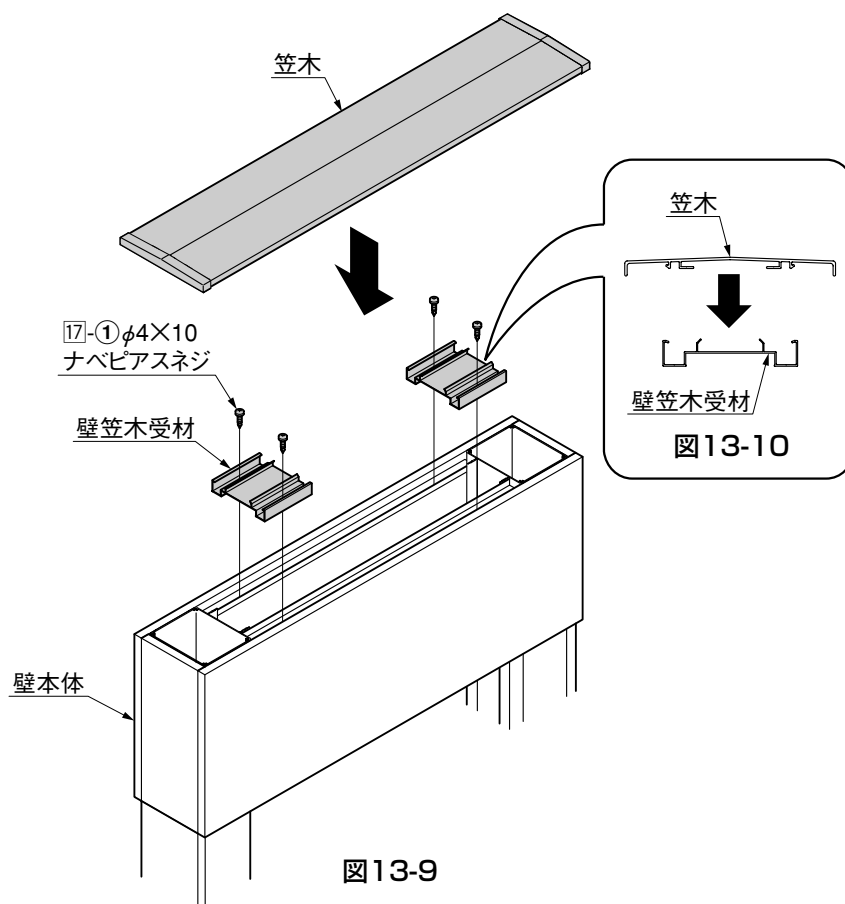


図13-9

- ❸ 壁笠木受け材を壁本体に⑬-①で取付けてください。（図13-9）
- ❹ 笠木を壁笠木受け材にはめ込んでください。（図13-10参照）

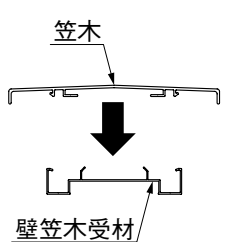


図13-10

13. つづき

13-3 連結の場合

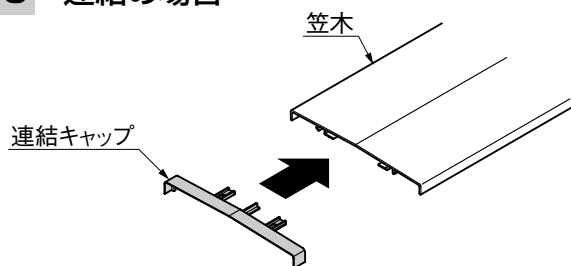


図13-11

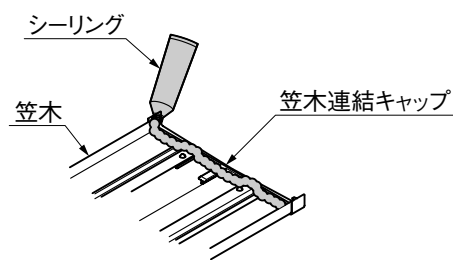


図13-12

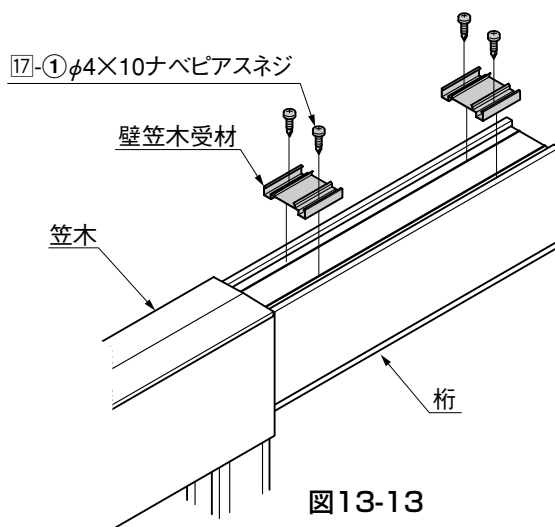


図13-13

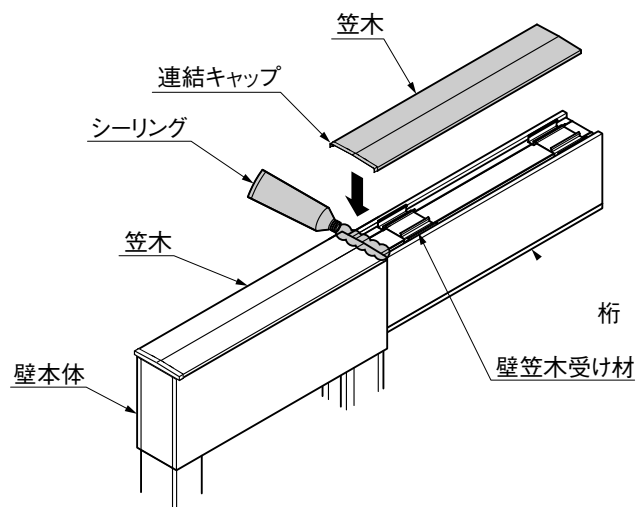


図13-14 単体の場合

- ① 連結キャップを笠木にはめ込んでください。(図13-11参照)
- ② 笠木を裏返し、指定の箇所にシーリングをしてください。(図13-12参照)

ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。(図13-12、図13-14参照)
- ③ 壁笠木受材を桁に17-①で取付けてください。(図13-13参照)
- ④ 連結キャップを取付けた笠木を壁笠木受材にはめ込んでください。(図13-14参照)

14. 基礎部コンクリートの打設

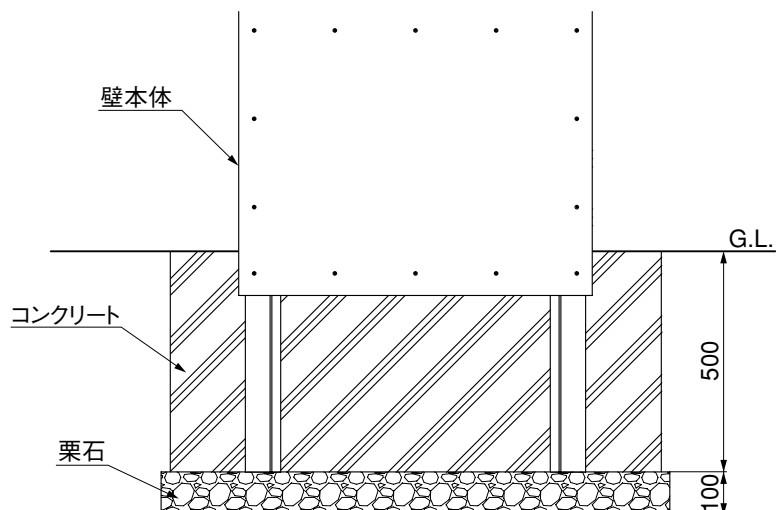


図14-1

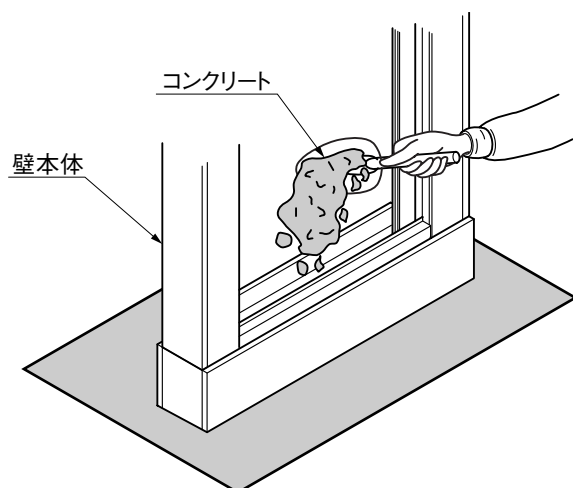


図14-2

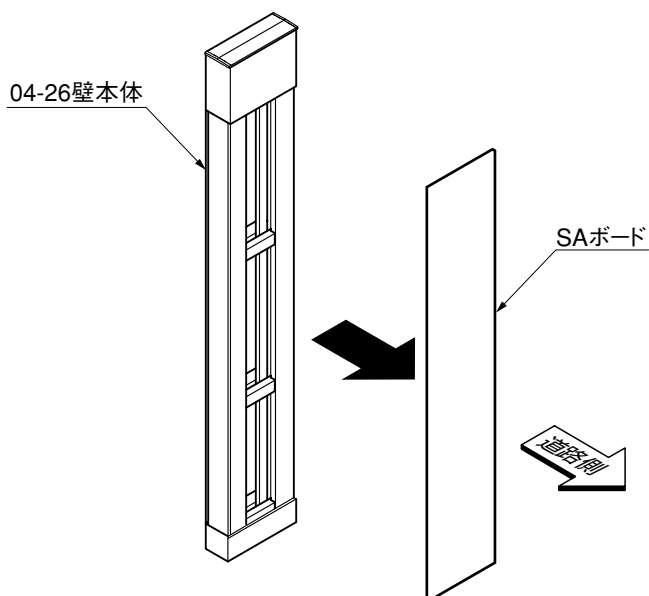


図14-3

- ① 基礎コンクリートを打設してください。（図14-1参照）

補足

- 壁本体高さを加工調整した場合は、壁柱内へ、G.L.の高さまでコンクリートを充てんしてください。（図14-2参照）

ポイント

- 04-26壁本体の場合は道路側のSAボードを一度外し作業を行ってください。（図14-3参照）

15 .窓枠の取付け 販 工事 ※窓枠タイプの場合

15-1 窓横枠の取付け

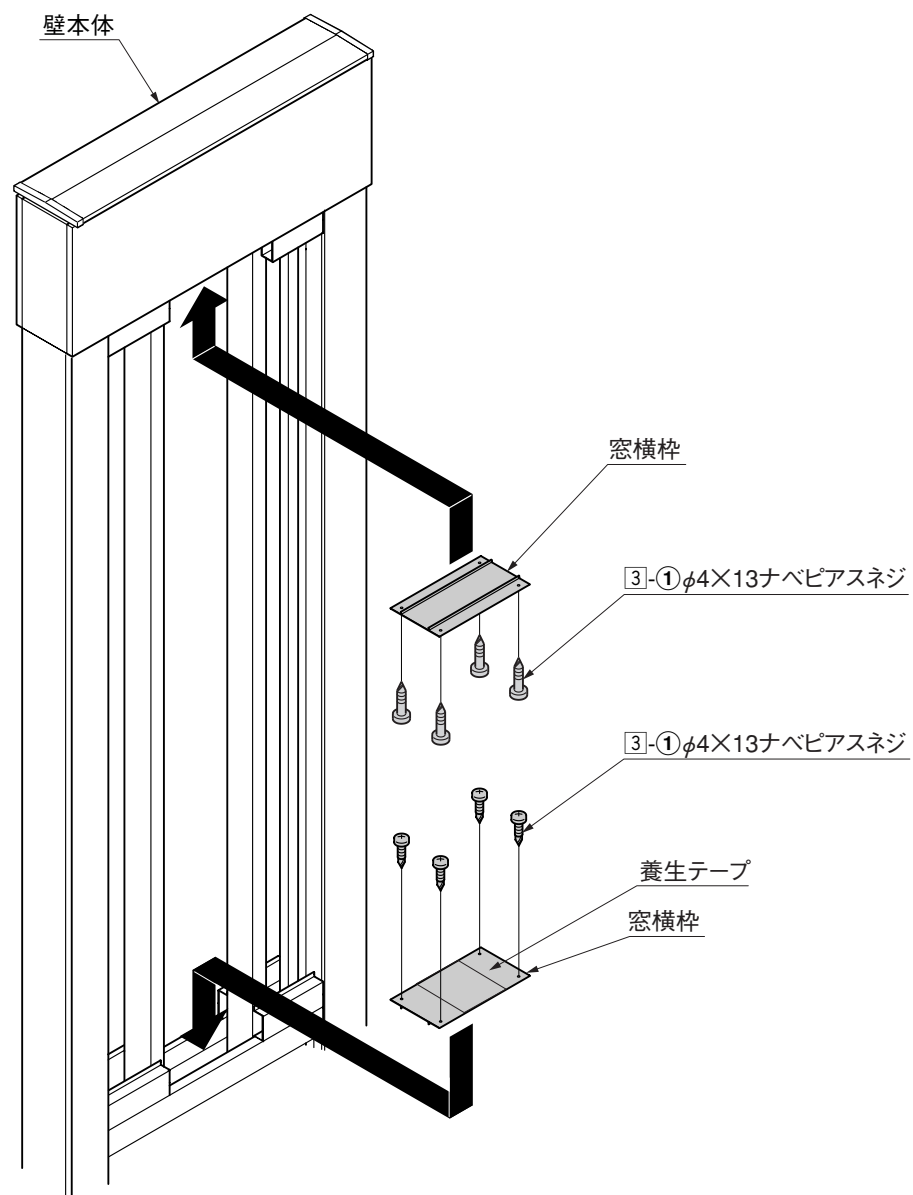


図15-1

ポイント

- 窓横枠の養生テープは、表面仕上げの後まではがさないでください。

- ① 窓横枠を壁本体へ3-①で取付けてください。

15-2 窓縦枠の取付け

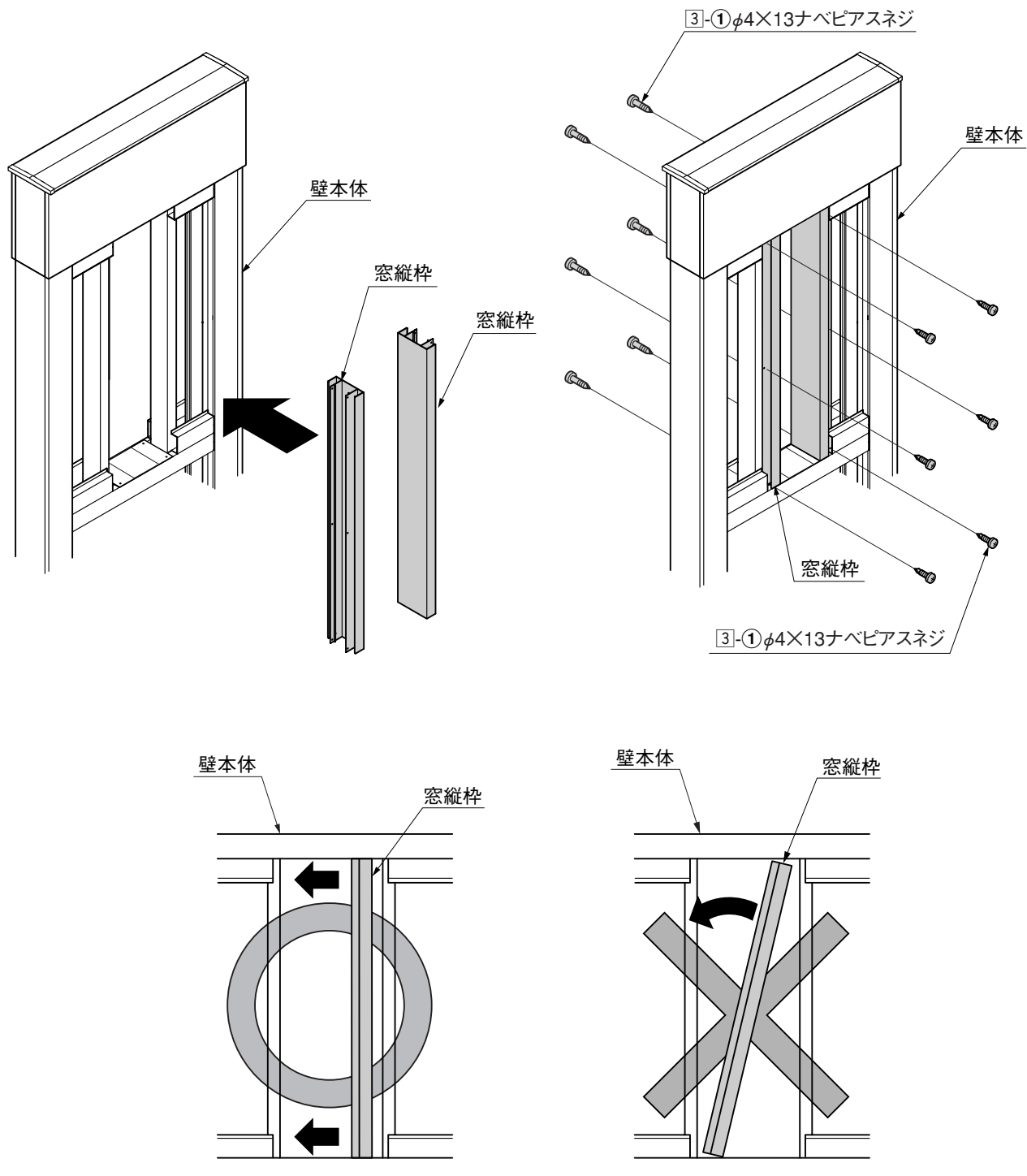


図15-2

①窓縦枠を壁本体へ③-①で取付けてください。

ポイント

- 窓縦枠は、窓縦枠を傷つけないように平行に動かして、入れてください。(図15-2参照)

16. 現場張りボードの取付け 販 工事 ※現場でボードを張る場合の作業です。

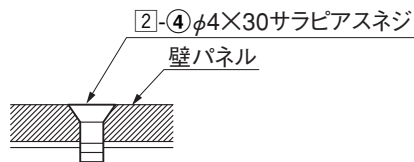


図16-1

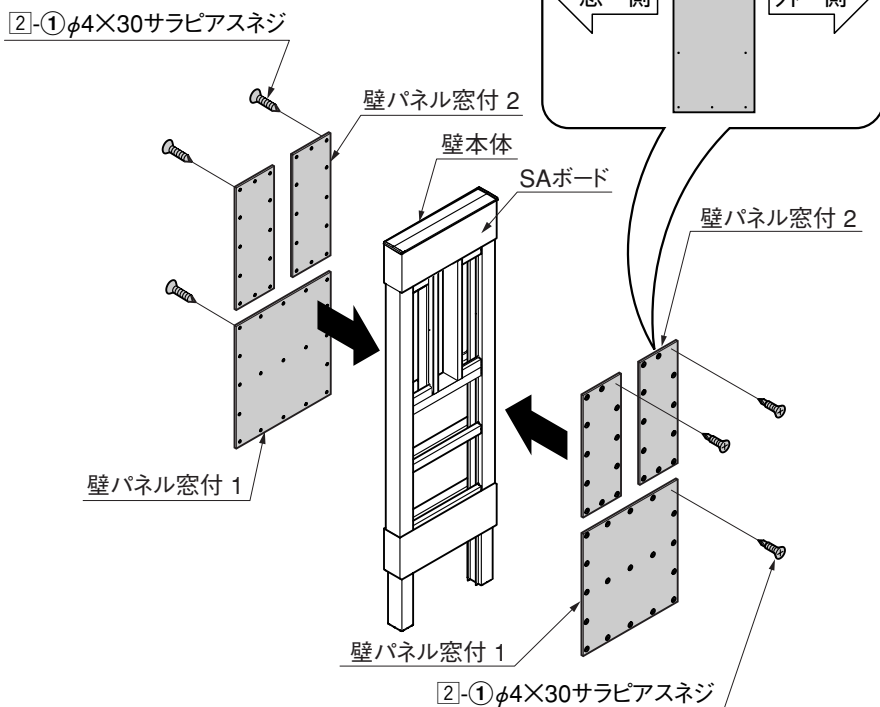


図16-2 08-23、08-26、08-29窓付きの場合

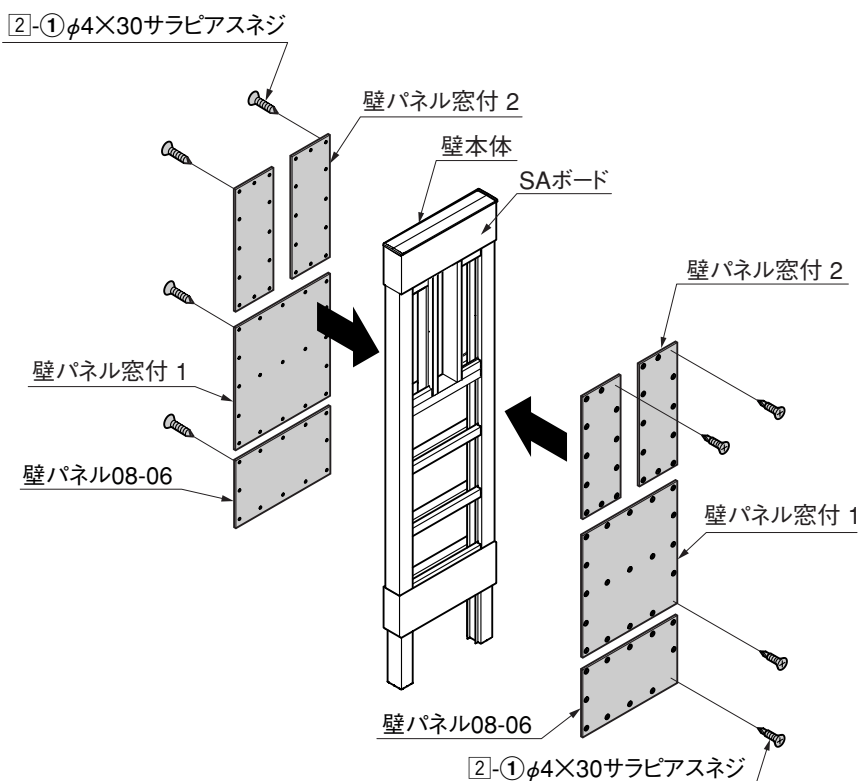


図16-3 08-32窓付きの場合

① 壁パネルを壁本体に[2]-①で取付けてください。

ポイント

- 壁パネルには表裏があります。
- [2]-①は皿頭が壁パネルに埋まるように打込んでください。(図16-1参照)
- 窓の横に取付けられる壁パネルは孔加工が左右で異なっているので、確認して組付けてください。
- SAボード、壁本体がぬれている場合は乾かしてから取付けてください。

補足

- 壁パネルが入りにくい場合は壁パネル端部を削ってください。

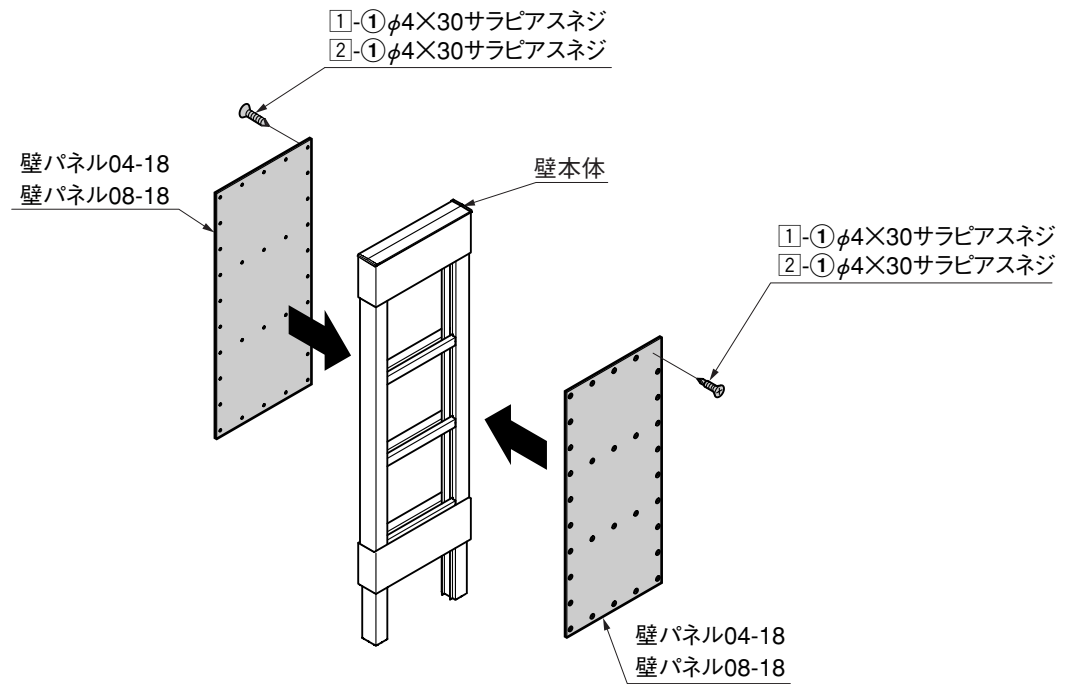


図16-4 04-29、04-32、08-23、08-26、08-29窓無しの場合

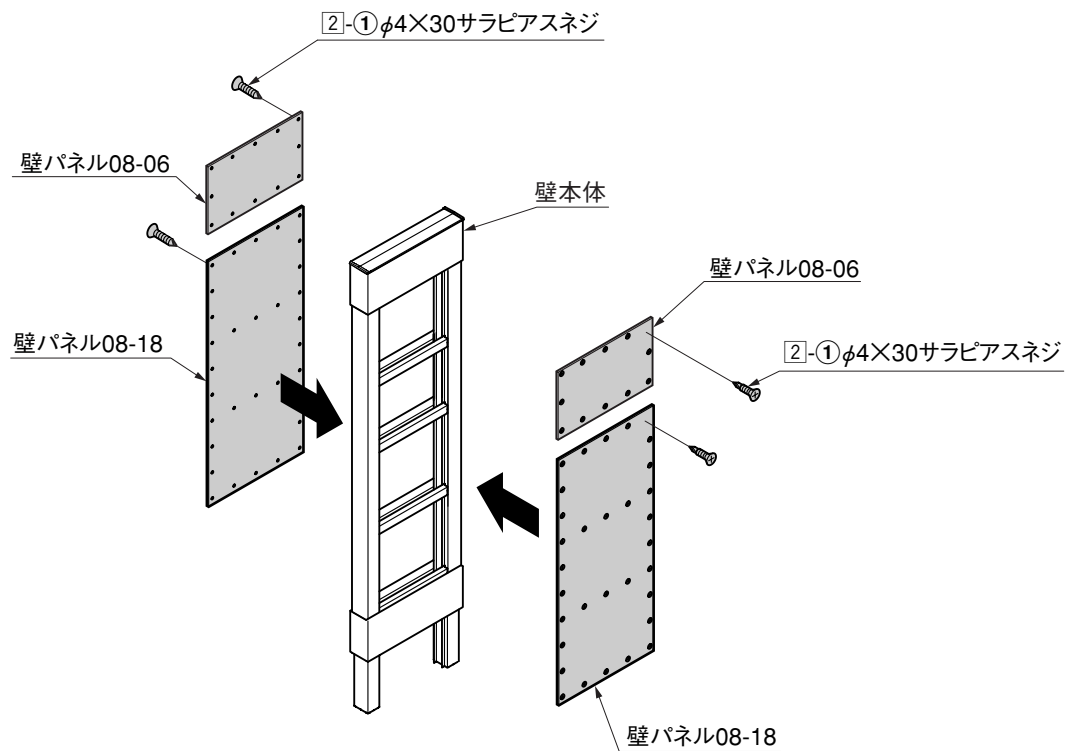


図16-5 08-32窓無しの場合

4 ポストの取付け

1. ポストの取付け 販 工事 ※壁本体にポストを取付ける場合の作業です。

1-1 ポスト取付け位置の確認

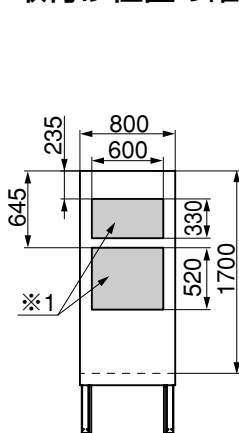


図1-1 08-17

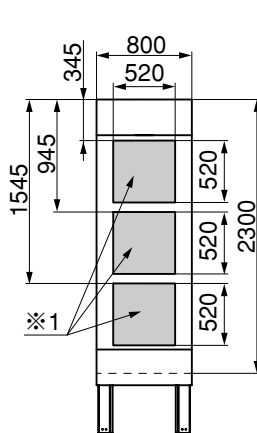


図1-2 08-23

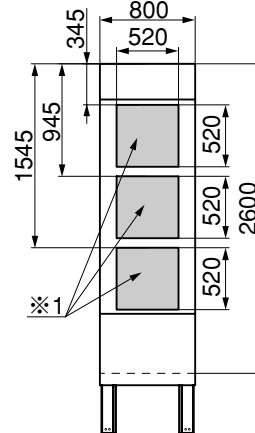


図1-3 08-26

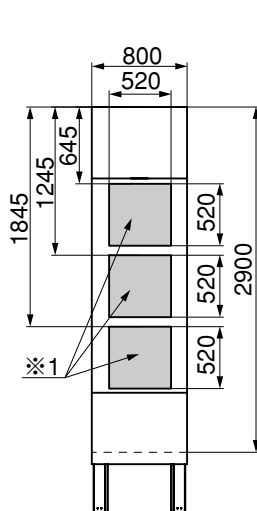


図1-4 08-29

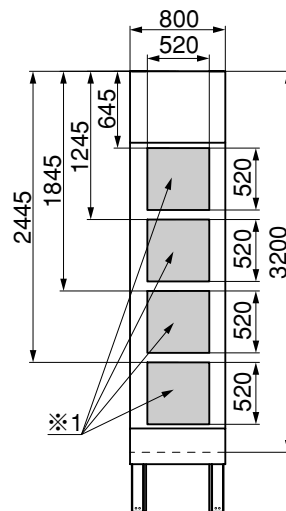


図1-5 08-32

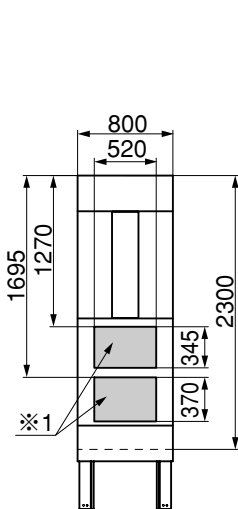


図1-6 窓付08-23

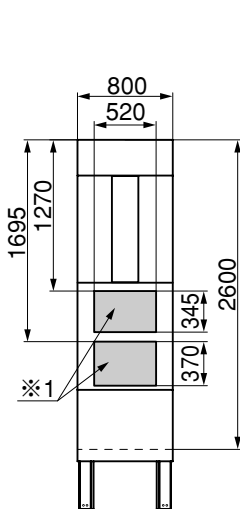


図1-7 窓付08-26

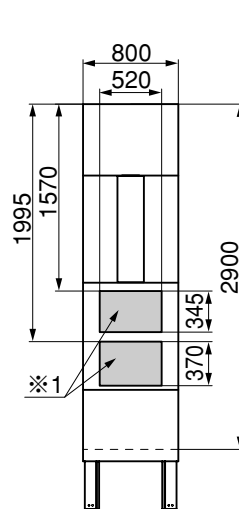


図1-8 窓付08-29

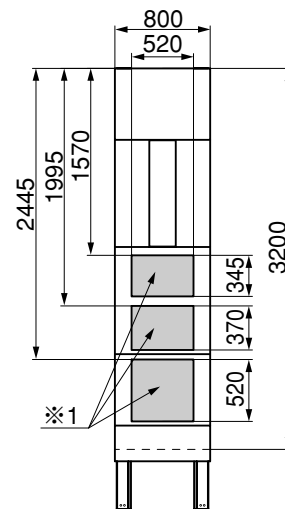


図1-9 窓付08-32

❶ ポスト取付け位置 (※1) を確認してください。

1-2 ポストの取付け

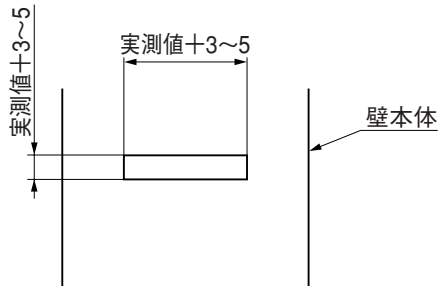


図1-10

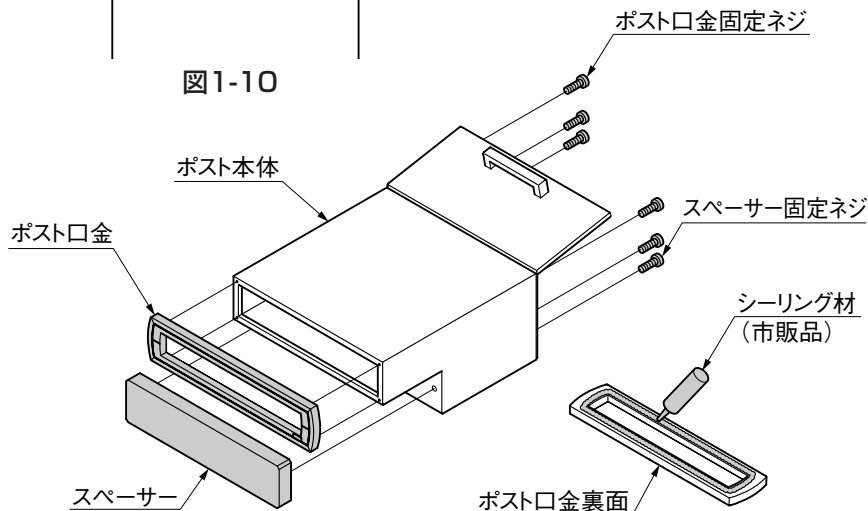


図1-11

図1-12

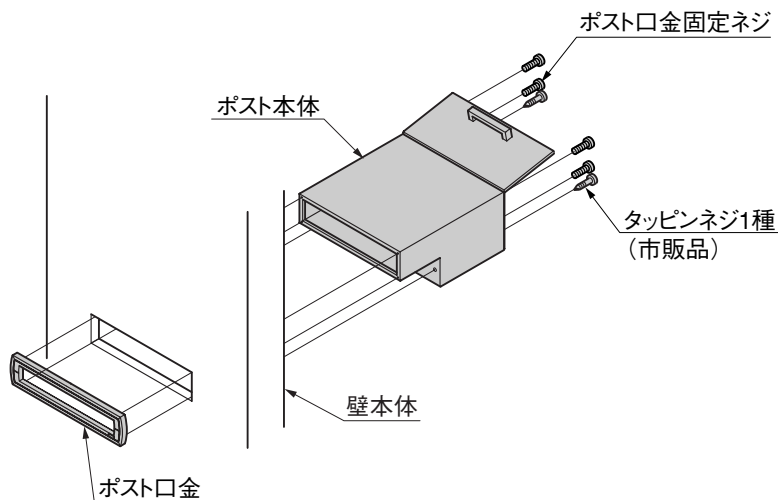


図1-13

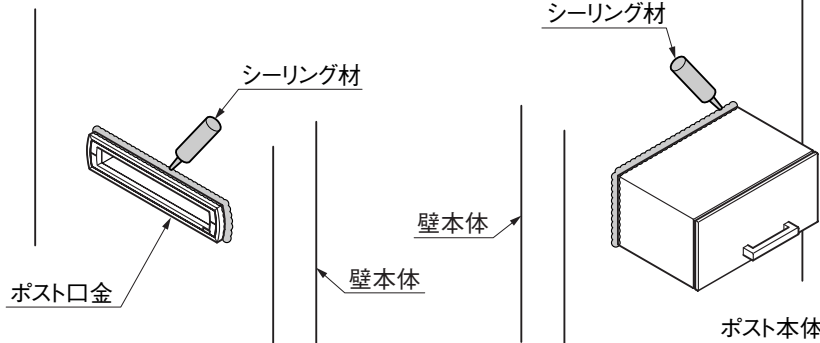


図1-14

- ① ポスト本体に合わせて壁本体へ、ホルソー等で切欠き加工をしてください。（図1-10参照）

補足

- ポスト本体実測値+3~5mmで切欠いてください。

- ② ポストからポスト口金、スペーサーを固定しているネジを取外してください。（図1-11参照）

補足

- 中敷板をずらすか、取外すと作業がしやすくなります。

- ③ ポスト口金裏面へシーリング（市販品）を行なってください。（図1-12参照）

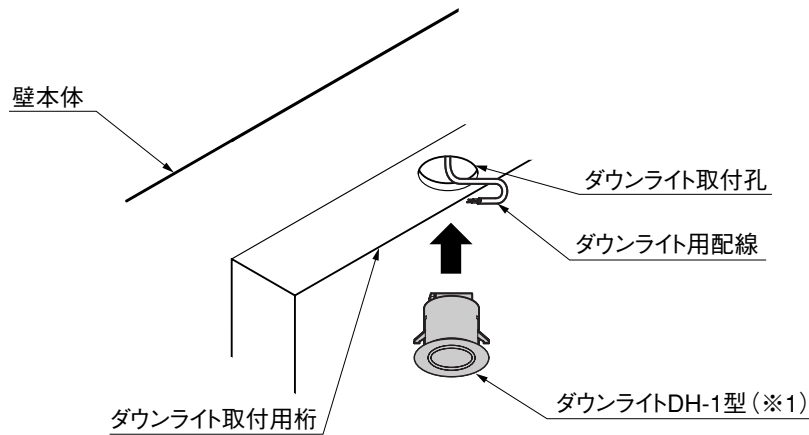
- ④ ポスト本体を壁柱へはめ込み②で取外したネジでポスト口金を取付けてください。（図1-13参照）
- ⑤ ポスト本体を壁柱へ下孔をあけてタッピンネジ1種（市販品）で取付けてください。（図1-13参照）
- ⑥ ポスト口金周りおよびポスト本体周りへシーリング（市販品）を行なってください。（図1-14参照）

ポイント

- ポスト周りへのシーリングが不十分の場合、壁柱内またはポスト内への雨水の浸入につながります。

5 照明の取付け

1. ダウンライトの取付け 工事 ※桁にダウンライトDH-1型を取付ける場合の作業です。



① ダウンライト取付孔にダウンライト用配線を周してください。

ポイント

- ダウンライトは壁の表面仕上げの後に取付けてください。(※1)
- ダウンライトの取付けは、別紙「DH-1型取付説明書(Z161)」を参照してください。